2024年度

総代会議案検討会議

議案書

ご家族みなさんでご覧ください

※開催会場一覧は、裏表紙に掲載しています。

■議案検討会議では

・総代会議案を確認し、内容について理解を深めます。

■みんなで実施すること

・組合員の想いや願いが反映されている議案となっているのか、
みんなで確認し、第４４回通常総代会へつなげていきましょう。

第４４回通常総代会開催のお知らせ

●日時／2024年６月12日（水）　10時～12時（予定）
●場所／栗東芸術文化会館さきら　大ホール（JR栗東駅東口から徒歩５分）

生活協同組合コープしが

目　次

目次・タイムスケジュール…… 1
協同組合のアイデンティティに関する声明・合併趣意書・コープしが理念…… 2
理事長あいさつ…… 7
第44回通常総代会の開催について…… 8
2023年度数字で見るコープしが…… 9
「第１号議案」2023年度事業報告・決算関係書類承認の件…… 19

内容

・事業報告書 …… P19
組合の事業活動の概況に関する事項
・決算関係書類 …… P51
（貸借対照表と損益計算書の科目内容等、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）

「第２号議案」第Ⅱ期（2024～2026年度）
「やくだつ・つながる・ひろがる」計画承認の件…… 63
「第３号議案」2024年度活動計画・収支予算承認の件…… 66
「第４号議案」組合員除名の件…… 87
特別決議　通常総代会アピール…… 88
＜参考資料＞　①30周年記念プロジェクト…… 89
②みんなごと…… 91
③2024年度組織活動の取り組み予定一覧…… 92
④2024年度募金予定スケジュール…… 93
⑤組合員の声を全組織内で共有する仕組みのイメージ…… 94
⑥「組合員の想いをかたちにつなげること」をめざす運営方針 …… 95
⑦「組合員活動の目的」と「組合員活動でたいせつにすること」…… 96
＜裏表紙／開催日程一覧＞

タイムスケジュール

開会時間は会場により異なります。議案書裏面の会場名と開会時間をご覧ください。
・２時間をめどに開催します。
・午前（10：00～、10：30～）、午後（13：30～、14：00～、18：00～）の会場すべて、
下記の時間配分で開催します。

①開会あいさつ、役職員の紹介	５分間
②第１号議案の提案と質疑応答	50分間
③第２号・第３号議案の提案と質疑応答	50分間
④第４号議案の提案と質疑応答、特別決議の提案	10分間
⑤閉会あいさつ	５分間

※当日の運営により開催時間の短縮や延長をする場合があります。

協同組合のアイデンティティに関する声明（1995 年、ICA マンチェスター大会で決定）

（日本生協連/訳）

定義

協同組合は、共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、共通の経済的・社会的・文化的なニーズと願いを満たすために自発的に手を結んだ人びとの自治的な組織である。

価値

協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、そして連帯の価値を基礎とする。それぞれの創設者の伝統を受け継ぎ、協同組合の組合員は、正直、公開、社会的責任、そして他人への配慮という倫理的価値を信条とする。

原則

協同組合原則は、協同組合がその価値を実践に移すための指針である。

〔第 1 原則〕自発的で開かれた組合員制

協同組合は、自発的な組織である。協同組合は、性別による、あるいは社会的・人種的・政治的・宗教的な差別を行わない。協同組合は、そのサービスを利用することができ、組合員としての責任を受け入れる意志のある全ての人びとに対して開かれている。

〔第 2 原則〕組合員による民主的管理

協同組合は、その組合員により管理される民主的な組織である。組合員はその政策決定、意志決定に積極的に参加する。選出された代表として活動する男女は、組合員に責任を負う。

単位協同組合では、組合員は（一人一票という）平等の議決権をもっている。他の段階の協同組合も、民主的方法によって組織される。

〔第 3 原則〕組合員の経済的参加

組合員は、協同組合の資本に公正に拠出し、それを民主的に管理する。その資本の少なくとも一部は通常、協同組合の共同の財産とする。組合員は、組合員として払い込んだ出資金に対して、配当がある場合でも、通常、制限された率で受け取る。組合員は、剰余金を次の目的のいずれか、または全てのために配分する。

・準備金を積み立てることにより、協同組合の発展のため、その準備金の少なくとも一部は分割不可能なものとする。
・協同組合の利用高に応じた組合員への還元のため
・組合員の承認により他の活動を支援するため

〔第 4 原則〕自治と自立

協同組合は、組合員が管理する自治的な自助組織である。協同組合は、政府を含む他の組織と取り決めを行ったり、外部から資本を調達する際には、組合員による民主的管理を保証し、協同組合の自主性を保持する条件において行う。

〔第 5 原則〕教育、訓練および広報

協同組合は、組合員、選出された代表、マネジャー、職員がその発展に効果的に貢献できるように、教育訓練を実施する。協同組合は、一般の人びと、特に若い人びとやオピニオンリーダーに、協同組合運動の特質と利点について知らせる。

〔第 6 原則〕協同組合間協同

協同組合は、ローカル、ナショナル、リージョナル、インターナショナルな組織を通じて協同することにより、組合員に最も効果的にサービスを提供し、協同組合運動を強化する。

〔第 7 原則〕コミュニティへの関与

協同組合は、組合員によって承認された政策を通じて、コミュニティの持続可能な発展のために活動する。

合 併 趣 意 書

１９９２年9月２０日、４生協合併総会で承認

１９９３年3月２１日、大津生活協同組合、湖南消費生活協同組合、滋賀県東部生活協同組合、滋賀県北部生活協同組合は、対等・平等な立場で合併し、四生協の培ってきた活動や経験を発展的に継承し、滋賀県民の豊かなくらしと人間尊重の平和な街づくりをすすめることができる生活協同組合コープしがを創ります。

１９７０年代、高度成長の歪として出てきた環境汚染、有害食品の氾濫、健康破壊という情勢の中で、わたくしたちはくらしを守るために、自分達の力で生活協同組合を創りました。ゼロからの出発だったわたくしたちの運動も、地域の消費者の参加と、生産者や全国の仲間たちの心強い支援と協力を得ながら一歩一歩確実に前進してきました。よりよいくらしを求めて結集したわたくしたちの協同の力は、社会をより良い方向に変える原動力となり、有害添加物の排除や生産者と消費者の顔の見える新しい関係づくりを推しすすめてきました。また、地域とともに取り組んできた琵琶湖を守る運動は、全国各地の水環境を守る運動にも大きな影響を与え、先駆的役割を果たしてきました。

しかし、１９８０年代後半に入ると、生協運動にも大きな転機が訪れました。わたくしたち自身のくらしや価値観が大きく変わるとともに、生協を取り巻く環境も急速に変化してきました。そのような中で、くらしの在り方を再度見つめ直すとともに、生活協同組合の原理・原則を基本としながら、運動や事業の形態を思い切って新しいものに変えていくことが必要となってきています。さらに、人と人との絆を強めていくために「協同の力」をより一層発揮することが求められています。

これらの環境の変化に対応するために、それぞれの地域で取り組んできた生協運動を、わたくしたちは改めて全県的視野に立って考えることが必要となってきました。くらしをより良いものとし、様々な願いを一つひとつ実現していくために、今こそ滋賀県の生協組合員が力を合わせることが求められています。

わたくしたちはさらに多くの仲間づくりをすすめ、学習や活動を通して組合員一人ひとりが自立することをめざします。より多くの県民の参加による協同の力で滋賀県における「消費の組織」を飛躍的に高め、地域の一員としての積極的な政策提言を通して組合員のくらしと県民のくらしの総合的な向上をめざします。

琵琶湖を擁する滋賀県において新たに生まれる生活協同組合コープしがは、地域との調和を図りながら地域社会に寄与します。そして、民主主義を充実させ、２１世紀を展望し以下の構想を実現していく決意です。

1．広範な組合員の参加と生産者とのつながりの強化を通して、安全で安心できる商品づくりをすすめ、組合員の利用結集を高める中で低価格の実現をめざします。また、多様な商品活動を通して、食文化の創造にも取り組みます。

2．学び合い、教え合い、そして助け合う協同の風土づくりをすすめ、人と人との絆を強めます。そして、一人ひとりの組合員の声を大切にする民主的で人間らしい組織づくりをすすめます。

3．地域に根づいた多彩で自発的な組合員活動を多くの組合員の参加で推しすすめ、人間にも自然にも優しいくらしを創造します。そして、地域での幅広い協同を通して人間尊重の社会づくりをめざします。

4．組合員の生活の変化に十分対応し、生協の組織と運動を支えるにふさわしい事業の拡大・発展を確保します。また、経営資源（出資金、人材、施設など）を結集し、事業運営のあらゆる面での効率化・高度化を図り、ゆるぎない経営基盤の構築と安定した経営の継続をめざします。

5．組合員の自主・自立を基本とした協同組合間提携や他団体との協同・連帯をさらに強化します。また、くらしに関する地球規模での問題の構造的解決に向け、交流を通して国際的な協同・連帯にも積極的に取り組みます。

コープしが理念

ともにつくる 笑顔あふれる未来

○私たちは、くらしへの想いや願いを出し合い、共感し合い、ともに考える、
そのような人と人とのつながりを大切にします。

○私たちは、つながることで安心と信頼を育み、ともに歩むことで
笑顔あふれるくらしを創造し、次代へと継承していきます。

第 40 回通常総代会（2020 年 6 月 10 日）で承認されました。

ともにつくる 笑顔 あふれる未来

コープしが理念

「ともにつくる　笑顔あふれる未来」

「組合員が協同組合の中でコープしがの事業や活動をどのようにすすめていくのか～４つの考え方～」

●「私たちの生協」って

生協は「今のくらしをよりよくしたい」と願いを込めて組合員がつくった組織です。社会情勢が厳しかった１９７０年代、滋賀県に初めて生協ができました。４つの生協が合併してコープしがが生まれたのは１９９３年。組合員は出資し、利用し、声を出し合う、コープしがのオーナー。そして「くらしの主人公」です。くらしの中のふとした声に共感し重ね合うことで、よりよい仕組みが生まれます。

同じ願いを持つ仲間とともに「私（たち）の生協」をつくりましょう。

●「利用する」ということ

くらしの変化は誰も予測できないけれど、今までと変わらず安心して事業やサービスを利用できることはとても大切です。

たとえば、もずくを買うこと。もずくを買うことによって珊瑚基金に寄付し、海の豊かさを守ること、つまりＳＤＧｓにもつながります。私たちが生協を利用することは社会とつながっています。

もっとくらしの中で生協の商品やサービスを利用しましょう。

●「よりよいくらしをともにつくる」ということ

コロナ禍での大きな社会変化を経て、あらためて人のあたたかさや人とのつながりを強く求めるようになりました。

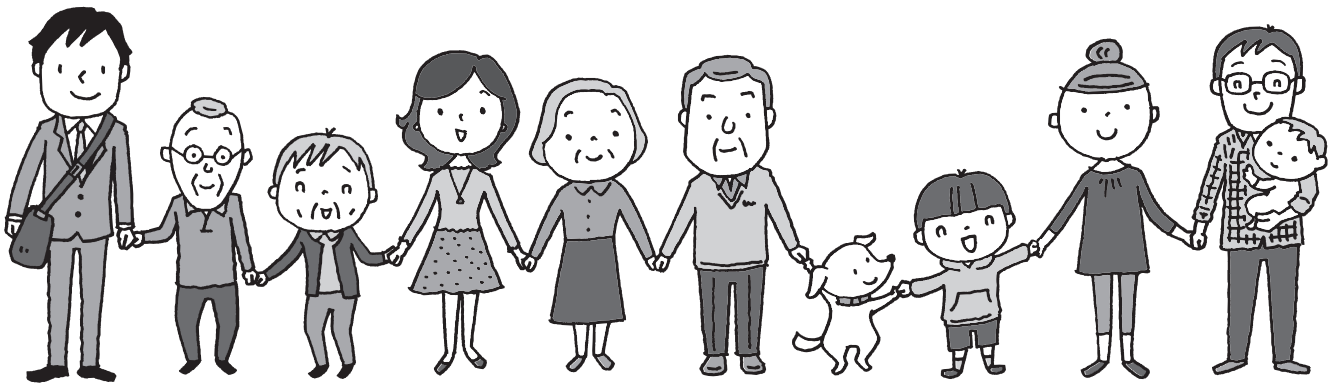
視野を少し広くもち、私たちに何ができるか考え学び合い、よりよいくらしをともにつくる一歩を踏み出しましょう。

●笑顔あふれる未来に向かって

明日を信じて、笑顔あふれる未来を願って、みんなでともに歩んでいきませんか。

人と人がつながることで生まれる安心や感謝。そして知恵や思いやりを次代へとつないでいきましょう。

『やくだつ、つながる、ひろがる』コープしがの実現をめざし、組合員と役職員がひとつになって、もっともっと、生協の仲間、協同の輪を滋賀に広げていきましょう。



【わたしたちのくらしづくり「５つのたいせつ」】

５つのたいせつ

くらしを良くするために、大切にしている５つの視点です。
小さな取り組みの積み重ねが SDGs につながります。

たべるたいせつ　いのちたいせつ　びわこたいせつ
ちいきたいせつ　くらしたいせつ

たべるたいせつ

たべることは生きること。私たちにとって食べ物はとても大切なもの。
食べ物はすべて生きものです。その命をもらって私たちは生きています。
野菜・果物・肉……一生懸命育てた人がいるということ…
食事を一生懸命作ってくれた人がいるということ…
美味しいものを食べて幸せな気持ちになる。
感謝する心を大切に、たくさんの「いいね」の声を広げます。

いのちたいせつ

あらゆる命に限りがあり、だからこそ命はかけがえのないもの。
今生きている自分の存在を認め、今生きているかけがえのなさを理解することにより、他の命・他者の存在を尊重するようになります。
自分はたった一人で生きているのではなく、他者と共に生きている存在であるという思いを持てることが大切。
平和な社会の実現をめざして、命の尊さを考え、お互いの人権を守り安心できるくらしづくりをすすめる場を広げます。

びわこたいせつ

滋賀県の約６分の１を占める琵琶湖。
周囲の緑豊かな山々や田園風景は、私たちのくらしにやすらぎを与えてくれます。
湖とその周辺には１０００種以上の動植物が生息し、四季折々の眺望と多様な恵みをもたらしてくれます。
ふれあう体験の場を通じ自然を大切にする心を育んでいきます。

ちいきたいせつ

核家族化がすすみ、家族だけでは支えきれない暮らしにおける多様なニーズが高まっています。
人と人のつながりを再構築するだけでなく、課題解決機能を高めるための多様な組織・個人と協働することが重要になります。
住民としての主体性と責任を自覚した人々の支えあい・たすけあう活動をすすめ、みんなが幸せになることをめざします。

くらしたいせつ

ふつうに生活できている今に感謝し、何気ない毎日を大切に暮らす…
いつもと違うことに気づいたら、ちょっと声をかけてみませんか。
いつもと違うことに気づいたら、一緒に考えてみませんか。
いつもと違うことに気づいたら、私にできることをしてみませんか。
くらしの願いの実現に向け、みんなで力をあわせる活動をすすめます。

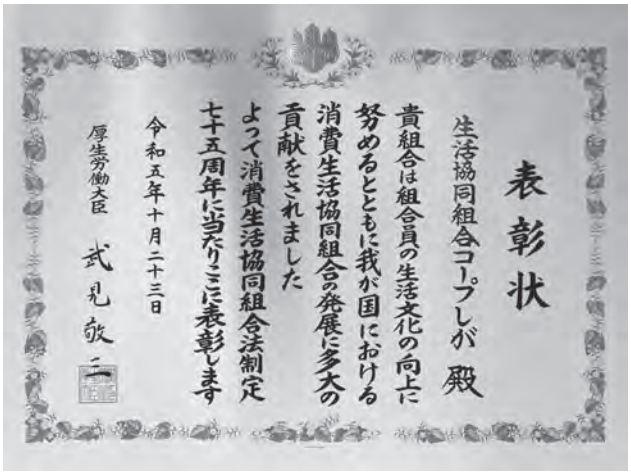
総代会議案検討会議の開催にあたって

理事長　白石 一夫

日頃より、コープしがの事業や活動にご協力いただきありがとうございます。

元旦に発生した能登半島地震では、被災された方々の現状を思うと「何か私たちにできることはないか」とやるせない気持ちになります。少しでも被災された方々の力になりたいという組合員の皆さんからは、たくさんの募金が寄せられ、被災したコープいしかわへは、全国の生協から支援する職員を送っています。あらためて、生協が助け合いの組織であると実感しています。まさしく「みんなごと」です。

２０２３年度は、コープしが設立３０周年という節目の年となりました。「これまでも　これからも」をテーマに、今日のコープしがを創ってくださった皆さんに感謝し、ともに未来を展望していける年にしたいとすすめてきました。


表彰状

生活協同組合コープしが　殿

貴組合は組合員の生活文化の向上に努めるとともに我が国における消費生活協同組合の発展に多大の貢献をされました

よって消費生活協同組合法制定七十五周年に当たりここに表彰します

令和五年十月二十三日

厚生労働大臣　武見敬三

この節目の年に、ようやく移動店舗「あったか便」をスタートすることができ、また、消費生活協同組合法の理念に則り、健全な事業運営など他の模範と認められた生協に授与される厚生労働大臣表彰も受けることができました。これらは、コープしががともに地域づくりをすすめる一員として認められた証であり、コープしがが誕生する２０年前から、滋賀の地に生協を創った組合員・職員のたゆまぬ努力のおかげと感じています。

これからも組合員のくらしと利用の実感から生まれる声を基本に、生協の事業と魅力を広げ、持続可能な健全経営をすすめてまいります。組合員・総代の皆さんのくらしにさらに役立つコープしがに、一緒に育てていきたいと思います。

今回の総代会議案検討会議は、６月に開催する第４４回通常総代会議案の事前協議をする場となります。組合員の皆さんから寄せられた声や秋に開催した「総代のつどい」で出された総代の皆さんの声を基に検討した２０２３年度の事業や活動の到達状況と２０２４年度具体的にすすめること、そして今後３か年の方向性を議案としてまとめました。

会議では、これらの議案に関しての質疑応答、意見交換を通して、総代の皆さんと議案を深めていきたいと思っています。

そして、第４４回通常総代会では、総代の皆さんの納得と同意をもって、くらしづくりの新たな一歩を踏み出せるようにと願っています。

第44回通常総代会の開催について

日　時　　**2024年6月12日（水）10時～12時（予定）**
会　場　　**栗東芸術文化会館さきら 大ホール**（ＪＲ栗東駅東口から徒歩５分）

＜第44回通常総代会予定議案（案）＞

第１号議案　　**2023年度事業報告・決算関係書類承認の件**

２０２３年度第４３回通常総代会で承認された活動計画、事業計画に基づいた１年間の活動の報告と、決算関係書類の確認、剰余金の処理の仕方などについての議案です。

第２号議案　　**第Ⅱ期（2024～2026年度）「やくだつ・つながる・ひろがる」計画承認の件**

第３号議案　　**2024年度活動計画・収支予算承認の件**

２０２４年度の活動計画や事業計画、収支予算についての議案です。

第４号議案　　**組合員除名の件**

特別決議　　**第４４回通常総代会アピール**

第 43 回通常総代会

2023年度 数字で見るコープしが

（2023年3月21日～2024年3月20日）

●組合員数	223,979人	（前年比 101.6%）
●加入人数	11,010人	（前年比 90.3%）
宅配	8,076人	（前年比 93.4%）
店舗	2,934人	（前年比 82.8%）
●出資金	13,497,449千円	（前年比 102.3%）
一人当たり出資金	60,262円	（前年比 100.6%）
●供給高	39,744,777千円	（前年比 98.3%）
一人当たり月利用高	14,787円	（前年比 96.8%）
●経常剰余金	1,454,074千円	（前年比 118.5%）

宅配事業

宅配事業総供給高
30,477,162千円
（前年比 98.8%）
（割り戻し含む）

共同購入

●供給高	11,540,000千円	（前年比 96.7%）
●組合員数	91,029人	（前年比 99.8%）

個配

●供給高	18,990,000千円	（前年比 100.2%）
●組合員数	83,620人	（前年比 101.8%）

eフレンズ　（宅配事業総供給高、共同購入・個配の組合員数に含みます）

●供給高	9,086,581千円	（前年比 107.7%）（3/3回まで）
●登録組合員数	85,537人	（前年比 103.7%）（3/3回まで）

店舗事業

店舗事業総供給高
8,439,862千円
（前年比 107.1%）

コープぜぜ店

●供給高	2,085,941千円	（前年比 104.4%）
●組合員数	12,437人	（前年比 101.4%）

コープもりやま店

●供給高	2,365,077千円	（前年比 108.1%）
●組合員数	14,160人	（前年比 104.2%）

コープかたた店

●供給高	2,184,697千円	（前年比 108.5%）
●組合員数	10,515人	（前年比 106.5%）

コープながはま店

●供給高	1,875,242千円	（前年比 107.1%）
●組合員数	8,959人	（前年比 113.2%）

●その他の組合員数3,259人（前年比 96.3%）　旧ミニコープ店組合員・所在不明組合員

くらしのサポート事業

●移動店舗　あったか便供給高…… 16,141 千円
●利用人数…… 12,076 人（1 日当たり 48.3 人）

夕食サポート事業

●夕食サポート供給高…… 495,720 千円（前年比 111.6%）
●１日当たりの配達数……（2024 年３月実績）3,183 食（前年比 103.8%）

共済事業

契約件数 113,543 件（前年比 100.7%）

【共済 契約コース別トップ 5】

1 位：《たすけあい》J1000 円コース	35,861 件
2 位：《たすけあい》大人向け 2000 円コース（女性）	15,251 件
3 位：《たすけあい》告知緩やか 1000 円コース	7,746 件
4 位：《あいぷらす》生命 300 万円コース	6,521 件
5 位：《たすけあい》大人向け 2000 円コース（男性）	6,515 件

エネルギー事業（コープでんき）

供給高 315,890 千円　**契約件数** 5,749 件

取次手数料 27,663 千円

12 月度（11 月検針分）よりエネルギー事業は取次事業に移行しました。

福祉の取組み

介護事業

●のべ利用人数
ヘルパーステーションぽこ野洲（訪問介護）13,528 人（前年度 9,710 人）
ヘルパーステーションぽこ守山（訪問介護）1,350 人（前年度　0 人）
ケアプランセンターぽこ野洲（居宅支援）902.0 人（前年度 787.5 人）
（要支援は 0.5 人、要介護は 1 人と換算）

ささえあいサポート活動（2 月 20 日現在）

●利用件数…… 2,922 件（前年度 2,656 件）
●サポーター組合員数…… 1,923 人（前年度 1,952 人）

2023 年度 ささえあいサポート トップ 5

依頼内容	合計（件）
家事援助（掃除・片付け含む）	1,738
庭木・草取り・水やり	399
子ども見守り	294
ペットの世話	259
高齢者支援	207

●宅配在庫商品寄付　1,646,311 円相当　子ども食堂や貧困家庭に社会福祉協議会を通じて食品をお届けしています

フードドライブ

●コープぜぜ店…… 875.17kg
●コープもりやま店…… 1,299.17kg
●コープかたた店…… 392.10kg
●コープながはま店…… 432.50kg
●宅配事業センター・本部…… 4182.58kg

組合員の声

- ●コールセンターお問い合わせ…… 147,949 件 （前年比 100.1%）
- ●電話注文センター入電件数…… 162,878 件 （前年比　89.0%）
- ●私もひとことカード…… 5,620 件 （前年比　86.8%）
- ●店舗　組合員の声カード…… 702 件 （前年比 110.2%）
- ●ホームページ問い合わせ件数…… 2,065 件 （前年比　62.8%）
- ●ｅフレンズからの問い合わせ件数　… 2,399 件 （前年比　－ %）

SNS

●コープしが公式Instagram
アカウント名：「コープしが」（@coopshiga）
フォロワー数…… 2,574人 （前年比147.5%）

●コープしが公式Facebook
ページへのいいね数… 726人 （前年比104.3%）

●コープしが公式LINE
登録者数…… 2,332人 （前年比234.6%）

●コープしがYouTubeチャンネル
チャンネル登録者数… 428人 （前年比117.9%）

●コープしがアプリ
登録者数…… 9,119人 （前年比166.8%）

Instagram　YouTube チャンネル　Facebook　アプリ　公式 LINE

●お店のLINE（4店舗合計）　登録者数…… 27,151人 （前年比103.1%）

ぜぜ店 3,290人（前年比 106.2%）
かたた店 5,518人（前年比 104.9%）
もりやま店 5,493人（前年比 103.5%）
ながはま店 12,850人（前年比 101.3%）

リサイクル回収

リサイクル売却額
48,763 千円
（前年比 103.5%）

宅 商品案内書
2,723,120kg
（前年比 87.5%）
回収率 65.3%（前年より -7.1%）

宅 仕分け袋
30,724kg
（前年比 94.1%）
回収率 23.6%（前年より -0.2%）

宅 店 牛乳パック
53,710kg
（前年比 97.6%）

宅 店 たまごパック
21,752kg
（前年比 103.0%）

店 食品トレー
9,039kg
（前年比 103.0%）

店 ペットボトル
46,276kg
（前年比 130.9%）

店 ペットボトルキャップ
2,863kg
（前年比 142.8%）

ペットボトルとトレーは店舗と一部のステーションで回収しています。

太陽光発電

自家発電型		
事業所名	発電容量 (kw)	発電量 (kwh)
本部（野洲）	20	22,206
南草津センター	10	11,211
草津センター	10	9,786
中央大津センター	10	8,721
甲南センター	10	10,475
彦根センター	10	8,504
コープもりやま店（※1）	202.1	8,545
コープかたた店（※1）	275.3	12,223
総発電量（※2）		91,670

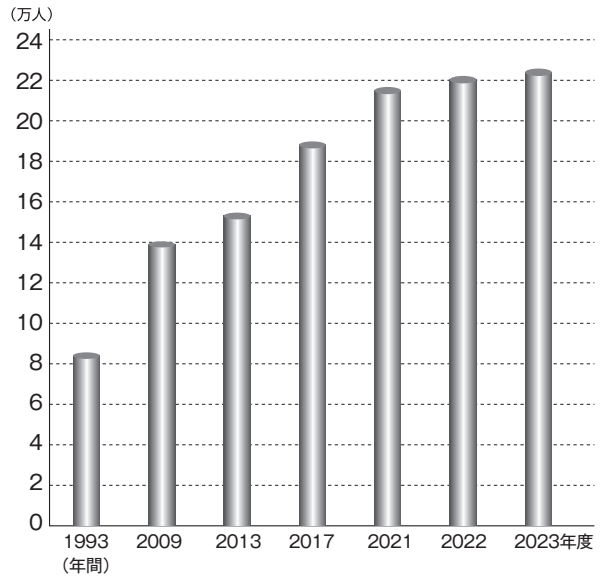
売電型（固定価格買取制度活用）		
事業所名	発電容量 (kw)	発電量 (kwh)
南草津センター	108.4	110,965
北大津センター	99.8	113,216
草津センター	118.6	123,509
東近江センター	119.3	128,991
総発電量（※3）		476,681
売電額		17,160,516

（※1）コープもりやま店、コープかたた店の発電は 2024 年3月8日から稼働。
（※2）4人家族平均年間消費電力量（5,500kwh）16.7 軒分相当
（※3）4人家族平均年間消費電力量（5,500kwh）86.7 軒分相当

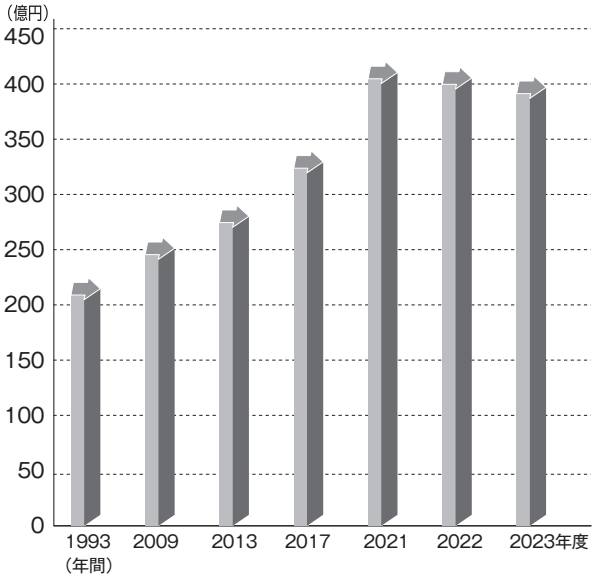
グラフで見る2023年度のコープしが

（３月20日現在）

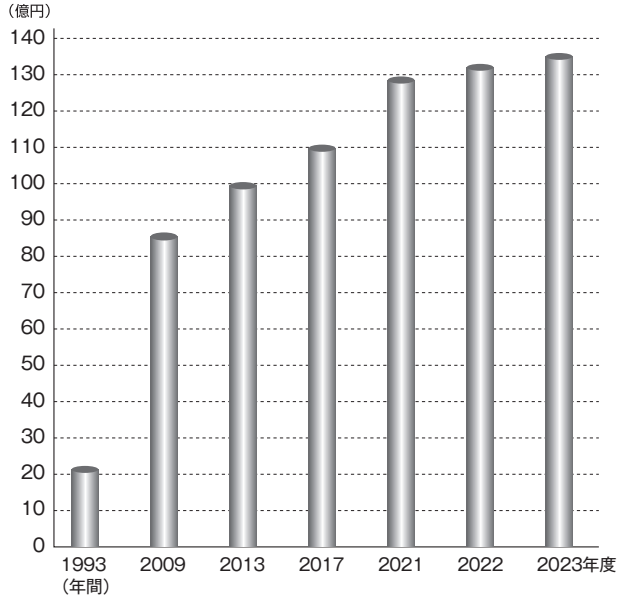
① 組合員数の経年変化



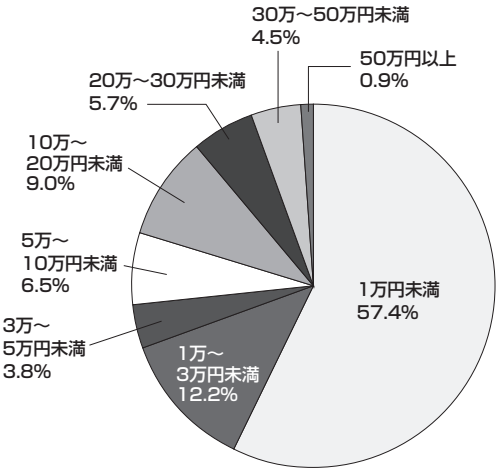
② 供給高の経年変化



③ 出資金の経年変化

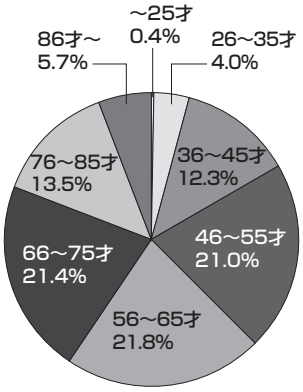


④ 出資金額別組合員数

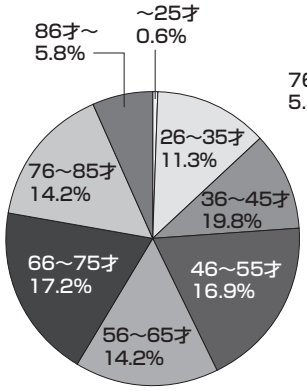


⑤ 利用事業別の組合員世代別利用構成比率

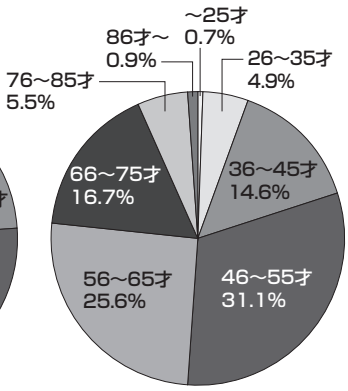
共同購入



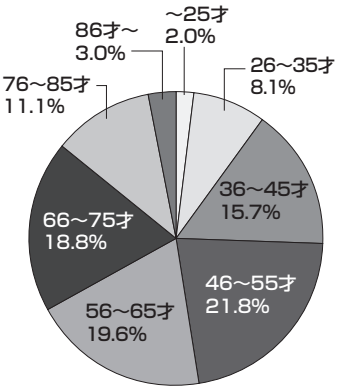
個配



ステーション

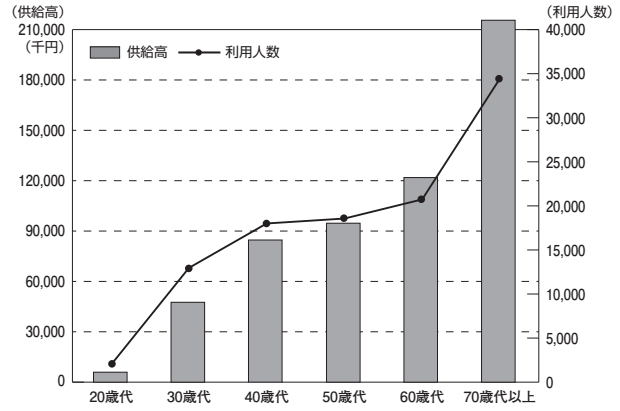


店舗

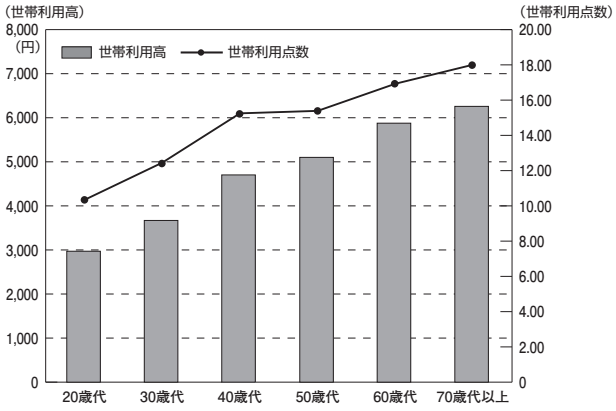


6 宅配事業の利用状況

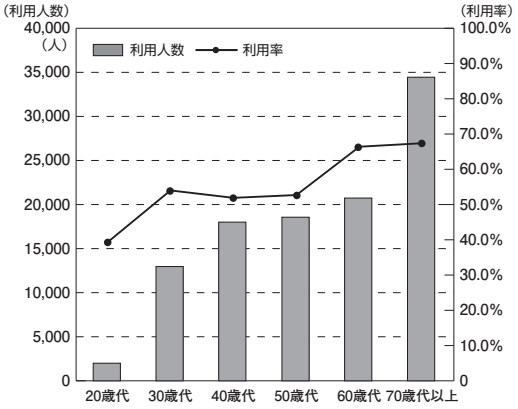
（1）年代別総供給高（1週間当り）



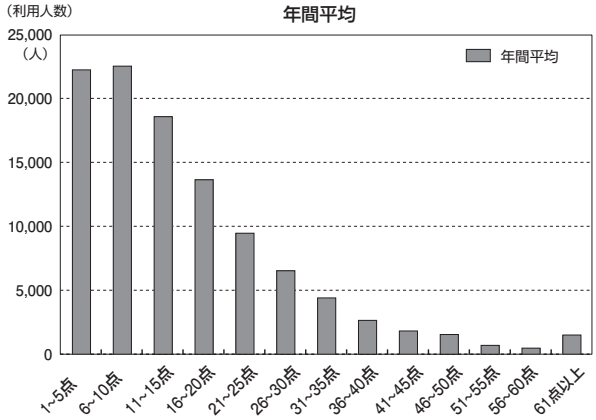
（2）年代別世帯利用高（1週間当り）



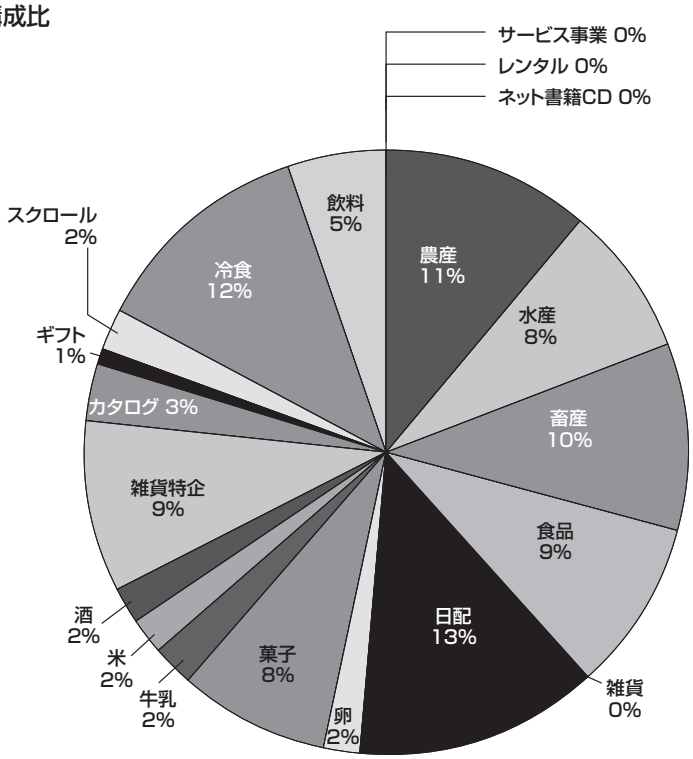
（3）利用人数（1週間当り）



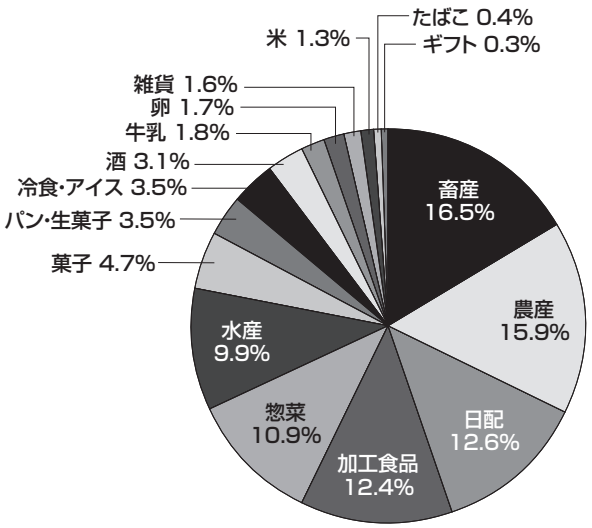
（4）注文点数別利用人数



（5）部門別供給高構成比



7 店舗事業の利用状況



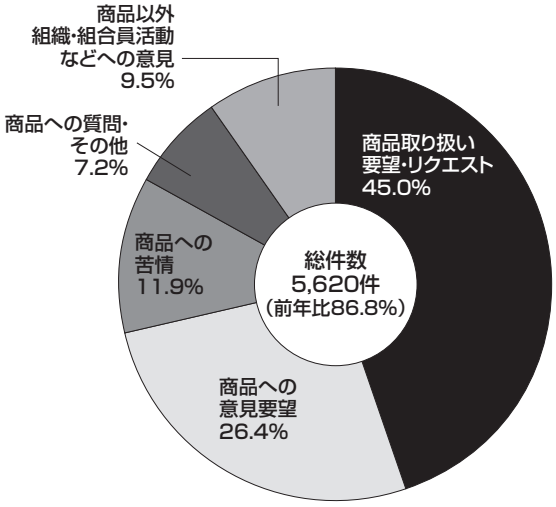
	コープぜぜ	コープもりやま	コープかたた	コープながはま
1日供給高（千円）	5,974	6,740	6,261	5,403
1日来店数（人）	2,279	2,415	2,234	1,994
1人単価（円）	2,622	2,791	2,803	2,709

2023年度　店舗事業利用点数 全店でのトップ5

1	CO・OP コープ成分無調整北海道牛乳1000ml	322,896
2	キュウリ（バラ）	314,673
3	甘熟王バナナ	165,396
4	国産牛・豚合挽きミンチ	155,065
5	黄身いきいき白たまご10個入	149,566

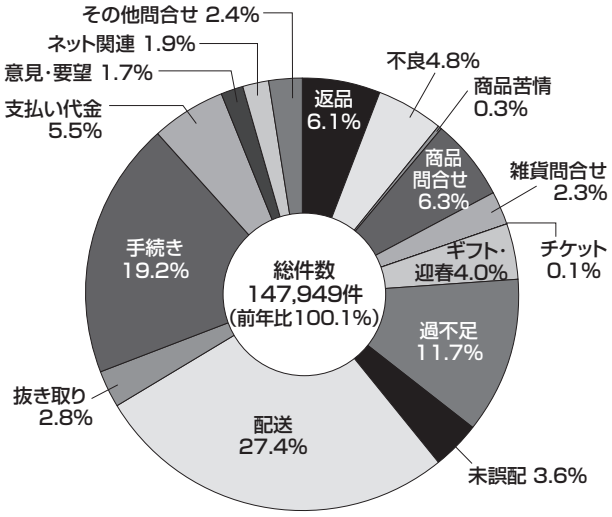
8 私もひとことカード（組合員の声）

私もひとことカード内訳



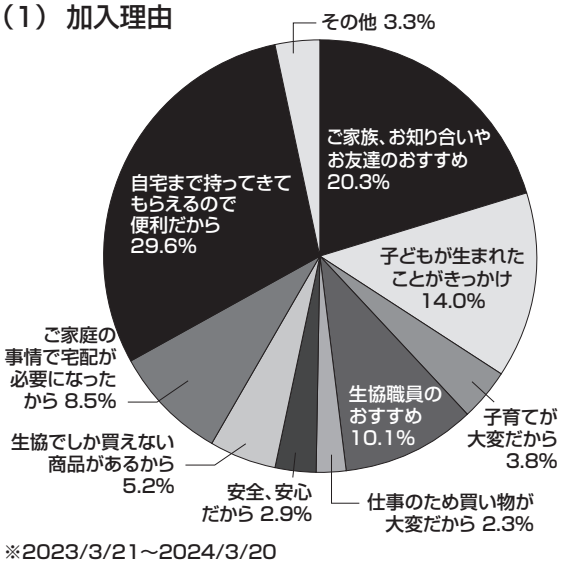
9 組合員コールセンター電話受付状況

問合せ受付内容別件数 ※電話注文の数値は省いてます



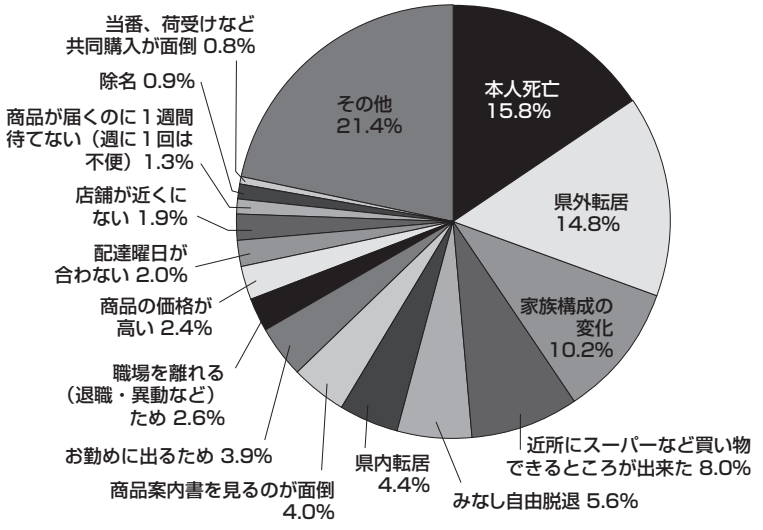
10 加入・脱退の内訳

（1）加入理由



※2023/3/21～2024/3/20

（2）脱退理由（7,524人）



2023年度 宅配事業部門別利用点数　トップ5

※2023年3月4回～2024年3月3回まで、51企画回

農　産

1	コープ毎日バナナ（フレスカーナ）470g前後	595,403
2	産直滋賀の小松菜　150g前後	453,032
3	産直滋賀のフリルレタス1袋(1～2株)	391,461
4	えのき茸　200g前後	380,789
5	緑豆もやし(紙袋) 300g(150g×2袋)	364,210

水　産

1	氷温甘塩さば切身　240g（4切）	120,999
2	塩秋鮭切身（甘口）　220g（4切）	90,743
3	CO・OP 無着色ひとくち辛子明太子（切子）　100g	86,296
4	CO・OP 子持ちからふとししゃも　160g	82,633
5	CO・OP ふっくらしらす干し（個食パック）　25g×3	70,872

畜　産

1	CO・OP 毎日新鮮ロースハム　40g×4	189,880
2	CO・OP ロースハム使い切りパック（無塩せき）　36g×3	139,323
3	CO・OP ふっくらチーズインハンバーグ　デミグラスソース	116,667
4	CO・OP 毎日新鮮ハーフベーコン　40g×4	115,207
5	国産合挽きミンチ（国産牛6：国産豚4）　400g	103,218

食　品

1	CO・OP 味付のり卓上（韓国産のり使用）　10切90枚	101,503
2	CO・OP ビーフカレー　中辛　180g	96,023
3	CO・OP コープヌードルしょうゆ　71g（1食）	90,092
4	CO・OP 切干大根（宮崎県産）　25g	78,854
5	CO・OP コープヌードルカレー　82g（1食）	70,877

日　配

1	CO・OP 北海道の小粒納豆（たれ・からし付）　45g×3	871,129
2	CO・OP ちくわ　104g（4本）	441,188
3	CO・OP 毎日食パン（6枚）　1斤	342,437
4	明治ブルガリアヨーグルトLB81 プレーン　400g	333,476
5	CO・OP にがり充てんとうふ（北海道産大豆使用）200g×2	320,666

たまご

1	産直こめ育ちさくら玉子10個パック600g以上	665,176
2	丹波のたまご10個パック　(MS～2L混合)	564,441
3	産直こめ育ちさくら玉子1kgパック　14～18個	431,458
4	生協白たまご10個パック　(MS～2L混合)	288,859
5	生協赤たまご10個パック　(MS～2L混合)	91,652

牛　乳

1	生協牛乳120　1000ml	1,341,993
2	CO・OP 成分無調整北海道牛乳　1000ml	752,883
3	低脂肪牛乳　1000ml	358,811
4	生協牛乳85　1000ml	163,839
5	白バラからだにカルシウム+鉄≪キャップ式≫	66,182

冷　食

1	CO・OP 九州のカットほうれん草　270g	120,427
2	大きめ手作りあじフライ　360g(6枚)	115,469
3	CO・OP 冷凍讃岐うどん　200g×5	106,698
4	CO・OP 衣サクサクやわらかとんかつ　80g（1枚）	103,640
5	レンジで簡単!! むかしのコロッケ(牛肉入り)　5個	81,580

2023年度 毎週自動お届け商品　トップ5

1	産直生協牛乳120　1000ml	1,164,666
2	産直こめ育ちさくらたまご10個P	591,211
3	CO・OP 北海道の小粒納豆　45g×3	465,813
4	産直こめ育ちさくらたまご　1kg	367,010
5	低脂肪牛乳　1000ml	296,003

2023年度 隔週自動お届け商品　トップ5

1	産直ホムトンバナナ（タイ産）	31,942
2	CO・OP にがり充てんとうふ（北海道産大豆）	17,419
3	CO・OP ロースハム使い切りパック（無塩せき）	10,954
4	CO・OP (2個)生しぼり絹豆腐　300g	5,634
5	CO・OP 国産豚肉のももハム（無塩せき）	5,164

2023年度 県内商品　トップ5

1	産直滋賀県産生しいたけ（菌床栽培）　100g前後	87,382
2	野洲きたなかふぁーむのきゅうり　2本	56,491
3	産直近江鶏皮なしむね　300g	43,505
4	産直一株トマト（毎週・隔週コース）　約700g	38,056
5	産直山東菜(はくさい菜)　1袋(150g前後)	33,689

2023年度 サービス利用事業　トップ5

1	紳士服関連（洋服の青山・はるやま・AOKI）	2,788
2	ハウスクリーニング	1,401
3	布団打ち直し・丸洗い	1,041
4	宅配買取（ブランディア・エコリング）	769
5	ハウジング関連	466

コープしがと行政や他団体などとのつながり

コープしが　市町別加入状況

市町名	組合員数（3月20日現在）			世帯数（県統計令和6年2月1日）	加入率
	宅配	店舗	合計		
大津市	43,380	23,193	66,573	155,709	42.8%
彦根市	14,400	887	15,287	51,492	29.7%
長浜市	16,057	6,503	22,560	44,747	50.4%
近江八幡市	9,538	390	9,928	32,934	30.1%
草津市	14,125	2,078	16,203	70,541	23.0%
守山市	9,346	8,240	17,586	33,382	52.7%
栗東市	7,313	2,873	10,186	27,094	37.6%
甲賀市	11,116	206	11,322	35,227	32.1%
野洲市	6,224	1,410	7,634	20,294	37.6%
湖南市	5,944	421	6,365	23,108	27.5%
高島市	7,766	302	8,068	19,703	40.9%
東近江市	14,171	257	14,428	45,391	31.8%
米原市	5,382	1,832	7,214	14,103	51.2%
日野町	2,646	40	2,686	8,651	31.0%
竜王町	1,487	48	1,535	4,387	35.0%
愛荘町	2,718	45	2,763	8,380	33.0%
豊郷町	806	28	834	3,028	27.5%
甲良町	773	23	796	2,308	34.5%
多賀町	1,193	52	1,245	2,759	45.1%
合計	174,385	48,828	223,213	603,238	37.0%
県外他	−	−	766	−	−

※県外他は、脱退予約組合員と所在不明組合員を含みます。

行政や他団体との主な関わりの紹介

滋賀県	滋賀県児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン（淡海フィランソロピーネット）
	おうみ犯罪被害者支援センター（賛助会員）
	滋賀県安全なまちづくり協賛・子ども110番
	滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会「三方よしフードエコ推奨店」
	琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語推進協議会
	「しが生物多様性認証制度」３つ星の認証
	滋賀県イクボス宣言
高島市社会福祉協議会	高島市福祉のまちづくり推進委員会
	見守りネットワーク活動推進会議委員
高島市	高島市生活支援体制整備協議体会議委員
大津市社会福祉協議会	大津市社会福祉協議会評議員
大津市	大津市生涯学習推進会議評議員
	大津市協議体連携会議委員
近江八幡市	近江八幡市高齢者虐待防止ネットワーク会議委員
	近江八幡市見守り活動担当者会議委員
	近江八幡市商助推進会議委員
	（受託）近江八幡市乳児おむつ等支給子育て支援業務委託事業（おむつおとどけみまもり便）
東近江市社会福祉協議会	地域支え合い推進協議体（いっそう元気東近江）委員
東近江市	（受託）東近江市乳児おむつ等支給委託事業（東近江市見守りおむつ宅配便）
	東近江市さわやか環境づくり協議会委員
甲賀市	（受託）甲賀市おむつ等支給子育て支援業務（こうか・おむつ便）
	災害福祉ネットワーク委員
湖南市	第一層地域ささえあい推進会議

彦根市	彦根市地域ケア推進会議・生活支援体制整備事業第一層協議体/テーマ別部会
甲良町	（受託）甲良町乳児おむつ等支給委託事業（甲良町見守りおむつおとどけ便）
守山市	守山市ごみ・水環境問題市民会議委員
社会福祉法人しがぎん福祉基金　評議員	

行政との「地域見守り協定」「防災協定」「環境」「包括連携」などの締結一覧

協定市町	協定の名称	年月日
大津市	環境保全協定	2001年10月25日
大津市	災害時における生活物資の調達等に関する協定	2005年 1 月13日
大津市	大津市高齢者等地域見守りネットワーク事業に関する協定	2017年11月16日
高島市	災害時における生活物資の調達に関する協定	2005年 6 月22日
高島市	見守りネットワーク事業に関する協定	2014年 3 月26日
高島市	在宅介護用品助成券交付基本協定書	2014年11月11日
草津市	「安心」が得られるまちづくりに関する協定	2013年 3 月28日
守山市	災害時における生活物資の調達に関する協定	2015年12月24日
守山市	災害時における一時避難場所としての使用に関する協定	2015年12月24日
守山市	守山市と生活協同組合コープしがとの包括連携に関する協定	2024年 3 月26日
野洲市	野洲市見守りネットワーク協定	2017年 3 月28日
近江八幡市	災害時における生活物資の調達等に関する協定	2006年 2 月14日
近江八幡市	近江八幡市高齢者安心見守り活動に関する協定	2014年 8 月25日
東近江市	東近江市と生活協同組合コープしがとの「子ども110番事業」に関する覚書	2006年 4 月 4 日
日野町	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書	2022年 2 月24日
竜王町	竜王町まちづくりに関する包括連携協定	2022年 3 月24日
湖南市	安全で安心して暮らせるまちづくりに関する協定書	2021年11月24日
彦根市	災害時における生活物資の確保および調達等に関する協定	2007年 1 月17日
彦根市	彦根市高齢者安心・安全ネットワーク活動に関する協定	2015年 3 月30日
愛荘町	災害時における生活物資の供給に関する協定（更新）	2013年12月25日
愛荘町	地域の見守りネットワークに関する協定	2015年12月16日
豊郷町	まちづくりに関する包括連携協定	2022年 6 月27日
甲良町	甲良町「安心」が得られるまちづくりに関する協定	2016年 4 月20日
多賀町	多賀町と生活協同組合コープしがとのまちづくりに関する包括連携協定	2023年 3 月27日
米原市	絆で築く安心なまちづくりに関する協定	2012年10月 3 日
長浜市	長浜市・地域の安心見守り活動に関する協定	2013年 6 月20日
長浜市	災害時における生活物資供給等の協力に関する協定	2023年 3 月23日
長浜市・長浜市社会福祉協議会・地域づくり協議会	長浜市余呉・上草野地域コミュニティの活性化に関する連携協定	2023年 3 月23日
長浜市・長浜市社会福祉協議会・地域づくり協議会	長浜市西黒田・神田・田根地域コミュニティの活性化に関する連携協定	2024年 2 月 7 日
滋賀県	「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議への協賛（子ども110番）	2007年 4 月 2 日
滋賀県	高齢者に向けた消費者被害防止のための啓発に関する協定書	2016年11月30日
滋賀県	伝えよう「たべる＊たいせつ」滋賀の健やかな暮らしを支える食と農に関する協定書	2018年 2 月 2 日
滋賀県	三方よしフードエコ推奨店	2020年 1 月20日
滋賀県	滋賀県と生活協同組合コープしがとの包括連携協定書	2021年 3 月18日

※物資調達等の協定は、コープしがの事業所が所在する市町との締結をすすめています。滋賀県全域では、滋賀県と滋賀県生協連が締結している協定で、コープしがは滋賀県生協連の一員として滋賀県からの要請を受けて県下の災害に対する支援を行うことになります。
※行政とは、災害や見守り、まちづくりなど包括的な内容の締結をすすめています。

他団体との「フードバンク」「災害」「包括連携」などの締結一覧

滋賀県生協連	災害時における商品調達に関する協定	2006年 1月20日
守山市勝部自治会	災害協定	2015年10月21日
油藤商事株式会社	災害時における物資の供給に関する協定	2018年11月24日
フードバンク滋賀	食品の提供・譲渡に関する合意（店舗の季節商品提供）	2016年12月26日
フードバンク滋賀	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2020年10月13日
フードバンクびわ湖	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2020年10月13日
フードバンクながはま	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2022年 5 月 6 日
甲賀市社会福祉協議会	食品の提供・譲渡に関する合意、フードドライブへの協力に関する覚書	2022年 4 月 1 日
滋賀県社会福祉協議会	滋賀県社会福祉協議会と生活協同組合コープしがとの包括連携に関する協定	2022年 1 月14日
草津市社会福祉協議会	つながりチューリップ協定	2022年 7 月 6 日
長浜市社会福祉協議会	地域福祉推進に関する包括連携協定	2023年 2 月 6 日

商品や環境などのつながり

大山乳業農業協同組合	新たな産直牛乳の供給開始を記念しての協同組合間協同に関する協定	2009年５月25日
全国農業協同組合連合会滋賀県本部	滋賀県産農産物の維持拡大に関する協同組合間協同の協定	2021年４月28日
甲賀農業協同組合	地場産提携に関する協同組合間協同の協定書	2015年12月18日
タイ産無農薬栽培ホムトンバナナ栽培管理グループ	国際産直および平和と友好に関する協定	2017年９月22日
油日・上野共有生産森林組合	琵琶湖森林づくりパートナー協定書	2013年10月29日
レーク滋賀農業協同組合	地場産提携に関する協同組合間協同の協定書	2022年６月２日
知内農業組合（滋賀県）	しがのふるさと支え合いプロジェクト協定	2022年11月10日

みんなで取り組んだ募金など　（２０２４年3月２０日まで）

募金名	参加人数	送金額
●ユニセフ募金		
ユニセフ　リビア洪水　自然災害募金	2,１７７人	1,６１５,３８４円
ユニセフ・ガザ人道危機緊急募金	2,５７４人	2,１１４,６６３円
一般募金	3,７０５人	７８３,８６８円
ミャンマー指定募金	(ミャンマー指定募金含む)	1,８２０,０００円
●２０２３年６・７月豪雨募金	2,６７４人	2,０６０,４５９円
●「令和６年能登半島地震」災害支援募金	１１,７９８人	１６,４１３,２０５円
●ハンガーフリーワールド（書き損じハガキキャンペーン）	2,５０５人	4,６５７,６８９円
●しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金		1,６１３,６９３円
●利用登録米の利用による「滋賀応援寄付」（１点１円）		２８２,９０４円
●産直もずく利用による珊瑚基金（１点１円）		７４,６１０円
（美しい海の珊瑚を守る運動・珊瑚再生事業寄附金）		
●沖島アイス利用寄付（１点１０円）		5,９３０円
●全国の生協とともに取り組む募金（コープしが分）		４００,１８１円
CO・OP レッドカップキャンペーン（１点1円）（※２０２３年１０月１回～１１月2回）		６６,６９１円
CO・OP コアノンスマイルスクールプロジェクト（１パック１円）		８１,０７４円
CO・OP スマイルグリーンプロジェクト（１点１円）		２１３,４６９円
CO・OP 洗剤環境寄附キャンペーン（１点０．５円）		２４,３７０円
CO・OP 化粧品ピンクリボン運動（１点１円）		１４,５７７円

できるコトづくり制度について

できるコトづくり制度は、一人ひとりが持つ「想い」や「願い」が結びつき、誰もが安心してくらし続けることができる地域社会を実現していくための支援です。「こんな活動があれば暮らしやすいのに」「困っている人をみんなで支えたい」「自分や仲間の力を地域で活かしたい」などと考えている方の想いを支援する制度です。

「２０２３年度助成団体」

■はじめて助成団体

任意団体　長浜市神田地区自主防災会　（事業名：安全安心のまちづくり）
任意団体　湖城が丘サロン（事業名：地域高齢者交流支援）
任意団体　手話カフェ PocKy（事業名：聴導犬啓発プロジェクト）
任意団体　こどもの居場所 ばあちゃんち（事業名：学校にいきづらい子どもの居場所づくり）
任意団体　Birth For the Future@ しが（事業名：BFF @しが ＃女性が望む継続ケア ＃選べるお産 SHIGA ＃安心できる出産育児）

■活動助成団体（１年目）

任意団体　共生のまち演劇プロジェクト実行委員会（事業名：共生のまち演劇プロジェクト）
特定非営利活動法人　くらすむ滋賀（事業名：街道文化を百年先の世代へつなぐ目川立場復活プロジェクト）
任意団体　地域とアートプロジェクト実行委員会（事業名：堅田＊はまさんぽ アートプロジェクト ２０２３）

「笑顔あふれるコープしが基金」として団体へ支援

２０２２年度以降２０３０年まで市民活動ができる助成金として支援、淡海文化振興財団（淡海ネットワークセンター）未来ファンドおうみ「笑顔あふれるコープしが基金」へ寄付をしています。

「２０２３年度助成団体」

○団体名　ばらでいろ（事業名：トワイライトばらでいろ一夜間の子ども食堂と学習支援等の取り組み）
○団体名　いちあわあ（事業名：まなびからつながる堅田の居場所）
○団体名　東近江国際交流協会（事業名：のとがわ　にほんご　きょうしつ　立ち上げと運営）

第1号議案

2023年度事業報告・決算関係書類承認の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

事　業　報　告　書

組合の事業活動の概況に関する事項

2023年度基本方針

「ともにつくる　笑顔あふれる未来」

【1】2023 年度活動のふり返り（概括）

◇「コープしが３０周年　これまでも、これからも」

コープしがは、２０２３年3月２１日で設立３０周年を迎えました。３０周年を迎えられたことを、コープしがに関わっているすべての人たちに感謝します。

これからも４０周年５０周年と未来に向けて、より多くの人にコープしが理念への共感を広げるため、「ともにつくる笑顔あふれる未来」の実現に向けて、新たな活動・行動指針あいことば「みんなごと」を策定しました。組合員、役職員、生産者、県民のみなさんのわたしの意見を「みんな」の意見として、自分ごと・他人ごとと切り分けず、自分の経験や困りごとは相手にも共通しているものだと考えて、みんなで歩みをすすめています。

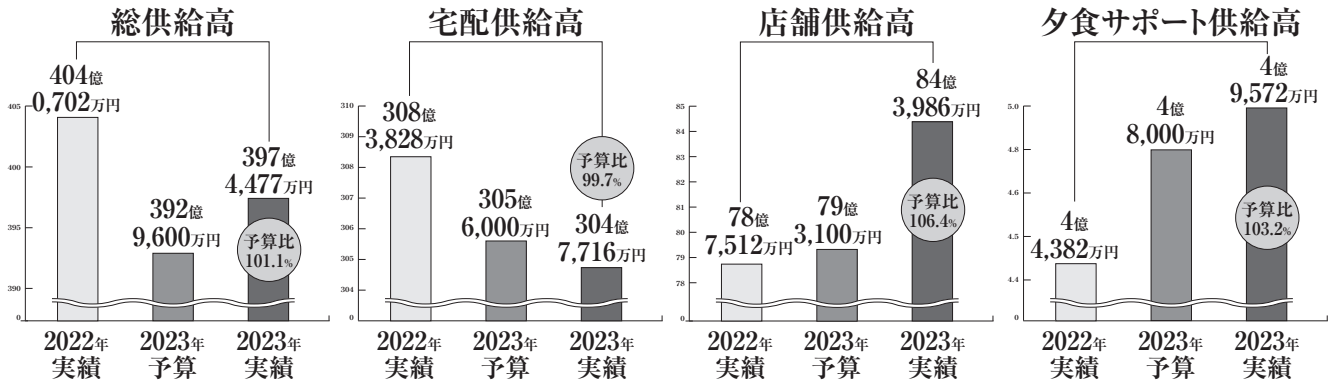
◇「組合員の想いをかたちにつなげること」をめざす声の実現

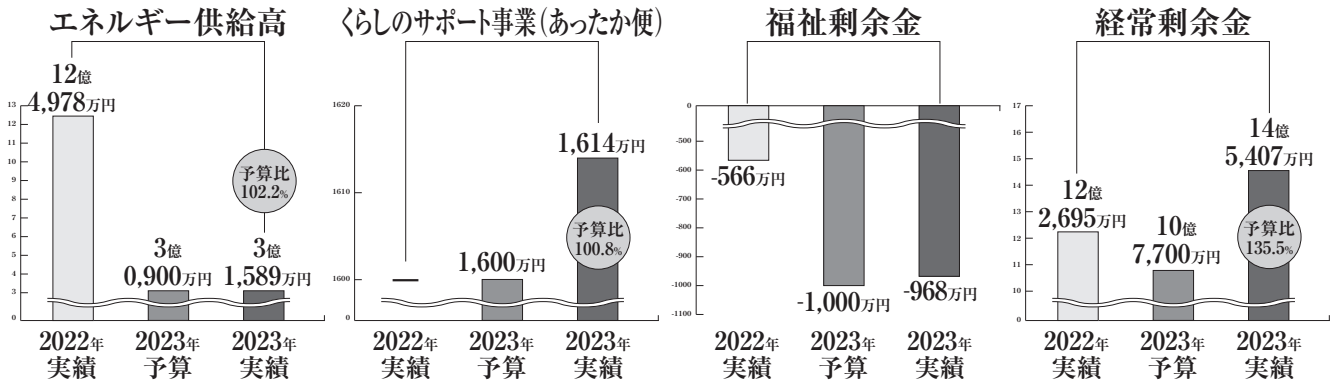
理念の実現に向けた、４つの考え方とくらしの５つのたいせつの視点をもって、聴き、話し合い、つなぎあって、みんなの力をあわせる取り組みをすすめています。ふだんのくらしの中から組合員の声を聴き、受けとめて、実現に向けて協議を重ねています。受けとめた声と協議した内容について、コープしが全体で共有ができるようにすすめています。

◇「生協の利用を通じて、地域社会のつながりや豊かな地域づくり」

コープしが移動店舗販売事業「あったか便」の運用に向けて、長浜市・長浜市社会福祉協議会・地域づくり協議会（余呉地域、上草野地域、西黒田地区、神田地区、田根地区）と「地域コミュニティ活性化に関する連携協定」を締結しました。移動販売を通じて、買い物困難となっている住民の買い物支援や見守りと、地域交流の機会として地域における日常のくらしに対する支援が、自治体･地域と協力してひろがっています。

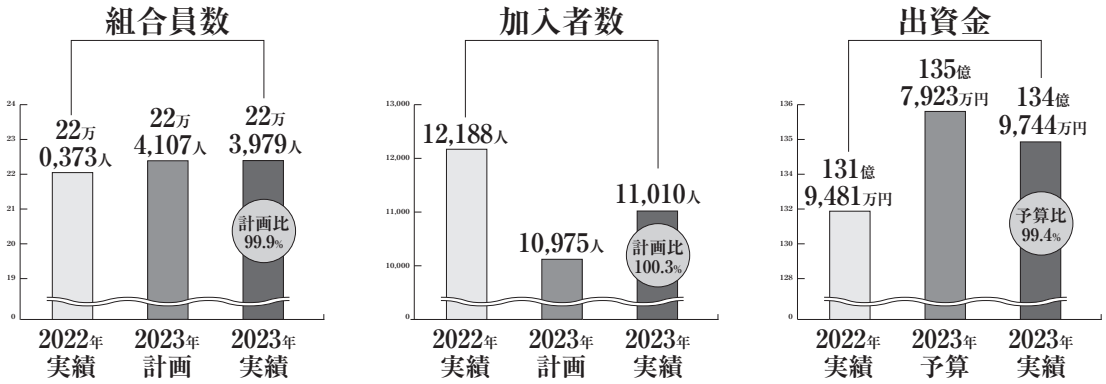
■２０２３年度事業実績（２０２４年3月２０日までの累計）





※福祉剰余金は予算・実績ともにマイナスであるため、計画比は表示していません。

■２０２３年度組織状況（２０２４年3月２０日までの累計）



【2】【2023年度みんなですすめたこと】のふり返り

わたしたちのくらしと生協のつながりを通して、気づいたこと、うれしかったことや困ったこと、くらしに役立ったこと、またコロナ禍を経験してあらためて考えたつながりの大切さなど、わたしたちの１年をふり返りましょう。

1.『食』の大切さを考えよう!

総代会で決めたこと

人生１００年時代といわれる現代において、“安全・安心な食”はとても大事です。色あざやかな野菜や果物、新鮮な魚、お肉、牛乳…私たちの食卓を豊かに彩る食べ物の向こうに、作った人々の想いが見えます。そして、私たちの健康を保ち、心を満たす。家族や仲間の笑顔につながっていきます。

食べることは生きること。食べることは楽しいこと。“食”を真ん中において、くらしの中の実感を伝え合うことで「食の大切さ」を守りましょう。

～組合員の声をカタチにした事業や活動２０２３～

- 「商品大交流会」を長浜市と大津市で開催、２,０００人以上の参加がありました。
- 生産者との交流や商品学習の機会として、「ぱくぱく知ってね！交流フェス」を宅配事業センターを会場に９会場で開催しました。
- 生産者との交流を通じて、酪農・畜産業を理解しつながりを深める「サマーキャンプ in 鳥取」を開催しました。
- 体験を通じて農業への理解を深めるため、「ファーマーチャレンジ隊」や「田植え稲刈り体験」を再開しました。
- ハートコープしがと共に「ファーマチャレンジ援農隊」の取り組みをスタートしました。
- 「たべる＊たいせつ親子クラブ」を地区ごとに開催、体験を通じて親子で食について学びました。
- ２０１８年から始まった、滋賀県立大学「食育推進隊」の学生のみなさんとの協同の取り組みは、産直・県内商品を活用したレシピ提案に加え、地産地消協議会への参加へと広がりました。

２０２３年度に取り組んだこと

組合員の声から広がる美味しさ

寄せられた声

・ホムトンバナナがとても美味しいです。農薬を使っていないバナナなので、みなさんも自動お届け登録して利用することをおすすめします。
・他のバナナよりもあっさりしていると思います。

「やくだつ」

受けとめたこと

「ホムトンバナナが美味しい」、「味がしっかりしている」などの声もたくさんいただいています。商品案内書コープしがマルシェなどで、もっと商品の良さや特徴を、多くの組合員に伝えていきます。また、ホムトンバナナは自動お届け登録でしか注文できないイメージがありますが、いつでも注文できるようになっていることを分かりやすく案内していきます。

「つながる」

改善できたこと

ホムトンバナナは「農薬を使わないで作ったバナナが食べたい」という組合員の声を受けて取り扱いが始まり、これまで安全なバナナを求める組合員と生産者をつないできました。これからも生産者の顔が見えるバナナとして、商品の良さや美味しさを伝え広めていきます。また、自動お届け登録注文以外に、いつでも注文ができることが分かるように商品案内書の紙面を改善しています。

案内書before

案内書after

分かりやすい情報検索の実現

寄せられた声

・カロリーではなく栄養素を分かりやすくしてほしいです。栄養バランスの１日の目安になるようなマークを充実してほしいです。
・身近な人の中に病気を患う方が増えている気がします。安全・安心な食品のほかに、低糖質や減塩などの情報発信をお願いします。

「やくだつ」

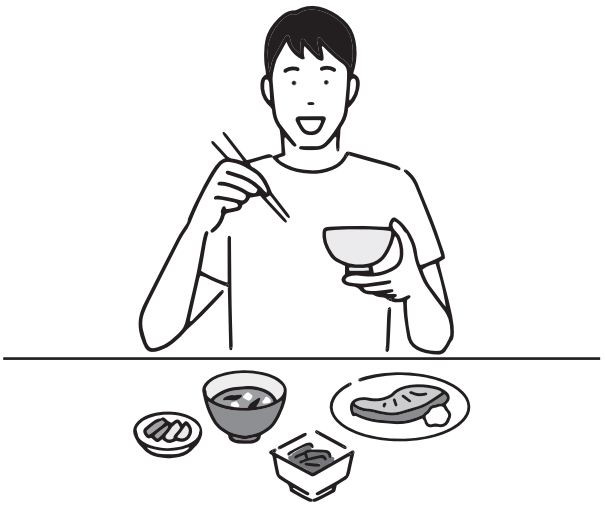
受けとめたこと

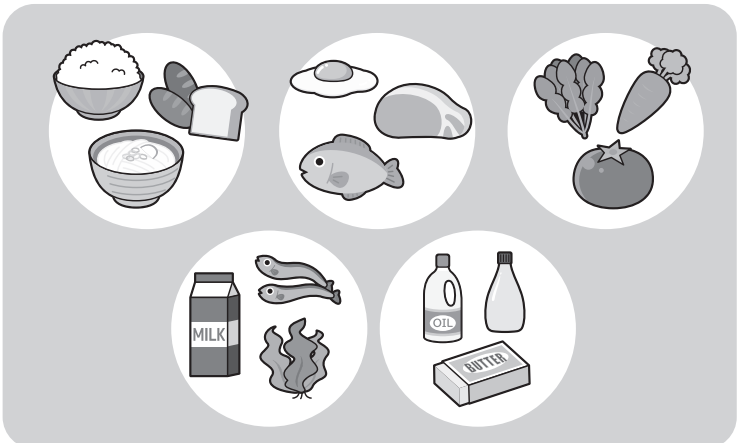
健康志向の広がりとともに、栄養成分を気にする人や塩分や糖質に気をつけている人が増え、健康への意識はますます高まっています。現在、eフレンズの検索項目には「アレルギー対応」や「オーガニック」などがあり、商品が検索できるようになっています。他にも必要な検索項目があれば商品が選びやすくなります。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

さらに組合員要望に応えられるように、eフレンズの検索項目に「減塩」「低糖質」など健康やダイエット関係と分かる項目を設け、すぐに検索できるよう使い勝手を良くしていきます。





ミールキット

寄せられた声

・ミールキットは簡単で、忙しい方や高齢の方にも使ってもらえるので、もっと様々な商品展開があればいいと思います。
・便利なので、冷蔵庫に常備して毎週２つくらい利用しています。
・人数の多い家庭や食べ盛りの子どもがいる家庭では、何個も買わなければならないので家計に負担がかかり、あまり利用できません。

「やくだつ」

受けとめたこと

家族が多くなると、ミールキットが複数必要になるので値段が高いと感じる方もいると思います。ミールキットは献立を考えてから買い物をする必要がなく、時短しながら手作りの食事を楽しめるので、毎日の献立を考えるのが大変な方や料理がマンネリ化している方などに、便利さや気軽さをもっと伝えていくことが必要です。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

ミールキットは食材とレシピがセットになった料理キットで、仕事で忙しい時や、一から料理は難しいけれど、手作りしたい方には最適な商品です。ミールキットの良さ・便利さを広めていくため、利用組合員の声を商品案内書に紹介し、毎週、色々なメニューを揃えていくとともに、家族が多い家庭にも利用しやすいミールキットも準備し、より使い勝手が良くなるようにしていきます。

2.『宅配があるくらし』をもっと楽しもう!

総代会で決めたこと

いつでもどこからでも注文ができ、どんなところへも笑顔と商品を届けてくれる生協の宅配。「コープしがに入っててよかったわ」、「担当さんのおすすめ毎週楽しみにしているよ。ありがとう」の声がたくさん集まりました。

つながる信頼から安心がうまれる生協の宅配を楽しみましょう。

～組合員の声をカタチにした事業や活動２０２３～

●コープしがアプリを、もっと便利に使ってもらえるよう機能を追加しました。

●紙の案内書やチラシとeフレンズの連携を強め、webを活用したお知らせを新たに展開しました。

●eフレンズで、組合員の声の受付ができるようになりました。

●くらしのサービス事業は、ホームページやお店でのお知らせを強化しました。

●高齢になっても利用し続けられるなど、組合員のくらしにあった商品案内書や注文書の改善に向けて情報収集をすすめました。

●夕食サポートは、組合員や地域の皆さんへのお知らせを強め、利用が拡大しました。

●家庭で行っている節電のアイディアを募集、環境についてみんなで考える機会となりました。

●持続可能なエネルギーの供給を目指し、コープでんきは取次事業として再スタートしました。

２０２３年度に取り組んだこと

自動お届け商品の登録運動

寄せられた声

・自動お届け登録しています。“一回休み”の機能も便利だし、注文し忘れても商品が届き助かっています。
・お米やこれだけはないと困る商品を自動登録しています。数量の増減もできるので便利に使っています。
・生産者を応援する気持ちで、毎週自動お届け商品を利用しています。

「やくだつ」

受けとめたこと

・多くの組合員から「自動お届け」が便利という意見をいただいています。組合員の声を話し合う場では、登録できる商品を自由にセットして組み合わせできないかなど、より便利になるように検討しています。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

今後、自動お届けできる商品の種類を増やすとともに、基本商品セットなど、もっと使い勝手を良くしていけるように検討していきます。また、自動登録いただくと、安定した利用となるので、生産者は安心して生産することができます。組合員のくらしに欠かすことができない商品がいつも食卓に並ぶよう、年間通して登録運動をすすめていきます。

コープの宅配をお知らせする活動

寄せられた声

・赤ちゃんサポート無料期間が終了の案内が届きましたが、手数料がかかるその時に、担当者にグループやステーションの提案をしてほしかったです。
・個配の手数料の仕組みがわかりにくいです。特に利用しなくてもかかるシステム使用料がわかりづらいと感じます。
・滋賀県内でどこにどういうステーションがあるのか分かるようになれば、もっと選択肢がひろがると思います。

「やくだつ」

受けとめたこと

くらしが変化する時など、必要なタイミングで案内がお知らせができていませんでした。また、手数料の仕組みの案内なども十分ではありませんでした。現在、宅配のサービスや利用形態について、様々な声をいただいています。組合員のニーズや社会情勢を受けとめて、必要な改善を図っていきます。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

現在の宅配のサービスや利用形態についてのお知らせ方法やルールについて整備します。また利用形態別の良さや特徴についてわかりやすく組合員へお知らせし、選択できるようにすすめていきます。また現在の社会情勢を受けて上昇し続ける様々な事業コストについて、持続可能な宅配事業を構築するための検討をすすめます。

注文方法の改善や配達時のちょっとした困りごとのサポートなど、仕組みやサービスの研究、検討をすすめていきます。

生協をまるごと使えるアプリ開発

寄せられた声

・コープしがアプリの進化に期待しています。組合員にとって、コープしがアプリが窓口の役割を果たし、色んな情報を取り込めるようになるといいですね。
・急に外出する際に、アプリで担当者へ連絡することができると便利だと思います。

「やくだつ」

受けとめたこと

急な外出や営業時間外の連絡手段に、頭を悩ませることがあるかと思います。日常の困りごとを、身近なアプリを使って解決できるように、アプリの改善が出来ればと考えています。

「つながる」

実現できたこと

２０２３年５月に宅配ページを開設し、ｅフレンズと連携して毎回のパスワード入力の手間を省き、注文や情報取得ができるようになりました。また、１２月には店舗ページを開設し、スマートフォンを利用して電子決済でお買い物ができるようになりました。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

スマートフォンは、くらしの中で欠かすことができないものとなりました。
将来にわたってコープしがをまるごと便利に活用いただけるよう、アプリのさらなる研究・検討をすすめます。

商品案内書・注文書のご利用サポート

寄せられた声

・高齢になると注文用紙が見えづらく、商品案内書を見るのがしんどいです。
・高齢者向けの商品や、少量企画の商品があればいいと思います。
・高齢になってくると、色々なことが不自由になってくるので、利用しにくい生協にならないようにしてください。

「やくだつ」

受けとめたこと

商品の取り扱いが増えて、商品の案内書や注文書の文字が小さく見にくくなっています。特に、高齢の方を中心に負担がかかっています。負担軽減のために改善できることはないか考えて、安心して長く利用を続けてもらえるようにしていきます。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

誰もが生涯にわたって、生協を安心して利用いただけるようにしていかなければなりません。「注文書が見えづらい、書きづらい」という声をいただいています。

生涯にわたって安心して生協を利用いただくための手段の一つとして、現在一部の方に使用いただいている手書き注文書（生協お買いもの注文書）の活用をひろめます。

生協お買いもの注文書

企画回　月　回　コース

お名前:　様　組合員CD:

注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量
注文番号	商品名	数量	注文番号	商品名	数量

※企画回をよくご確認の上、ご注文ください。

お気づきの点やご意見、お困りごとなどあれば、ご自由にお書きください。

お問い合わせ：組合員コールセンター 0120-709-502　電話注文 0120-190-502

生活協同組合コープしが ●●センター

3.『お店があるくらし』をもっと楽しもう！

総代会で決めたこと

私もあなたも誰にでも「おいしさ、楽しさ、あったかさ」を実感できるコープのお店。

「これおいしかったわ」、「これ便利」、「ここでしか買えないものがあるわ」という声がゆきかう私たちのお店。「お買い物サポートカーやお届け便（お買い物代行、お買い上げ配達）があって助かるわ」の声もいっぱい届いています。

楽しい、また来たいと思えるお店にみんなでしていきましょう。

～組合員の声をカタチにした事業や活動２０２３～

- ●CO_2削減や環境に配慮した取り組みをすすめ、リユースやリサイクルなどゼロ・ウェイスト（ゴミをゼロにすることを目標に、できるだけ廃棄物を減らす活動）の視点をもって、店舗運営をすすめました。
- ●店内での掲示や放送、SNSを活用し、店舗を利用している組合員へコープしがの情報発信を強化しました。
- ●コープしがアプリに店舗機能を追加し、組合員証（こぴたカード）、電子マネー、レシートのペーパーレス対応が可能になりました。
- ●３０周年の記念企画や大感謝祭を実施しました。
- ●週に１回、決まった曜日・時間に無料送迎するお買い物サポートカーは、全店舗での運行体制を整え、家族の同行やエリアの拡大を計画的にすすめられるよう検討しました。

２０２３年度に取り組んだこと

環境への取り組み

寄せられた声

・過剰なプラスチック包装などの商品を購入する時には、後ろめたさを感じます。
・環境に配慮していることが、スーパーを選ぶときの選択基準であるという方も少なくないと思いますので、生協の店舗で実施している環境への取り組みを、分かりやすくアピールしてください。

「やくだつ」

受けとめたこと

環境保全への取り組みは、日常の様々な選択基準となってきています。生協の店舗に来店される組合員から「せっかく環境への良い取り組みを行なっているのだから分かりやすくしてほしい」とのお声や、「環境の取り組みに参加している事を、日常的に実感したい」などの想いを受け止め、店内掲示板やＳＮＳ等で、取り組みを見える化していきます。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

組合員の声を受けて、各店舗で実施している環境負荷削減の取り組みを一覧にして、店内入り口に掲示できるように準備をすすめています。

eco
Clean Energy

お買い物サポートカーへの乗車人数

寄せられた声

・お買い物サポートカーは良い取り組みですね。私の知り合いも使ってみたいと言っておられたのですが、奥さんが認知症で夫婦一緒に買い物に行きたいと言われていました。一世帯、お一人の乗車が基本とお聞きしました。夫婦で買い物に行ける事を楽しみにされている方もおられますので検討してみてほしいです。

「やくだつ」

受けとめたこと

利用者からは、「決まった曜日の決まった時間帯で利用できるので便利」や「自分の目で見て買えるので嬉しい」とのお声をいただいています。

今後、高齢化が進んでいく中、必ずしも一人で外出できる方ばかりではなく、家族と一緒でなければ難しい方も増えてきます。また、買い物を家族と一緒に楽しみたいと願われている方もおられます。一方で、お買い物サポートカーを利用したいが、地域外で利用ができないとお待ちいただいている方もおられますので、今後はサポートカーを増車していく中で、家族同伴で買い物をすることができるように検討をすすめていきます。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

お買い物サポートカーは、コープぜぜ店で１台、コープかたた店で１台増車し、２０２４年６月からの稼働に向けて準備をすすめています。今回、組合員の声でいただいた夫婦での（家族との）お買い物については、今後さらに増車をしていく過程で検討をすすめていきます。

※お買い物サポートカーは、食料品などのお買い物が不便な方を対象に、自動車でコープのお店まで無料送迎するサービスです。（全店舗でサービス提供しています。）

あったか便（移動店舗）の県内全域展開

寄せられた声

・近所でも高齢化が進み、免許を返納される方も増えてきて、買い物をする場所も多くありません。是非、あったか便（移動店舗）を県内全域ですすめてほしいです。

「やくだつ」

受けとめたこと

少子高齢化が進み、過疎化している地域が増えてきていて、近くにスーパーやドラッグストアなどがなく、買い物に不自由さを感じておられる方が増えていることから、移動店舗を求める声が増えています。

「つながる」

実現できたこと

高齢者を中心とした、日常のお買い物が不自由な方々へのお役立ちを、さらに前進させるために、新たな事業展開地域の調査をすすめてきました。これまでの調査及び行政や社協との連携により、長浜市西黒田地区、神田地区、田根地区にてあったか便２号車を２０２４年２月２６日から稼働させる事ができました。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

将来に向けて安心して利用が続けられる移動店舗事業の広がりをめざしています。まずは長浜エリアでの２台体制を事業として成り立つ状態に確立させて、その上で他店舗での導入検討につなげていきます。

お買い物券の発行のされ方

寄せられた声

・ポイントを貯めると発行される“お買い物券”がレシートと一緒に発行されるので、捨ててしまいそうになったことがあります。自分が使いたいときに使いたいだけ申告できるようになると嬉しいです。

「やくだつ」

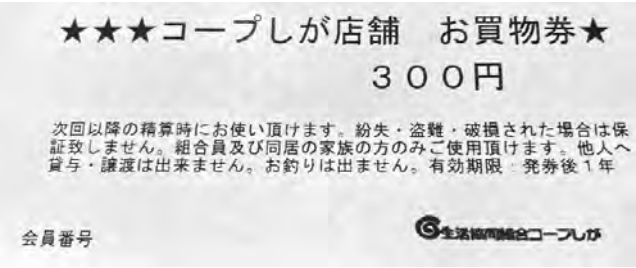
受けとめたこと

お買い物ポイントを利用して、お得に商品が購入できることを、組合員のみなさんは楽しみにされています。しかし、現状では、貯めたポイントを好きな時に使えるシステムではなく、３００ポイントで３００円の商品引換券が発行されるようになっています。他のお買い物券の発行方法について調査をすすめていきます。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

お買い物券の発行の方法については、システム連携している近畿地区の３生協（コープしが、ならコープ、京都生協）で統一されたものとなっており、コープしがだけで変更することができないのが現状です。近畿の３生協とは、密に連携を取りながら統一した仕組みを作り上げていますので、今後、お買い物券の発行の方法についても、検討をすすめます。



4．くらしの備えと『おたがいさま』を考えよう!

総代会で決めたこと

予測できない自然災害や病気・ケガ。新型コロナウイルスの流行で“あたりまえ”があたりまえでなくなる経験もしました。ふだんのくらしの保障の備えやローリングストックなどの重要性が改めて見直されています。困った時こそお互いを想う気持ちも大切です。くらしの困りごとを気軽に話せて解決できるつながりづくりとして、ささえあいサポートが地域ですすんでいます。

「うばい合えば足らぬ、分け合えばあまる（相田みつを）」協同の精神“分かち合い”を胸に、よりよいくらしづくりを考えていきましょう。

～組合員の声をカタチにした事業や活動２０２３～

- ●ささえあいサポートの情報発信の強化や交流会の開催など、ささえあいサポートの輪を広げるための取り組みをすすめました。
- ● CO・OP 共済は、加入条件の緩和と個人賠償責任保険の補償範囲の拡大など、組合員の想いを実現して制度を改善しました。
- ●安心して暮らせるくらしと地域を目指して、介護事業ヘルパーステーションぽこ守山を開所し、ヘルパーステーションぽこ野洲の事業範囲を拡大しました。
- ●介護の悩みに寄り添うために、コープもりやま店や宅配事業センターで介護相談会を実施しました。
- ●認知症サポーター養成講座を開催し、組合員と役職員が一緒に認知症への理解を深めました。

２０２３年度に取り組んだこと

介護・ささえあいサポートをもっとみんなに

寄せられた声

・コープしがでは介護事業やささえあいサポートなど、いい事業や活動があるのに、もっとみんなに知ってもらえるといいな。

「やくだつ」

受けとめたこと

組合員から介護のことやくらしの中のちょっとした困りごとの声が増えています。コープしがには宅配やお店での商品利用だけでなく、くらしの中での困りごとが解決できる事業や活動があることを知ってもらい、必要な時に活用してもらいたいと考えています。

「つながる」

実現できたこと

広報誌スパイラルなどを通じて、ささえあい活動の活動紹介、サポーターの募集や介護に関する経験者の事例紹介、介護についての学び、介護事業紹介など組合員へお知らせしました。また、２０２３年度はびわ湖放送のコープしが３０周年記念番組「コープしが　スマイルスタジオ」で介護事業とささえあいサポートの紹介をしました。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

引き続き、スパイラルやホームページなどいろんなチャンネルを通じて多くの組合員に知ってもらえる機会をつくります。また、組合員に身近な職員が、介護やささえあいサポートについて応えられるようにすすめます。近くに困っている方がおられたら、組合員のみなさんからもコープしがの介護サービスやささえあいサポートのことを伝えていただきたいです。

コープしがスマイルスタジオ
第８回「ちいきを大切に！で笑顔！」

介護に関する困りごとや介護相談会の開催

寄せられた声

・介護に関して、どこに聞いたらいいかわからないです。
・介護について、生協で気軽に聞ける場があればいいと思います。

「やくだつ」

受けとめたこと

高齢化にともない、組合員の中でも介護を必要とされる方が増えています。また、突然、家族に介護が必要な状況となり、どこに相談していいのか、何をしたらいいのかわからないという声も増えてきました。介護に限らず、くらしの中で困った時には、宅配の組合員担当やコープのお店をはじめとした身近にいる職員に相談でき、必要な情報が手に入ることで、困った時には生協にきいてみようと感じてもらいたいと考えています。

「つながる」

実現できたこと

介護に関する相談会を継続して実施しました。２０２３年度は介護相談を１４件受け付け、介護の困りごとに対して安心いただくことができました。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

引き続き、介護に関しての相談会を地域の組合員活動の場や広報誌スパイラルを通じて、情報提供をすすめます。また介護などで困った時にはコープのお店や宅配の組合員担当、コールセンターへ気軽にお問い合わせいただき、介護事業部へつながるようにすすめていきます。

介護事業がいつまでも利用できるように

寄せられた声

・これからは介護に関して困られる方、サービス利用を必要とされる方が増えてきます。コープしがの介護事業を安心して利用できるよう、今後の事業展開に期待しています。

「やくだつ」

受けとめたこと

高齢化に伴い、介護サービスの需要は高まっています。今後、組合員からもコープしがへの相談や介護サービスの利用が増えてくると考えられます。誰もが安心して介護サービスを受けられる環境はとても大切です。

「つながる」

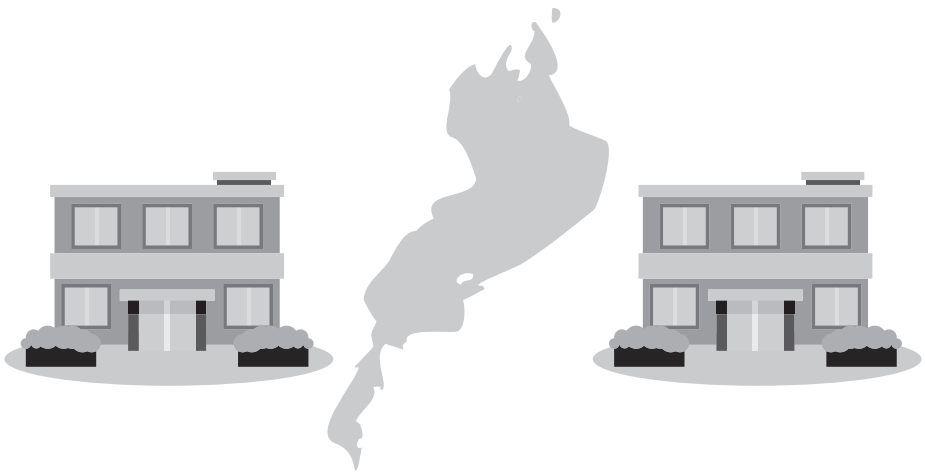
実現できたこと

２０２３年４月にはヘルパーステーションぽこ守山を開所しました。訪問介護では守山市、野洲市での利用者が増加しました。また、居宅介護支援でも、利用者が増加しました。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

介護サービスの中でも在宅サービスの需要は、今後高まることが予測されます。滋賀県内で一人でも多くの組合員がコープしがの介護サービスを利用できるよう、湖南地域での業務エリアを広げるとともにそれ以外の地域へも、ひろげていきます。



5. くらしをよくし、誰かの『笑顔につながるコト』をはじめよう！

総代会で決めたこと

人は一人で生きられません。くらしを豊かにするために、住みよい地域を築くためにともにささえあいながら生きています。人とのかかわりを制限されたことにより、あらためて気づかされた人とのつながりの温かさや大切さ。一人でできるコト、だれかと一緒にできるコト…。

私がワクワクできて誰かの笑顔につながるコトの一歩を踏み出しましょう。

～組合員の声をカタチにした事業や活動２０２３～

●リサイクルの目的と回収後の再資源化ルートをお知らせしました。

●いのちのたいせつさについて考える企画は、身近な動物愛護についての学習会を実施しました。

●ピースアクション（日本生協連の平和について考える取り組み）は、沖縄や長崎を訪れ平和の大切さについて学びました。

●地域委員会、滋賀県生協連、自治体との連携で、消費者問題、防災学習会、健康教室などを開催しました。

●震災を忘れない取り組みは、福島や宮城のスタディツアーを開催、組合員・役職員が参加しました。

●びわ湖清掃ウォークは、清掃活動に地域交流を加え、彦根市と大津市で開催しました。

●２年目となる知内との「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、田植え・稲刈り・ゆりかご水田での生きもの観察会に加え、お米の引き渡し交流会を実施し、生産と消費をつなぐ取り組みがすすみました。

●「イスラエルとパレスチナにおける武力行為の即時停止と人道支援の実施の要請文」を政府に提出、「ユニセフ・ガザ人道危機緊急募金」を実施しました。

●能登半島地震支援募金の実施と、コープいしかわへの職員派遣支援を行いました。

２０２３年度に取り組んだこと

CO_2排出量の削減

寄せられた声

・太陽光発電がコープもりやま店とコープかたた店にも設置されましたね。自分たちで作った電気を自分たちで消費するのはとてもいいことです。今年は猛暑が続き、地球温暖化の影響をひしひしと感じます。自分でできる地球に優しいエコ生活に努めています。

「やくだつ」

受けとめたこと

地球温暖化の影響を強く感じて、自分でできるエコ生活へ取り組みがすすんでいます。CO_2の削減に向けて、コープしがの事業で消費するエネルギーを削減したり、再生可能エネルギーをつくっていくことはとても大切です。また、コープの森あぶらひの森林整備活動やライトダウンキャンペーンなど環境を守ることにつながる組合員活動にも引き続き取り組んでいきます。

「つながる」

実現できたこと

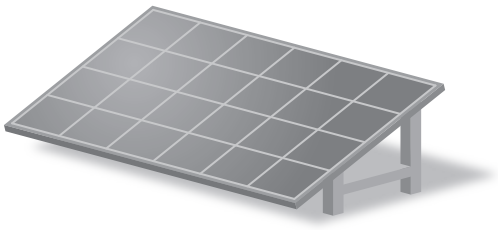
コープもりやま店とコープかたた店に太陽光発電を設置して２０２４年からお店で使う電力の一部をまかなっています。太陽光発電で発電した電気を使い、電気の自家消費をしています。

また、油日上野共有生産森林組合と締結しているコープの森あぶらひの「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を５年間延長しました。２０２３年度ライトダウンキャンペーン（夏）は、７７家族が取り組みました。さまざまな取り組みによってCO_2排出量削減、地球温暖化防止に貢献しました。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

コープしがは「２０３０年度CO_2排出量４０％削減に向けたロードマップ」に基づきCO_2排出量を計画的に削減していきます。毎年、進捗状況を把握して、情勢の変化を考慮しながら計画を進めていきます。



環境情報の発信について

寄せられた声

・商品案内書や仕分け袋、牛乳パックなどの回収率だけでなく、「それぞれ回収した物は、こういう物にリサイクルされる」などの情報も積極的に発信していけばよいと思います。リサイクルしている事、方法をもっとたくさんの人に知ってもらい、回収率が上がるといいなと思います。私自身も自分にできるリサイクルをこれからも続けていきます。

「やくだつ」

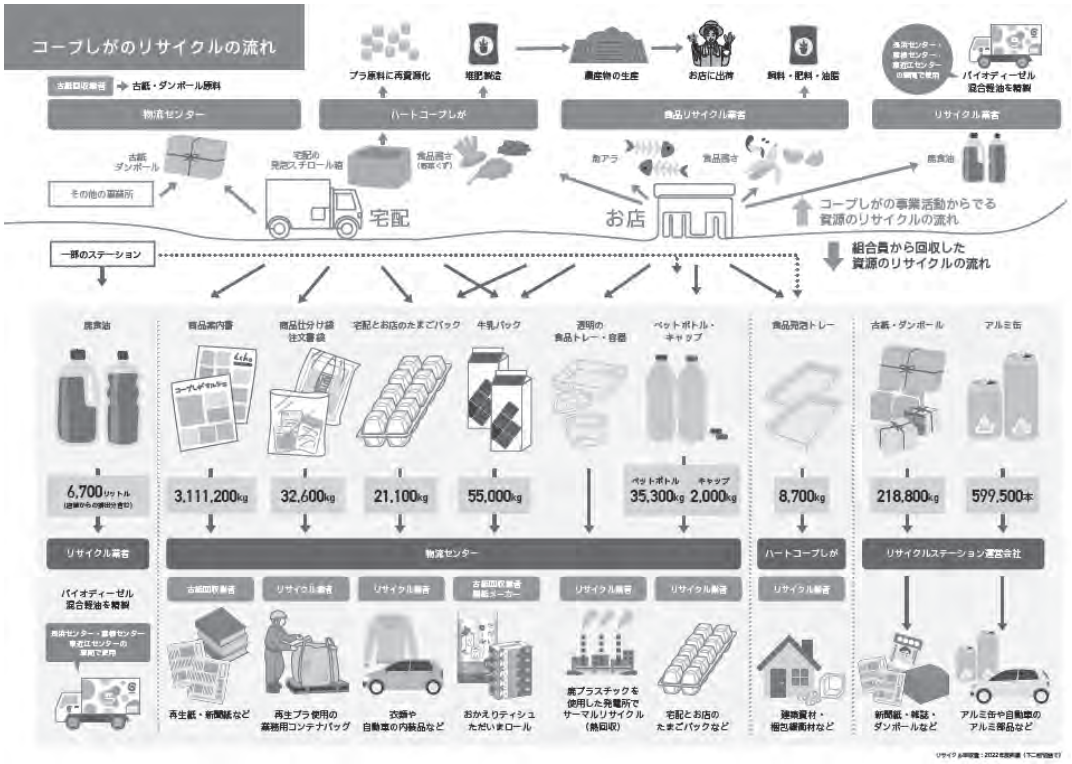
受けとめたこと

組合員１人ひとりのリサイクルの取り組みが、コープしがの全体の大きな力につながっています。コープしがとしてリサイクルに積極的に取り組み、多くの人に情報を発信していきます。一人ひとりが出来るところから一歩を踏み出すことの大切さを実感します。

「つながる」

実現できたこと

コープしがのリサイクルの出し方、回収しているリサイクル可能資源、リサイクルの流れをまとめたリーフレットを作成しました。組合員が手に取り、持ち帰りができるように、お店や宅配事業センター、事業所に配置したり、ホームページやＳＮＳなどで情報発信を行っています。また、環境教育のツールとしても使用し、組合員や職員がリサイクルに参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。



４Ｒの推進（プラスチックの削減・リサイクル）

寄せられた声

・ラベルのないペットボトルのシリーズはとてもよいと思います。組合員が気軽に参加できるわかりやすいリサイクルのシステムを作ってほしいです。普段から取り組まないといけないな…とは思いますが、内容がよくわからなかったり、踏み出せなかったりしています。
・りんごのパックもたまごのパックと同じように回収してほしい。トマトのパックなどを、再生プラスチックにして、なるべく削減してほしい。

「やくだつ」

受けとめたこと

組合員のプラスチックゴミを削減したいという想いと、ペットボトルのリサイクルについて、どのようにリサイクルされていくのかがわかれば、もっと多くの方が参加できるのではないかと考えています。循環型社会の実現に向けて、リサイクルを推進することはとても大切ですね。

「つながる」

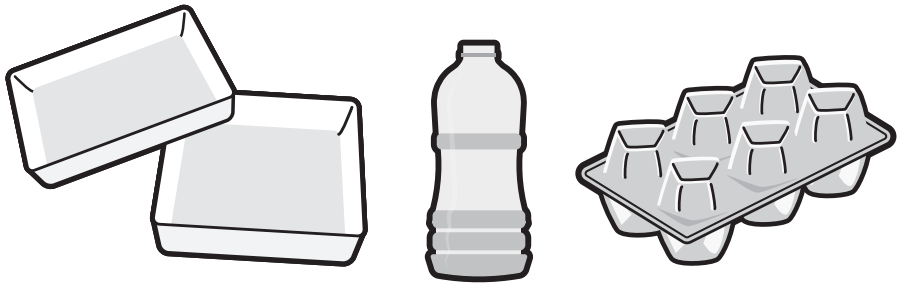
実現できたこと

店舗では「ミニトマトバイキング」の専用容器を再利用すると10円引きになるリユースに取り組んでいます。より良い取り組みになるように容器やシステムの改善を検討しています。また、コープながはま店でプラスチック使用量を削減できるノントレー商品を提供しています。できることからプラスチック削減に取り組んでいます。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

コープ商品は日本生活協同組合連合会がつくっています。コープ商品は、使い捨てプラスチック容器包装削減に向けて取り組みをすすめています。コープしがは、日本生活協同組合連合会とともに持続可能な循環型社会の実現に向けて、より環境負荷を減らした商品づくりに取り組んでいきます。



6.『ありがとう』でつながる私たち！

総代会で決めたこと

私たちの日々のくらしには生協とかかわる中でうまれる“ありがとう”がたくさんあります。組合員や職員も、自分やくらしを守ることへの感謝の気持ちがあふれます。

お店でも週に一度の宅配でも、生協でつながっていることの喜びを実感し広げていきましょう。

そして、私たちの子どもや孫やもっと先の世代にも、安全と安心をつないでいける笑顔あふれるコープしがにしていきましょう。

～組合員の声をカタチにした事業や活動２０２３～
（組合員、役職員、子会社、未来づくり）

●第Ⅱ期「やくだつ・つながる・ひろがる計画」第１０次中期計画の策定を行いました。

●３０周年企画「コープしがスマイルスタジオ」の企画・放映と生産者との記念商品を開発しました。（記念事業の取り組み内容はＰ８９～９０に掲載しています）

●自治体（多賀町、守山市と包括連携協定）、地域諸団体、県内協同組合（JA・大学生協）との連携を強化しました。

●移動店舗「あったか便」の１号車・２号車を、長浜市・社会福祉協議会、地域諸団体と連携してスタートしました。

●近江八幡市「おむつおとどけみまもり便」を受託しました。

●組合員のふだんの暮らしの声を聴く「ぱくぱくパーティ」を再開しました。

●全国の生産者から学ぶ「産地職員研修」を再開しました。

２０２３年度に取り組んだこと

組合員それぞれが参加しやすい企画

寄せられた声

・今年の清掃ウォークに参加しました。彦根会場に参加しましたが、もっといろんな会場で実施されれば、参加しやすいと思います。
・組合員活動は、いろいろあって興味もあるけど、仕事をしていると、土日が仕事でとてもじゃないけど参加できない。

「やくだつ」

受けとめたこと

せっかく関心のあるテーマの行事が企画されていても、予定があわなかったり、会場が遠方であることで参加できず、残念な想いをされている方がたくさんおられるのだと思います。コープしがでは、多くの方に活動を通して５つのたいせつについて学び考えた体験が今後のくらしに役立つものになればと考えています。

「つながる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

びわこたいせつ活動に関して、「びわ湖清掃ウォーク」など会場に集合する企画は継続します。また、一人ひとりのびわ湖をたいせつにしたいという想いがカタチにできるきっかけとして、期間中、それぞれがびわ湖や環境について考え、取り組んだことをコープしがホームページで報告し合う企画「考えてやってみよう！びわ湖清掃ウォーク」も９月に実施を検討します。
※コープしがでは、２０２４年より９月を環境問題について考える月間と位置づけ、「コープしが　びわこたいせつ月間」として設定します。

より広い層に向けた取り組みの実施

寄せられた声

・イベントは女性中心のものが多く、男性が関わる企画があると、参加してつながりがつくれると思います。また、小中学生の集まる企画があればと思います。

「やくだつ」

受けとめたこと

現在、大人を対象とした行事が多いのが現状です。声でいただいたように、男性が関わる企画や親子での参加、お子さんのみの参加は、これまでとは違った貴重な経験をすることができるのではと思います。コープしがでは、取り組みに参加することでくらしに役立つよう、様々なテーマや開催形態等により、多くの方に活動に参加してほしいと考えています。

「つながる」

実現できたこと

２月には、大人のたべるたいせつオンライン企画として「地酒と湖魚を楽しむ夕べ」を土曜日の夕方にオンラインで実施しました。男性の参加も多く、これまでとは違う層の方が多く参加されました。

「ひろがる」

協議をすすめていること、今後検討していくこと

お子さんのみで参加する企画など、様々な方が参加できる活動を検討していきます。

また、生協には組合員が中心となって企画を運営するなどの仕組みがあります。職員もサポートしますので、男性の方もぜひ挑戦してください。

●「所在不明組合員の整理に関する規約」に基づく自由脱退処理について

定款第１０条第２項及び「所在不明組合員の整理に関する規約」に基づき、２０２２年３月２０日以前から所在不明になっている４２０名（出資金総額2,９４４,２３１円預かり金含む）について２０２４年3月２０日付で自由脱退処理を行いました。

●適切な会計監査の実施

公認会計士「有限責任監査法人トーマツ」による監査を実施します。

●２０２３年度情報公開について

情報公開に関する申請及び再申請はありませんでした。

わたしたちのくらしづくり「5つのたいせつ」視点の取り組み

5つのたいせつ

くらしを良くするために、大切にしている5つの視点です。小さな取り組みの積み重ねがSDGsにつながります。

たべるたいせつ　くらしたいせつ　びわこたいせつ　ちいきたいせつ　いのちたいせつ

たべるたいせつ

商品大交流会

・１１月２５日は北ビワコホテルグラツィエで、２月１７日は大津プリンスホテルで商品大交流会を実施しました。
新型コロナウイルス感染症の５類移行にともない４年ぶりに開催できました。
会場内は笑顔がいっぱいあふれていました。

サマーキャンプ ｉｎ 鳥取

・８月５日～８月６日にサマーキャンプを実施しました。
学習・交流・キャンプを通して、酪農業、畜産業の現状を知り学ぶとともに生産者とのつながりが深まりました。

くらしたいせつ

震災を忘れないスタディツアー ｉｎ ふくしま

・１１月１１日～１１月１２日にスタディツアーを実施しました。
震災の傷跡はなくなってはきていますが、真の意味での復興はまだまだ先にあると感じ、改めて日常の有難さ、当たり前の日々が続くわけではないという事を学びました。

びわこたいせつ

“自然とあそぼう＆木こり体験”

・１１月１９日に自然とあそぼう＆木こり体験を実施しました。
森林の維持管理が生活に重要な役割をもっていることや大変であることを感じることができました。

びわ湖清掃ウォーク

・９月２日に参加者５１１人でびわ湖湖岸（大津市なぎさ公園・彦根市松原水泳場）にてびわ湖清掃ウォークを開催しました。参加者は活動を通じてびわ湖の景観と環境保全の大切さを感じる取り組みとなりました。

ちいきのたいせつ

フードドライブ活動や炊き出しのお手伝い

・宅配事業センター、店舗に設置しているフードボックスには多くの食品の寄付がありました。

いのちのたいせつ

いのちの大切さを考える学習会

・２０２３年3月２８日にいのちたいせつ学習会を実施しました。滋賀県動物保護管理センターの施設見学をし、動物愛護について学びました。参加者はあらためて「命の大切さ」「思いやりと協調の大切さ」を学びました。

県内戦争遺跡めぐり

・７月２９日に県内戦争遺跡めぐりを実施しました。実際に掩体壕や列車壕を見たり、中に入ったりしたことで当時の雰囲気が頭の中に浮かび、人間同士の争い、戦争がどのようなものだったか、改めて気づくことができました。

くみかつしよう コープの組合員活動→通称「くみかつ」

エリア活動

取り組み名：第７エリア　エリア委員地域委員交流会
内　　容：エリア委員・地域委員の紹介、過去の企画を基に模擬地域委員会体験や今までの企画やその中で起こったハプニングなどを紹介し、共有しました。その後のおしゃべりタイムを通して、みんなで交流を深めました。
参加者の声：これからの地域委員会活動の参考にとてもなりました。それぞれのお話が役立つことばかりで楽しく勉強になりました。

第７エリア　エリア委員地域委員交流会

第２エリア　産直交流企画

第３エリア　産直交流企画

第５エリア　くみかつオータムフェスティバル

ひろば活動

ひ ろ ば 名：いき百サロン虹
内　　容：毎週金曜日『いき百サロン虹』をやっています。
担い手の声：みんなで、いきいき百歳体操で体を動かした後に、交流して楽しんでいます。いきいき百歳体操をしてフレイル予防をしています！

ひ ろ ば 名：家計簿カフェ
内　　容：家計の収支の管理やレンジ調理で楽に美味しく食べる工夫について皆さんに紹介し、それぞれの家計に関する思いや疑問を話し合いました。
担い手の声：企画を通して家計簿を付けたいと思ってもらえるようにと開催しました。グループでの話し合いも大いに盛り上がり良かったです。

ひ ろ ば 名：シニアピース倶楽部
内　　容：コロナ禍でしばらく活動ができなかったので今回、心のリフレッシュを兼ねてクラフトかご作りに挑戦しました。みんなでワイワイおしゃべりしながら次の企画につながるヒントを得たいと思い企画しました。

担い手の声：今、人気のクラフトバンドを講師の先生に教えていただきながら素敵なかご作りをしました。軽食＆飲み物付きで皆でおしゃべりしながら心もリフレッシュできてとても楽しい時間を共有できました。

チーム活動

チ ー ム 名：サロン鴨川平
内　　容：自治会でのサロンに集まる仲間です。集会所玄関前の寂しくなっていた花壇に葉ボタン、ビオラ、パンジーの苗を植えました。
担い手の声：お花を植えることで行き交う人の目を楽しませ、サロンに集いやすくなると良いなと思います。

チ ー ム 名：チーム音楽隊
内　　容：別々の音楽活動をしていましたが、ライブハウスや、野外イベントで知り合った仲間です。秋の音楽祭と称しお世話になっている方々へ今回は恩返しライブを企画しました。
担い手の声：コロナがようやく収束の兆しとなり、いろんなイベントが復活しかけています。昨年まではバラバラで活動していましたが、今年こそはチーム活動をリアルで楽しめるようにイベントを企画。コープさんの協力により、また新しい方もお誘いして宣伝も兼ね、繋がりをより深めていきます。

チ ー ム 名：にじいろ
内　　容：地域のつながりを大事にして、歌・音楽を通していつまでも楽しく活動していきたいという思いに賛同した人たちが集まって結成しました。
担い手の声：今年は結成１０年なので、レパートリーも増やし発表の場もあり頑張っています。地域でのコミュニケーションを大切にしながら楽しく活動しています。

チ ー ム 名：キラナ
内　　容：子ども同士の親の知り合いから広がって、月１回程度集まって、キッズ＆ベビーの運動あそびを行っています。
担い手の声：今回はクリスマス会として、クレープパーティーをしました。社協さんの協力でサンタさんも登場し、子どもたちも大喜びでした。

地域や諸団体とのつながり

滋賀県栄養士会による食育イベントの開催

世界平和祈願法要への参加

日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名活動

西の湖ヨシ刈りボランティア

自治体との協定

守山市との包括連携協定
(2024.3/26)

長浜市・長浜市社会福祉協議会
地域づくり協議会との４者協定（2/7）

多賀町との包括連携協定（3/27）

地域諸団体との連携

子育て応援フォーラム
(主催：守山市社会福祉協議会)

長浜市社会福祉協議会を通じて
石川県七尾市へ寄付

フードパントリー
(守山市社会福祉協議会)

自治体からの受託事業

近江八幡市
「乳児おむつ等支給子育て支援業務委託」

決算関係書類

貸　借　対　照　表

生活協同組合コープしが　（２０２３年３月２０日現在）　（単位：千円）

科目	金額		科目	金額
（資産の部）			**（負債の部）**	
流動資産		**24,517,309**	流動負債	**7,107,652**
現金預金		20,043,537	買掛金	4,908,080
供給未収金		3,679,845	未払金	976,649
商品		280,487	契約負債	51,159
貯蔵品		13,256	未払法人税等	190,942
立替金		22,543	未払消費税等	23,614
前払費用		10,175	預り消費税等	30,278
未収金		501,416	未払費用	332,332
短期貸付金		11,885	前受金	85,876
貸倒引当金		△ 45,837	預り金	166,948
			出資預り金	58,075
固定資産		**10,345,433**	役職員預り金	51,735
有形固定資産		**7,879,237**	賞与引当金	231,959
建物	3,790,373			
減価償却累計額	△ 1,983,426	1,806,947	固定負債	**2,091,264**
建物附属設備	1,746,479		退職給付引当金	1,908,249
減価償却累計額	△ 1,190,726	555,752	長期未払金	6,138
構築物	649,561		預り保証金	95,286
減価償却累計額	△ 452,589	196,971	資産除去債務	81,591
機械装置	338,227			
減価償却累計額	[illegible]	[illegible]	負債合計	**9,198,917**
車輌運搬具	[illegible]			
減価償却累計額	[illegible]	[illegible]	**（純資産の部）**	
器具備品	[illegible]			
減価償却累計額	△ 623,263	178,178	組合員資本	**25,663,825**
土地		5,035,926	出資金	**13,194,816**
無形固定資産		**160,869**	剰余金	**12,469,009**
電話加入権		358	法定準備金	**6,235,000**
施設利用権		2,765	任意積立金	**5,000,273**
借地権		27,467	システム整備積立金	1,418,063
ソフトウェア		124,670	環境事業積立金	1,064,772
ソフトウェア仮勘定		5,608	店舗開設積立金	987,396
			リスク対応準備金	600,000
その他固定資産		**2,305,326**	減損評価準備金	557,467
関係団体等出資金等		574,770	福祉積立金	260,187
関係団体出資金		477,770	産直・県内農産基金	36,040
子会社等株式		97,000	30周年記念事業準備金	34,752
長期前払費用		14,818	災害支援基金	18,852
差入保証金		399,776	事業所内保育特別償却準備金	22,741
施設負担金		1,226	当期未処分剰余金	**1,233,735**
長期保有有価証券		454,808	（うち当期剰余金）	(955,763)
長期貸付金		49,575		
繰延税金資産		810,350		
			純資産合計	**25,663,825**
資産合計		**34,862,742**	負債・純資産合計	**34,862,742**

総代会議案書において正確な数字を報告します

【参考】貸借対照表の勘定科目解説

資産の部	
流動資産	
現金預金	事業所の小口現金と銀行の預貯金
供給未収金	商品やサービスを利用した組合員の商品代金のうち、支払期日が到来していない金額
商品	供給目的で仕入れた物品のうち、まだ供給していない在庫の金額
貯蔵品	事業に供する備品類のうち、未使用となっている在庫の金額
立替金	一時的に生じる立て替えている金額
前払費用	契約に基づき継続的に役務の提供をうける場合、未提供の役務に対して支払った対価のこと
未収金	取引先との通常の事業取引に基づいて発生した未収となっている金額
短期貸付金	回収期限が1年以内に到来する貸付金額
貸倒引当金	供給未収金等の金銭債権の回収不能に備えて予め引き当てている金額
固定資産	
有形固定資産	
建物	所有している建物 (宅配事業センター・店舗・本部など)
建物附属設備	建物に固着したもので、その建物の使用価値を増加させるものや維持・管理に必要なもの(空調設備など)
構築物	土地の上に固着した建物以外の建造物や工作物 (塀・看板・アスファルト舗装など)
機械装置	所有している機械装置やそれに付属する設備 (太陽光発電パネルなど)
車輌運搬具	所有する車輌及び車輌に常時搭載する機器
器具備品	所有する耐用年数1年以上20万円以上の器具及び備品(店舗のショーケースなど)
土地	所有している土地
減価償却累計額	有形減価償却資産(建物及びその附属設備、構築物、機械装置、車両運搬具、器具備品)の減価償却費の累計額
無形固定資産	
電話加入権	電話番号を取得する際に要した費用
施設利用権	水道設備の設置や電話通信設備に要する費用
借地権	他人の所有する土地を利用するための賃借権の金額
ソフトウェア	コンピューターソフトウェアの償却後残高
ソフトウェア仮勘定	開発中であるコンピューターソフトウェアへの支出金額
その他固定資産	
関係団体等出資金等	
関係団体出資金	日本生協連やコープきんきなどの関係団体への出資金額
子会社等株式	子会社・関連会社への出資金額
長期前払費用	前払い費用のうち、1年を超える期間を経て費用となる金額
差入保証金	不動産賃貸借の場合の敷金・保証金、取引を行う場合の取引保証金、供託金
施設負担金	生協の必要に基づいて公道の舗装等を行った費用
長期保有有価証券	国債、社債等で満期が1年を超える金額
長期貸付金	回収期限が1年を超えて到来する貸付金額
繰延税金資産	将来に支払うべき税金の前払い分
資産合計	資産の合計金額

負債・純資産の部	
流動負債	
買掛金	仕入取引に基づいて発生し、支払期日の到来していない金額
未払金	物件費等の取引に基づいて発生し、支払期日の到来していない金額
未払法人税等	当年度納税予定の法人税・事業税・県民税・市町村税の未払額
未払消費税等	当年度納税予定の消費税・地方消費税の未払額
預り消費税等	組合員への利用分量割戻時に返還する消費税・地方消費税の未払額
未払費用	継続的な役務の提供である職員の給与や社会保険料等の未払額
契約負債	当期末において将来利用されると見込まれるポイントの金額
前受金	電子マネーチャージ金の残高
預り金	自由脱退組合員の出資金など
出資預り金	出資金の1口である千円に満たない金額
役職員預り金	役職員の源泉所得税・住民税・社会保険料等の給与天引き分など
賞与引当金	職員に対する賞与支給に備えた積立額
固定負債	
退職給付引当金	職員に対する退職金支給に備えた引当金
長期未払金	役員の退職慰労金規定廃止までの役員退職慰労金の未払額
預り保証金	テナントなどから預かった取引保証金、敷金、保証金など
資産除去債務	賃貸借資産の契約満了などによる撤収時の原状回復費用の見積もり額
純資産の部	
組合員資本	
出資金	組合員の出資金額
剰余金	
法定準備金	生協法および定款に定められた準備金
任意積立金	定款や総代会の議決によって積み立てた金額のうち、法定準備金以外の積立金
システム整備積立金	将来のシステム整備に備えて積み立てた金額
環境事業積立金	将来の環境事業展開に備えて積み立てた金額
店舗開設積立金	将来の店舗開設に備えて積み立てた金額
リスク対応準備金	大規模地震や台風、集中豪雨など自然災害による施設の損壊やその他のリスクに備えて積み立てた金額
減損評価準備金	将来の減損損失が見込まれる可能性を考慮しての費用に備えて積み立てた金額
福祉積立金	将来の福祉全般に関わる取り組みに備えて積み立てた金額
産直・県内農産基金	産直生産者や県内地場産協定先と深い信頼関係を構築し、安定した需要と供給を維持し発展させるために積み立てた金額
30周年記念事業準備金	コープしが30周年記念事業や取り組みに備えて積み立てた金額
災害支援基金	将来の災害支援に備える資金としての積み立てた金額
事業所内保育特別償却準備金	事業所内保育の整備費の会計と税務との処理が異なることに対応するための金額
当期未処分剰余金	当期分として総代会にて処分対象となる剰余金額の合計
(うち当期剰余金)	当年度の剰余金
純資産合計	純資産の合計金額
負債・純資産合計	負債と純資産の合計金額

損　　益　　計　　算　　書

（自２０２３年3月２１日　至２０２４年3月２０日）

（単位：千円）

Ⅰ．供給事業		
１．供給高		39,744,777
２．供給原価		
（１）期首商品棚卸高	280,487	
（２）仕入高	29,458,454	
合計	29,738,941	
（３）期末商品棚卸高	294,552	29,444,389
供給剰余金		9,991,770
Ⅱ．福祉事業		
１．福祉事業収入		55,845
２．福祉事業費用		65,534
福祉剰余金		△ 9,688
Ⅲ．その他事業収入		
１．教育文化事業収入	8,751	
２．配達手数料収入	534,327	
３．共済受託収入	348,076	
４．不動産賃貸収入	98,011	
５．リサイクル事業収入	48,528	
６．サービス事業収入	38,387	
７．チケット手数料収入	6,981	
８．エネルギー取次収入	27,633	
９．その他受取手数料	39,847	1,150,544
事業総剰余金		11,132,626
Ⅳ．事業経費		
１．人件費	4,272,038	
２．物件費	5,836,241	10,108,279
事業剰余金		1,024,346
Ⅴ．事業外収益		
１．受取利息	7,167	
２．受取配当金	1,648	
３．雑収入	479,386	488,202
Ⅵ．事業外費用		
１．雑損失	58,474	58,474
経常剰余金		1,454,074
Ⅶ．特別利益		
１．未払割戻金等戻入益	1,065	
２．国庫補助金受贈益	15,868	16,933
Ⅷ．特別損失		
１．固定資産除却損	496	496
税引前当期剰余金		1,470,512
法人税等	327,831	
法人税等調整額	0	327,831
当期剰余金		1,142,680
当期首繰越剰余金		329,022
30周年記念事業準備金取崩額		34,752
福祉積立金取崩額		11,040
システム整備積立金取崩額		8,695
産直・県内農産基金取崩額		4,852
災害支援基金取崩額		3,705
環境事業積立金取崩額		2,146
当期未処分剰余金		1,536,894

【 参 考 】 損 益 計 算 書 の 用 語 解 説

Ⅰ. 供給事業	
1. 供給高	当期に組合員に提供した商品・サービスの総額
2. 供給原価	組合員に供給した商品の原価
(1) 期首商品棚卸高	2023年3月21日期首での商品在庫の額
(2) 仕入高	当期期間中の商品仕入れ額
(3) 期末商品棚卸高	2024年3月20日期末での商品在庫の額
供給剰余金	供給高から供給原価を差し引いた金額
Ⅱ. 福祉事業	
1. 福祉事業収入	介護保険事業にかかる収入の額
2. 福祉事業費用	介護保険事業にかかる費用の額
福祉剰余金	介護保険事業にかかる剰余金の額
Ⅲ. その他事業収入	
1. 教育文化事業収入	教育文化事業にかかわる収入の額
2. 配達手数料収入	配達にかかる手数料の収入額
3. 共済受託収入	受託共済事業の手数料の収入額
4. 不動産賃貸収入	店舗事業等におけるテナントからの賃貸収入額
5. リサイクル事業収入	リサイクル回収物売却による収入額
6. サービス事業収入	サービス斡旋手数料、広告宣伝等の収入額
7. チケット手数料収入	チケットの斡旋手数料の収入額
8. エネルギー取次収入	でんき取次手数料の収入額
9. その他の受取手数料	各種保険等その他の手数料の収入額
事業総剰余金	供給剰余金と福祉剰余金及びその他事業収入の合計
Ⅳ. 事業経費	
1. 人件費	役職員に関連する人件費
2. 物件費	通常の事業活動にかかる費用の人件費以外のもの
事業剰余金	事業総剰余金から事業経費を差し引いた額
Ⅴ. 事業外収益	
1. 受取利息	預金利息・債券利息
2. 受取配当金	関係団体や子会社からの出資配当
3. 雑収入	通常の事業活動以外から得られる収入額
Ⅵ. 事業外費用	
1. 雑損失	通常の事業活動以外から支出される額
経常剰余金	事業剰余金と事業外損益の合計
Ⅶ. 特別利益	
1. 未払割戻金等戻入益	利用割戻金や配当金の見積もり額と確定額との差額
2. 国庫補助金受増益	太陽光発電を取得した際に受け取れる国・地方公共団体からの補助金
Ⅷ. 特別損失	
1. 固定資産除却損	固定資産の除却による損失と除却にかかる費用
2. 関係団体出資金評価損	関係団体出資金の実質価額の低下により簿価を切り下げた額
税引前当期剰余金	法人税等を控除する前の当期剰余金
法人税等	法人税、県民税、市町村民税など
法人税等調整額	税効果会計における法人税等の調整額
当期剰余金	当期の剰余金
当期首繰越剰余金	前年度から繰り越した剰余金
目的積立金取崩額	目的積立金の目的取り崩し額
当期未処分剰余金	総代会での議決を経る前の剰余金

【参考】任意積立金取り崩しと剰余金処分案の考え方について

Ⅰ．任意積立金の考え方について

１．任意積立金の取り崩し内容

目的積立金の中から、当年度使用した３０周年記念事業準備金、システム整備積立金、災害支援基金、環境事業積立金、産直・県内農産基金を取り崩します。各積立金の取り崩し内容については以下の通りです。

（１）３０周年記念事業準備金

コープしが設立３０周年を迎えるにあたり、記念事業や取り組みに備えるための積立金です。その目的使途により全額を取り崩します。

（２）福祉積立金

福祉政策に基づき、福祉積立金の有効活用の具体化として、「できるコトづくり制度」の使用額やささえあいサポートの運営補助分、移動店舗車輌費用を取り崩します。

（３）システム整備積立金

事業を支えるシステム開発や改修に備えるための積立金です。その目的使途による使用額としてコープしがアプリリニューアル費用を取り崩します。

（４）災害支援基金

長期的かつ継続した支援が必要な東日本大震災の被災地支援や、今後想定される災害に備えての積立金です。その目的使途による使用額を取り崩します。

（５）環境事業積立金

環境事業にかかる費用としてコープの森を保全するための拠出金、太陽光パネルの償却費用や維持管理費用、電気自動車の車輌費用等その目的使途による使用額を取り崩します。

（６）産直・県内農産基金

産直生産者や県内地場産協定先と深い信頼関係を構築し、安定した需要と供給を維持しさらに発展させるための積立金です。その目的使途による使用額を取り崩します。

２．任意積立金取崩額（目的使用による取り崩し）内訳

（単位：千円）

（１）３０周年記念事業準備金	**合計**	**34,752**
１）ＷＥＢ広報・各種メディア広報関連費用		12,446
２）記念文集・アルバム　制作関連費用		3,300
３）記念商品　企画・広報費用		3,308
４）グッズ関連費用		2,858
５）アンバサダープロジェクト関連費用		1,037
６）レセプション・記念講演　関連費用		906
７）店舗イベント関連費用		410
（２）福祉積立金	**合計**	**11,040**
１）できるコトづくり制度運営委託費用		3,287
２）できるコトづくり助成金費用		3,247
３）ささえあいサポート運営補助費用		3,753
４）移動店舗車両費用リース費用		751
（３）システム整備積立金	**合計**	**8,695**
１）コープしがアプリリニューアル費用		8,695
（４）災害支援基金	**合計**	**3,705**
１）震災を風化させないスタディツアー　開催費用		2,707

２）コープいしかわ　能登半島地震被害お見舞金	500
３）２０２３年６-７月豪雨募金チラシ費用	255
４）能登半島震災支援　活動費用	174
５）トルコ・シリア地震　自然災害緊急募金（調整分）	18
６）宮城県漁業協同組合　大しけお見舞金	50

（５）環境事業積立金	**合計**	**2,146**
１）太陽光発電システム（売電収入除く）減価償却費		1,012
２）本部電気自動車充電設備設置費用・電気自動車リース費用		916
３）コープの森を保全するための拠出金・ボランティア活動費用等		209
４）ＢＤＦ給油場所の設置減価償却費		7

（６）産直・県内農産基金	**合計**	**4,852**
１）産直・県内農産品の取引先への訪問研修などの交流費用		3,138
２）産直・県内農産品の利用を維持・推進のための費用		
商品大交流会など　試食商品代		713
３）紀ノ川農協　台風２号被害お見舞金		500
４）多古町旬の味産直センター　台風１３号被害お見舞金		500

※各項目とも千円未満の単位を切り捨てているため、小計及び合計に誤差が生じることがあります。
※３０周年記念事業準備金は全額を取り崩すため、合計と内訳とが一致しません。
尚、一部の事業は２０２４年度に引き継ぐことから、その必要額を改めて積み立てます。

Ⅱ．２０２３年度剰余金処分案の考え方について

１．基本的な考え方

法令に基づく資金の積み増しや組合員への利用還元を考慮しつつ、生協の経営の安定性と永続性を確保するために、「将来に向けた事業経営に必要な資金の充実を図る」ことを第一とすることを継続します。厳しさを増す今後の経済状況の中にあっても、持続的に組合員が共有できるサービスの向上や、事業を通じて組合員のくらしに役立つ経営基盤をつくるための資金を積み立てます。

２．剰余金処分の内容

剰余金処分は内部留保（積立金等）と組合員への還元に大別されます。内部留保には、法定準備金、任意積立金、次期繰越剰余金があります。組合員の還元には利用分量割戻金と出資配当金があります。

３．積立資金の状況

２０２３年度末コープしがの自己資本比率は、６９．２％と財務の安全性、健全性は十分に確保しています。また、剰余金比率は３４．４％となっており、自己資本に占める剰余金の割合は４９．８％となっています。出資金約１３５．７億円に対する法定準備金は６５．３億円と出資金の保全率は４８．１％となっています。

４．積立金の使途

組合員のくらしへの持続的な貢献、安定した事業継続の実現のためには、さらなる経営努力と事業構造や仕事改革が必要です。組合員へのサービス改善や向上、宅配や店舗事業をさらに展開するためのシステム開発・改修や情報システムの保全、また、環境政策及び中期計画に基づく施策の実現等、これらのための投資として多額の資金を必要とします。この資金の調達にあたって、組合員出資金と共に単年度収支の中では賄いきれない場合に備えて、毎期の当期剰余金の中から目的を明確化した任意積立金を継続的に積み立てていきます。

５．２０２３年度剰余金処分案の詳細について

（１）任意積立金取崩額

事業所内保育特別償却準備金取崩額

２０１８年度に取得したコープもりのこ保育園の整備費（国庫補助金）については、会計と税務の処理が異なるため当該差への対応として取り崩します。

２，２４６千円

（2）法定準備金

定款第７３条では、「出資総額の２分の１に相当する額に達するまで、毎事業年度の剰余金の１０分の１に相当する額以上の金額を積み立てるものとする」と定めています。これは、出資金が払い戻し可能であるため財政的基盤を強固にするために設けられています。出資金の増加に応じた積み増しをします。

１２０,０００千円

（3）利用分量割戻金および出資配当金

1）積立金等に必要な資金を確保した後、宅配事業の利用高に応じた利用分量割戻しの原資とします。現在の社会情勢によってさらに厳しさを増す組合員のくらしを鑑み、前年を上回る率で利用分量割戻しを実施します。
利用分量割戻金は宅配事業（共同購入・個配）利用高の１．７％とします。

５１９，３３３千円

2）出資金は、生協の経営基盤の安定のために組合員からお預かりしたお金です。生協はすべての事業の元手になる大切な事業活動資金として組合員への出資配当を実施します。
出資配当率は０．１％とします。

１３，４７５千円

（4）任意積立金

1）大規模地震や台風、集中豪雨など自然災害による施設の損壊やその他のリスクに備える資金をリスク対応準備金として積み増します。

３００，０００千円

2）減損損失の可能性に備えるため減損評価準備金を積み増します。

２００，０００千円

3）今年度設置した太陽光発電設備導入に利用した国庫補助金については、会計処理として積立金方式を採用しているため、この処理にかかる太陽光発電国庫補助金等積立金を積み立てます。

１０，８８９千円

4）産直生産者や県内地場産協定先と深い信頼関係を構築し、安定した需要と供給を維持しさらに発展させるために、前年度である２０２２年度の産直生産物及び県内農産品の１点の購入につき１円を産直・県内農産基金として積み増しします。

１０，３３６千円

5）コープしが設立３０周年記念事業にかかる費用のうち、２０２４年度に支出される額を積み増します。

９，０００千円

6）将来の災害支援に備える資金として災害支援基金の今年度取り崩し額と同額を積み立てます。

３，７０５千円

（5）次期繰越剰余金

物価高騰をはじめとした環境変化に対応し持続して経営を安定させていくため次期繰越を行います。定款７４条には毎事業年度の剰余金（当期剰余金）の２０分の１に相当する額以上の金額を教育事業等繰越金として翌事業年度に繰り越すことが定められており、次期繰越剰余金にはこの教育事業等繰越金５７，１３４千円が含まれています。

３５２，４０１千円

以　上

剰　余　金　処　分　案

生活協同組合コープしが　　（単位：円）

Ⅰ．当期未処分剰余金		１，５３６，８９４，６２８
Ⅱ．任意積立金取崩額		
１．事業所内保育特別償却準備金取崩額		２，２４６，０５０
合　　計		１，５３９，１４０，６７８
Ⅲ．当 期 処 分 額		
１．法 定 準 備 金	１２０，０００，０００	
２．利用分量割戻金	５１９，３３３，０００	
３．出 資 配 当 金	１３，４７５，０００	
４．リスク対応準備金	３００，０００，０００	
５．減損評価準備金	２００，０００，０００	
６．太陽光発電国庫補助金積立金	１０，８８９，６７２	
７．産直・県内農産基金	１０，３３６，４２４	
８．３０周年記念事業準備金	９，０００，０００	
９．災害支援基金	３，７０５，４７６	１，１８６，７３９，５７２
Ⅳ．次期繰越剰余金		３５２，４０１，１０６

注記

１．定款第７７条による利用分量割戻しは、以下の基準で行います。
　宅配事業（共同購入・個配）の処分額は、５１９，３３３千円です。割戻し基準は、コンピュータに記録された共同購入・個配利用高の１．７％とします。

２．定款第７８条による出資配当は、年０．１％で行います。なお、出資配当金は２０．４２％の所得税及び復興特別所得税が源泉徴収され、期中の増資及び加入出資金は、日数按分で配当金を計算します。

３．定款第７９条に基づき、計算した利用分量割戻金及び出資配当金の額に１円未満の端数が生じたときは、切り捨てとします。

４．利用分量割戻金及び出資配当金を受ける組合員は、２０２３年度末に在籍する組合員で、かつ、本総代会当日の在籍組合員であることを必要とします。

５．次期繰越剰余金には、定款第７４条に定める教育事業等繰越金５７，１３４千円が含まれています。

２０２４年6月１２日
理事長　白石　一夫

【参考】剰余金処分後残高　（単位：千円）

科　　目	2024/3/20現在残高	任意積立金取崩額	処分(積立)後残高
事業所内保育特別償却準備金	20,180	2,246	17,934

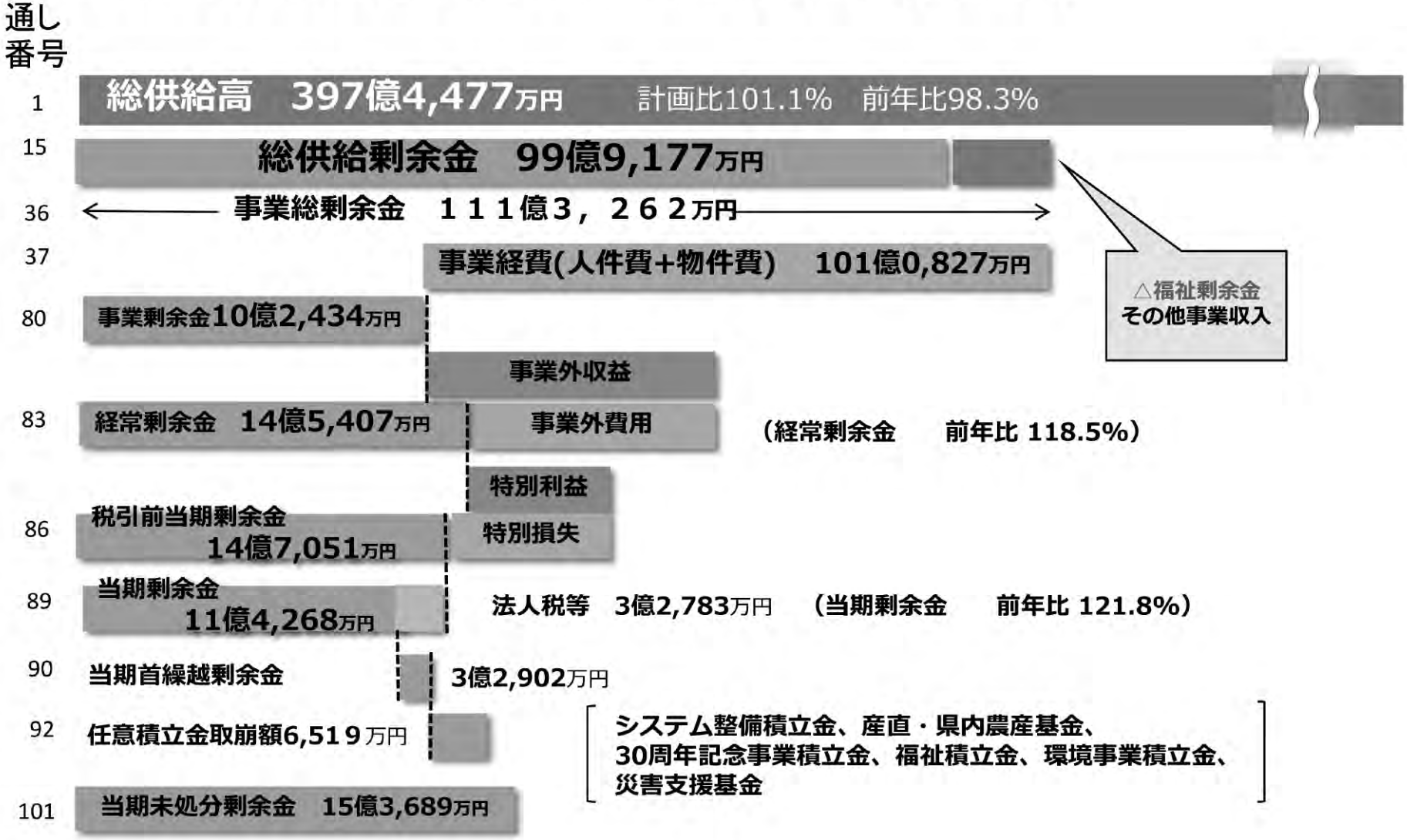
【参考】法定準備金及び任意積立金の処分見込み後残高　（単位：千円）

科　　目	2024/3/20現在残高	2023年度処分案	処分(積立)後残高
法定準備金	6,535,000	120,000	6,655,000
システム整備積立金	1,509,368	−	1,509,368
環境事業積立金	1,062,680	−	1,062,680
店舗開設積立金	987,396	−	987,396
リスク対応準備金	700,000	300,000	1,000,000
減損評価準備金	557,467	200,000	757,467
福祉積立金	249,244	−	249,244
産直・県内農産基金	41,585	10,336	51,922
30周年記念事業準備金	−	9,000	9,000
災害支援基金	16,294	3,705	20,000
太陽光発電国庫補助金積立金	−	10,889	10,889

※2024/3/20現在残高は取崩後の残高です。

参考資料

2023年度の損益計算書の構成（見込み）



2023年度剰余金処分案

Ⅰ.当期未処分剰余金	15億3,689万円
Ⅱ.任意積立金取崩額	224万円
合計	15億3,914万円
1.法定準備金(積増)	1億2,000万円
2.利用分量割戻金(宅配事業1.7%)	5億1,933万円
3.出資配当金(0.1%)	1,347万円
4.リスク対応準備金	3億0,000万円
5.減損評価準備金	2億0,000万円
6.太陽光発電国庫補助金等積立金	1,088万円
7.産直・県内農産基金	1,033万円
8.30周年記念事業準備金	900万円
9.災害支援基金	370万円
Ⅲ.当期処分額合計	11億8,673万円
Ⅳ.次期繰越剰余金	3億5,240万円

総代会議案検討会議資料「２０２３年度損益着地見込み」

（単位：千円）

No.	科　目		今年度				２０２２年度		
			計画	着地見込	計画差	計画比	実　績	前年差	前年比
1	**総供給高**		39,296,000	**39,744,777**	448,777	101.1	40,407,022	△ 662,244	98.3
2	宅配事業供給高合計		30,560,000	**30,477,162**	△ 82,838	99.7	30,838,281	△ 361,119	98.8
3		共同購入供給高	11,900,000	**11,540,000**	△ 360,000	96.9	11,926,393	△ 386,393	96.7
4		個配供給高	18,700,000	**18,990,000**	290,000	101.5	18,947,937	42,062	100.2
5		供給割戻高	△ 40,000	**△ 52,838**	△ 12,838	－	△ 36,049	△ 16,788	－
6	店舗供給高合計		7,931,000	**8,439,862**	508,862	106.4	7,875,128	564,733	107.1
7		コープぜぜ店供給高	2,000,000	**2,085,941**	85,941	104.2	1,996,736	89,204	104.4
8		コープもりやま店供給高	2,190,000	**2,365,077**	175,077	107.9	2,186,444	178,632	108.1
9		コープかたた店供給高	2,020,000	**2,184,697**	164,697	108.1	2,011,778	172,918	108.5
10		コープながはま店供給高	1,790,000	**1,875,242**	85,242	104.7	1,749,304	125,937	107.1
11		供給割戻高	△ 69,000	**△ 71,096**	△ 2,096	－	△ 69,136	△ 1,960	－
12	夕食サポート事業供給高		480,000	**495,720**	15,720	103.2	443,826	51,894	111.6
13	エネルギー事業供給高		309,000	**315,890**	6,890	102.2	1,249,785	△ 933,894	25.2
14	くらしのサポート事業供給高		16,000	**16,141**	141	100.8	－	16,141	－
15	**総供給剰余金**		9,815,000	**9,991,770**	176,770	101.8	9,782,472	209,298	102.1
16	宅配事業供給剰余金		7,788,000	**7,802,763**	14,763	100.1	7,906,226	△ 103,463	98.6
17	店舗供給剰余金合計		1,930,000	**2,053,742**	123,742	106.4	1,846,855	206,886	111.2
18		コープぜぜ店供給剰余金	485,000	**504,008**	19,008	103.9	468,088	35,919	107.6
19		コープもりやま店供給剰余金	535,000	**581,168**	46,168	108.6	525,914	55,254	110.5
20		コープかたた店供給剰余金	490,000	**525,710**	35,710	107.2	464,136	61,574	113.2
21		コープながはま店供給剰余金	420,000	**442,854**	22,854	105.4	388,716	54,138	113.9
22	夕食サポート事業供給剰余金		185,000	**200,080**	15,080	108.1	170,699	29,381	117.2
23	エネルギー事業供給剰余金		△ 92,000	**△ 70,042**	21,957	－	△ 141,308	71,266	－
24	くらしのサポート事業供給剰余金		4,000	**5,227**	1,227	130.6	－	5,227	－
25	福祉事業収入		57,000	**55,845**	△ 1,154	97.9	40,514	15,331	137.8
26	福祉事業費用		67,000	**65,534**	△ 1,465	97.8	46,175	19,359	141.9
27	**福祉剰余金**		△ 10,000	**△ 9,688**	311	－	△ 5,661	△ 4,027	－
28	**その他事業収入**		1,169,000	**1,150,544**	△ 18,455	98.4	1,128,612	21,931	101.9
29	配達手数料収入		540,000	**534,327**	△ 5,672	98.9	542,864	△ 8,537	98.4
30	共済受託収入		350,000	**348,076**	△ 1,923	99.4	349,527	△ 1,451	99.5
31	リサイクル事業収入		50,000	**48,528**	△ 1,471	97.0	46,994	1,534	103.2
32	サービス事業収入		42,000	**38,387**	△ 3,612	91.3	42,055	△ 3,668	91.2
33	チケット手数料収入		9,000	**6,981**	△ 2,018	77.5	7,301	△ 319	95.6
34	エネルギー取次収入		37,000	**27,633**	△ 9,366	74.6	－	27,633	－
35	その他		141,000	**146,609**	5,609	103.9	139,868	6,741	104.8
36	**事業総剰余金**		10,974,000	**11,132,626**	158,626	101.4	10,905,424	227,202	102.0
37	**事業経費**		10,166,000	**10,108,279**	△ 57,720	99.4	10,021,872	86,407	100.8
38	**人件費合計**		4,266,000	**4,272,038**	6,038	100.1	4,204,434	67,603	101.6
39		役員報酬	91,000	**89,873**	△ 1,126	98.7	89,687	185	100.2
40		職員給与	2,226,000	**2,228,897**	2,897	100.1	2,212,618	16,279	100.7
41		定時職員給与	1,019,000	**1,013,072**	△ 5,927	99.4	971,348	41,724	104.2
42		退職給付費用	171,000	**190,926**	19,926	111.6	195,316	△ 4,390	97.7
43		法定福利費	461,000	**462,893**	1,893	100.4	455,835	7,057	101.5
44		厚生費	45,000	**40,485**	△ 4,514	89.9	37,754	2,731	107.2
45		派遣人件費	64,000	**55,905**	△ 8,094	87.3	60,411	△ 4,506	92.5
46		賞与引当金繰入損	189,000	**189,983**	983	100.5	181,462	8,521	104.6

No.	科目		今年度				２０２２年度		
			計画	着地見込	計画差	計画比	実績	前年差	前年比
47	**物件費合計**		5,900,000	**5,836,241**	△ 63,758	98.9	5,817,437	18,803	100.3
48		教育文化費	81,000	**79,185**	△ 1,814	97.7	69,007	10,178	114.7
49		広報費	122,000	**119,382**	△ 2,617	97.8	92,883	26,498	128.5
50		事業広報費	584,000	**552,523**	△ 31,476	94.6	536,707	15,815	102.9
51		消耗品費	131,000	**135,555**	4,555	103.4	130,583	4,971	103.8
52		物流消耗品費	254,000	**263,841**	9,841	103.8	237,790	26,051	110.9
53		電算消耗品費	2,000	**2,396**	396	119.8	3,472	△ 1,076	68.9
54		車輌運搬費	70,000	**68,110**	△ 1,889	97.3	69,753	△ 1,642	97.6
55		委託運搬費	47,000	**45,758**	△ 1,241	97.3	48,161	△ 2,402	95.0
56		車輌使用料	－	**－**	－	－	－	－	－
57		修繕費	14,000	**19,754**	5,754	141.1	29,811	△ 10,057	66.2
58		施設管理費	106,000	**110,198**	4,198	103.9	105,653	4,544	104.3
59		保守料	69,000	**68,061**	△ 938	98.6	67,777	283	100.4
60		減価償却費	388,000	**384,969**	△ 3,030	99.2	444,514	△ 59,544	86.6
61		地代家賃	161,000	**158,540**	△ 2,459	98.4	159,731	△ 1,190	99.2
62		リース料	218,000	**218,210**	210	100.0	217,949	261	100.1
63		電算リース料	－	**－**	－	－	－	－	－
64		水道光熱費	172,000	**142,618**	△ 29,381	82.9	167,281	△ 24,663	85.2
65		保険料	7,000	**7,650**	650	109.2	7,350	299	104.0
66		委託料	3,077,000	**3,055,053**	△ 21,946	99.2	3,062,617	△ 7,563	99.7
67		分担金	102,000	**101,362**	△ 637	99.3	85,969	15,392	117.9
68		研修費	22,000	**22,201**	201	100.9	17,768	4,433	124.9
69		採用費	17,000	**20,730**	3,730	121.9	19,956	774	103.8
70		調査研究費	2,000	**3,095**	1,095	154.7	1,048	2,047	295.3
71		会議費	24,000	**24,442**	442	101.8	18,799	5,643	130.0
72		諸会費	33,000	**32,950**	△ 49	99.8	33,040	△ 89	99.7
73		渉外費	7,000	**5,057**	△ 1,942	72.2	3,386	1,671	149.3
74		租税公課	77,000	**75,470**	△ 1,529	98.0	75,485	△ 15	99.9
75		通信費	83,000	**80,769**	△ 2,230	97.3	83,096	△ 2,327	97.1
76		旅費交通費	17,000	**21,663**	4,663	127.4	16,962	4,700	127.7
77		雑費	8,000	**11,686**	3,686	146.0	9,840	1,845	118.7
78		直接管理費	－	**－**	－	－	－	－	－
79		貸倒引当金繰入損	5,000	**5,000**	－	100.0	1,037	3,962	482
80	**事業剰余金**		808,000	**1,024,346**	216,346	126.7	883,551	140,794	115.9
81	事業外収益		343,000	**488,202**	145,202	142.3	407,621	80,580	119.7
82	事業外費用		74,000	**58,474**	△ 15,525	79.0	64,214	△ 5,740	91.0
83	**経常剰余金**		1,077,000	**1,454,074**	377,074	135.0	1,226,958	227,115	118.5
84	特別利益計		1,000	**16,933**	15,933	1,693.3	1,008	15,924	1,678.3
85	特別損失計		1,000	**496**	△ 503	49.6	30,733	△ 30,237	1.6
86	税引前当期剰余金		1,077,000	**1,470,512**	393,512	136.5	1,197,234	273,277	122.8
87	法人税等		－	**327,831**	327,831	－	237,920	89,911	137.7
88	法人税等調整額		－	**－**	－	－	21,589	△ 21,589	－
89	当期剰余金		1,077,000	**1,142,680**	65,680	106.0	937,724	204,955	121.8
90	当期首繰越剰余金		－	**329,022**	－		－	－	
91	合計（当期剰余金 + 当期首繰越剰余金）		－	**1,471,703**	－		－	－	
92	任意積立金取崩額合計		－	**65,191**	－		－	－	
93	店舗開設積立金金取崩額		－	**－**	－		－	－	
94	減損評価準備金		－	**－**	－		－	－	
95	システム整備積立金取崩額		－	**8,695**	－		－	－	
96	環境事業積立金取崩額		－	**2,146**	－		－	－	
97	福祉積立金取崩額		－	**11,040**	－		－	－	
98	30周年記念事業積立金		－	**34,752**	－		－	－	
99	災害支援基金取崩額		－	**3,705**	－		－	－	
100	産直・県内農産基金取崩額		－	**4,852**	－		－	－	
101	当期未処分剰余金		－	**1,536,894**	－		－	－	

第2号議案

第Ⅱ期（２０２４～２０２６年度）「やくだつ・つながる・ひろがる」計画（第１０次中期計画）承認の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

コープしが２０３０年ビジョン

～やくだつ・つながる・ひろがる～

２０３０年のコープしがは…

1．食の安全・安心を大切に、一人ひとりのくらしへの役立ちを高め、生涯を通じて利用できる事業をつくりあげています。

2．誰もが安心してくらせることをめざし、地域の中での役割を担っています。

3．大多数の人々の理解と共感、つながりを力に、持続可能な社会への取り組みを広げています。

4．組合員と生協で働く誰もが活き活きと輝き、より良いくらしづくりをめざして持続可能な経営を続けています。

【理念と２０３０年ビジョン】

コープしがでは、コープしが理念「ともにつくる笑顔あふれる未来」でめざす「笑顔あふれる未来」を実現するための通過点として、２０２１年度からの１０年間で「コープしが２０３０年ビジョン」を策定しています。

【中期計画の位置づけと課題認識（つながりづくり）】

２０２４年度を初年度とする第１０次中期計画（２０２４～２０２６年度）は、「コープしが２０３０年ビジョン」“～やくだつ、つながる、ひろがる～”の実現をめざす中間の３年間となるため、「第Ⅰ期“やくだつ、つながる、ひろがる”計画」の土台づくりを継承し、２０３０年ビジョンで描くコープしがの姿を実現するための継続する施策となります。

「第Ⅱ期“やくだつ、つながる、ひろがる”計画」では、コープしがの現在の姿をブラッシュアップして、これからもずっとコープしがへ寄せられる期待に応え続け、ふだんのくらしにもっと“やくだち”続けるために「コープしがはどう変わっていけばいいか」２０３０年時点でも“やくだち”続けるための「つながりづくり」をめざします。

【重点課題】

◆２０３０年ビジョン

＜ビジョン１＞（２０３０年のコープしがは…）
食の安全・安心を大切に、一人ひとりのくらしへの役立ちを高め、生涯を通じて利用できる事業をつくりあげています。

【第Ⅱ期　第１０次中期計画の重点課題】

○宅配事業では、より安心・信頼して利用できるための取り組みをすすめます。また、コープきんき事業連合との連携を強め、多様なくらしのニーズに応える商品を品揃えし、商品の良さやこだわりを丁寧に伝え利用を広げます。

○店舗事業では、職員の接遇やニーズに応える商品の品揃えなどにより、「あったかさ」と「便利さ」をより実感できるための取り組みをすすめ、多様な手段を通じて、くらしへの役立ちを高めます。また既存店のリニューアルや新規出店の準備をすすめ、さらなる役立ちをめざします。
○夕食サポート事業では、人生１００年時代の健康的な食事を提供するためのサポートを強化するとともに、今後の事業の広がりに対応した取り組みをすすめます。

◆２０３０年ビジョン

＜ビジョン２＞（２０３０年のコープしがは…）
誰もが安心してくらせることをめざし、地域の中での役割を担っています。

【第Ⅱ期　第１０次中期計画の重点課題】

○滋賀県内の諸団体や企業などとの連携をすすめ、事業や活動を通じて、食と農、消費と生産をつなぎ、県内農産物や県内産原料を使った商品の取り扱いが広がることで、食を取り巻く地域における諸課題の実践につなげます。
○地域包括ケアシステムに参画することにより、住み慣れた地域で誰もが自分らしいくらしを続けるための役割を果たします。また県内全域に在宅サービスの拡大をめざし、新たな介護事業の拠点づくりの検討をすすめます。
○地域の買い物困難者の支援に向けて、住民や自治体等との連携を図り、既存の事業「あったか便」やサービス「お買い物サポート」等を活用した取り組みをすすめます。
○地域のくらしの安全・安心に向けて、さらに自治体や諸団体とのつながりをつくるとともに、身近な見守りや声かけ・たすけあいなど、組合員も一緒に関われるように考えていきます。

◆２０３０年ビジョン

＜ビジョン３＞（２０３０年のコープしがは…）
大多数の人々の理解と共感、つながりを力に、持続可能な社会への取り組みを広げています。

【第Ⅱ期　第１０次中期計画の重点課題】

○コープしが理念を実現するための行動指針である「みんなごと」を組合員・役職員共通のキーワードとして事業や活動をすすめ、みんなで生協の良さを実感し、より多くの県民や諸団体に広げていきます。
○コープしがの理念や政策・方針、事業や活動をすべてのステークホルダーが正しく認識できるよう、さまざまなメディアを通じて積極的かつ効果的に広報活動を展開します。
○２０２２年度策定の「CO_2排出量削減に向けたロードマップ」に沿って、組合員とともに取り組みをすすめ地球温暖化によるリスクの低減を図ります。また、より多くの組合員がコープしがの４Ｒ（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の活動に参加できるよう取り組みをすすめます。

◆２０３０年ビジョン

＜ビジョン４＞（２０３０年のコープしがは…）
組合員と生協で働く誰もが、活き活きと輝き、より良いくらしづくりをめざして持続可能な経営を続けています。

【第Ⅱ期　第１０次中期計画の重点課題】

○組合員の想いをかたちにつなげる運営を継続・強化し、生協は組合員の想いや願いによって運営されていることをより広く実感できるようにすすめます。
○これからもずっと組合員に“やくだち”続けるために、組織の基である「人」づくりを強めます。また、やりがいをもって安全に働き続けられる職場づくりをすすめます。
○短期・中期の視点で現状の問題から課題を設定し、より効率的な運営体制の構築や事業構造の改革・改善をすすめ、常に事業効率を追求することで安定した事業運営を続けます。

MEMO

第3号議案

2024年度活動計画、収支予算承認の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

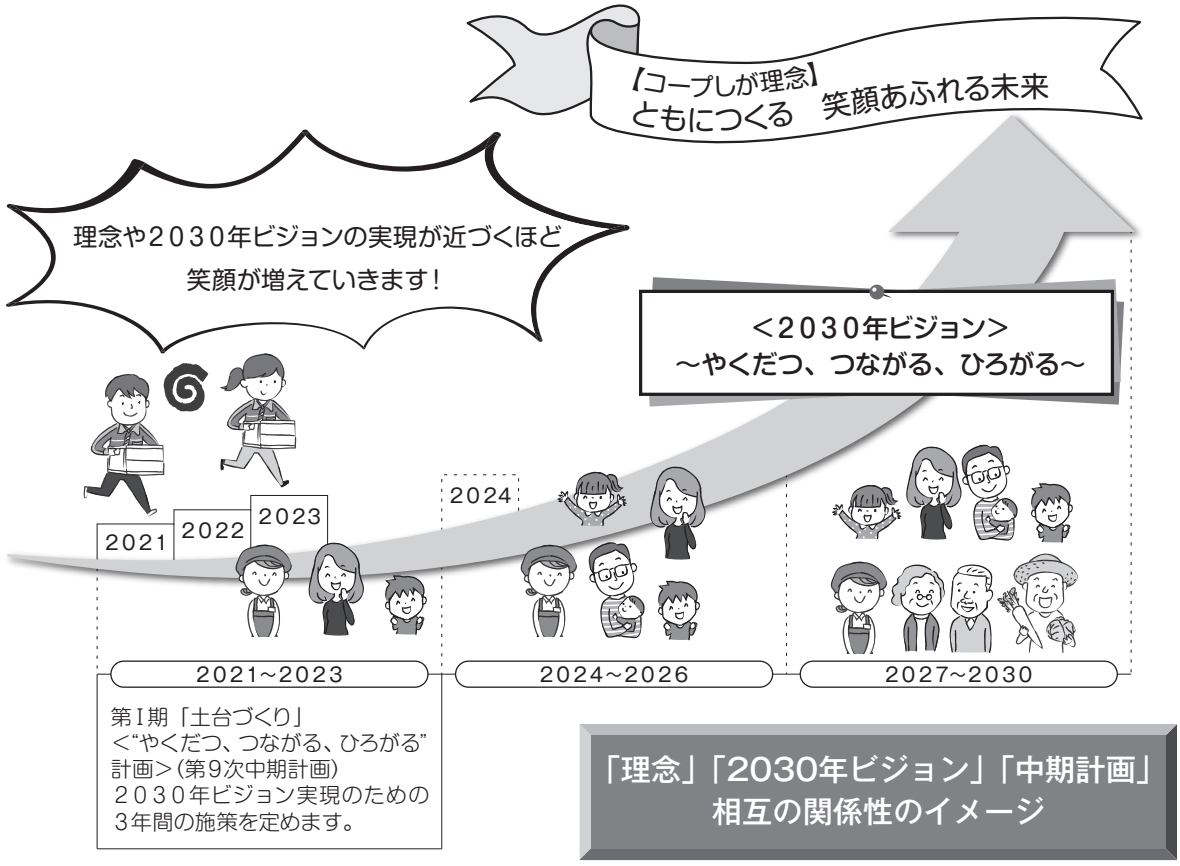
■2030年ビジョン、第10次中期計画（2024～2026年度）

2030年ビジョン「やくだつ、つながる、ひろがる」は、コープしが理念「ともにつくる　笑顔あふれる未来」を実現するための10年後を想い描いた姿です。これまでも、これからもずっと組合員の期待に応えて、くらしに役立ち続けるための姿です。

ビジョンの目標は、①生涯利用できる食を中心とした事業づくり、②誰もが安心して暮らせる地域で果たす役割、③多くのつながりと協同による持続可能な社会への貢献、④よりよいくらしづくりをすすめるための持続可能な経営を掲げており、第10次中期計画はその実現のための「つながりづくり」と位置づけています。

具体的な内容は、第44回通常総代会の第2号議案として提案しています。

2024年度を初年度とする第10次中期計画（2024～2026年度）は、「コープしが2030年ビジョン」“～やくだつ、つながる、ひろがる～”の実現をめざす中間の3年間となるため、「第Ⅰ期“やくだつ、つながる、ひろがる”計画」の土台づくりを継承し、2030年ビジョンで描くコープしがの姿を実現するため組合員と役職員で取り組みをすすめていきましょう。



「理念」「2030年ビジョン」「中期計画」相互の関係性のイメージ

■くらしをとりまく情勢と国連のＳＤＧｓの取り組み（持続可能な開発目標）

<世界で>

世界経済の変化、世界規模の人口増加と貧困・格差、地域紛争の多発と難民問題（ロシア軍によるウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナ問題など）、世界規模の食料・エネルギー・水資源の枯渇、政治的国民の分断、地球温暖化と異常気象、核兵器禁止条約の発効、新興感染症予防対策

<日本で>

くらし・家計・食

日本社会の構造的変化＝人口減少・少子高齢化、世帯形成の変化（単身世帯）、成年年齢の引き下げ、食料品の値上げ、可処分所得の減少と家計への影響、内食・中食の増加、都市一極集中型から地方分散型

平和・憲法

安全保障政策の転換、日本国憲法の改正、核兵器交渉会議への不参加

社会保障・福祉

福祉・介護の需要の増加と担い手不足、新しい地域支援事業、介護保険制度の見直し、社会保障費の抑制と公的年金の見直し、社会的弱者の救済と貧困問題、健康意識の高まり、高齢者対応事業、育児・介護休業

経済

格差の拡大＝所得格差と地域格差、雇用の変化、人材確保難、女性の就業の増加、流通業界の再編と宅配事業の企業の参入、インターネット販売やＩＴの進化、ロボットやＡＩ化（人工知能）・自動化などの技術革新、キャッシュレス化、円安の進行・物価上昇

農業・食糧問題

農業人口の減少・高齢化、輸入農産物の増加と食料自給率の低下、食の安全・安心への不安、食材の安全保障と安定供給、農業・酪農の持続的な発展と農村の振興、飼料・燃料の高騰

環境・エネルギー

電気小売・都市ガスの自由化、地球温暖化、原発廃炉費用、プラスチックのごみ問題、再生可能エネルギーの促進、廃棄物削減とリサイクルの推進、２０５０年カーボンニュートラル、生物多様性国家戦略

自然災害

異常気象による豪雨・竜巻、台風の多発、地震・火山の噴火、防災（原発）

<滋賀県で>

人口減少、商店街の衰退、就農者の減少と耕作放棄地の増加、地域格差と空き家の増加、バス路線の廃止、琵琶湖の環境保全と森林の荒廃化、地域コミュニティづくり

■ 組合員のくらし、声

- 消費税や物価などが上がり家計は苦しくなったわ。
- 雇用や年金、医療費など不安定で将来が不安だわ。
- 遠くに暮らす両親の介護が心配です。
- 子ども食堂やフードドライブなどみんなで支援できることが増えてきたね。
- 安全安心で便利な簡便商品は助かるわ。
- 地球温暖化なのか、大きな台風の発生や集中豪雨・地震などの災害が地域で発生して怖いわ。
- 高齢で足も悪くなり、生協の宅配や夕食お弁当はとても助かっています。
- 日本国憲法にもっと関心をもたないと。
- 近くのスーパーがなくなり、免許を自主返納して毎日の買い物が不便です。
- 地元の生産者の野菜や食べ物が大好きです。
- 働きたいけど子どもを預ける施設が少なくて困ります。
- 一人暮らしになり、配達の職員の方に毎週声をかけてもらえるのでうれしい。
- 生協のトラックが走っているのを見かけると、町を見守っている感じで安心です。

第３号議案の見方

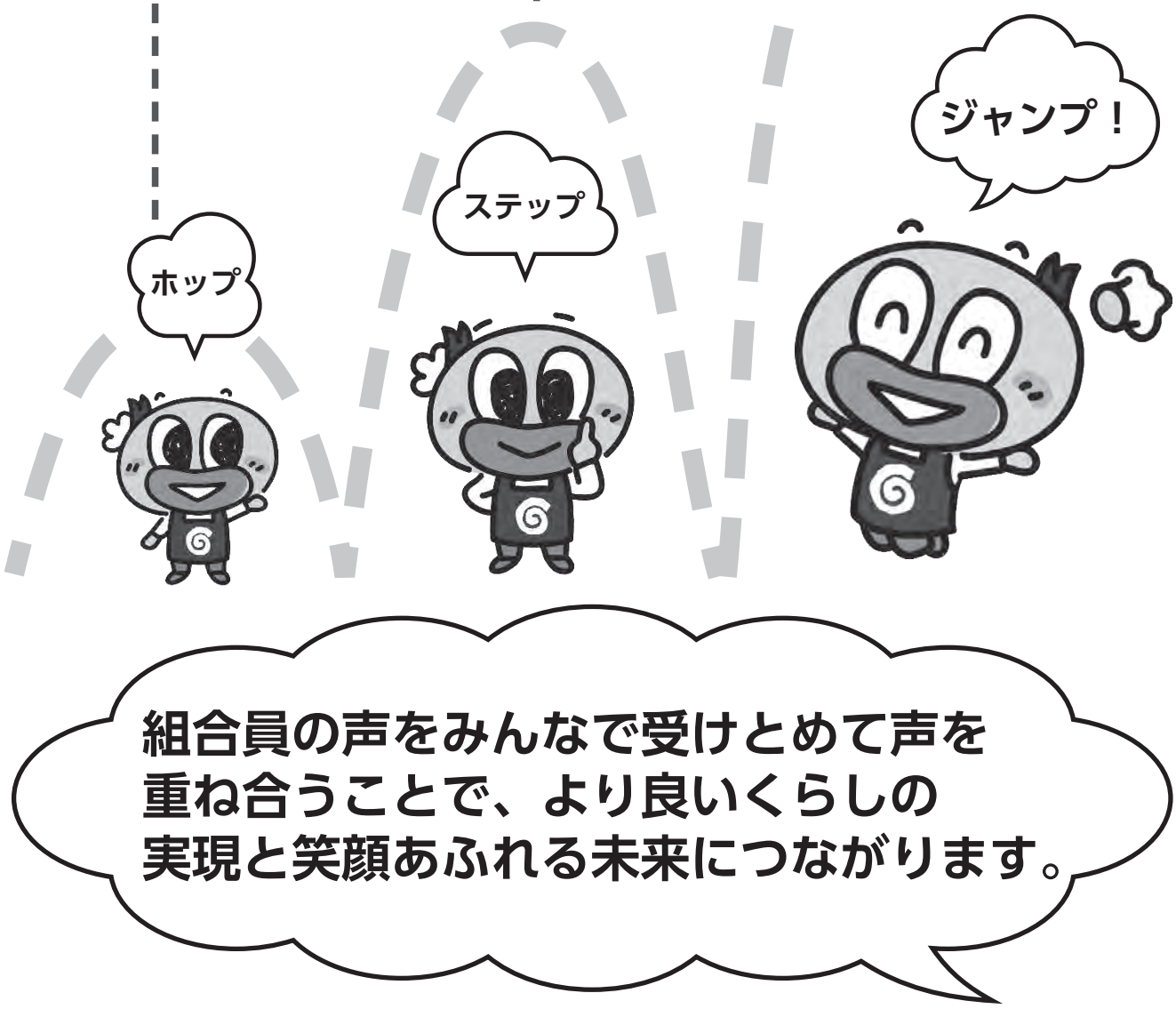
2030年ビジョン　～やくだつ、つながる、ひろがる～　は、**コープしがの理念を実現するための３ステップ** です

やくだつ ▶ **つながる** ▶ **ひろがる**

２０２３年度組合員の声を受けとめて実現したこと

２０２４年度さらにくらしをよくするため、みんなの声がつながって実施すること

みんなの声を聴いて大切だと思うこと、未来に向けて大切にしたい考え方をひろげます



組合員の声をみんなで受けとめて声を重ね合うことで、より良いくらしの実現と笑顔あふれる未来につながります。

わたしのできるコトの一歩を踏み出そう

1.『食』の大切さを考えよう!

人生１００年時代といわれる現代において、“安全安心な食”はとても大事です。色あざやかな野菜や果物、新鮮な魚、お肉、牛乳…私たちの食卓を豊かに彩る食べ物の向こうに、作った人々の想いが見えます。そして、私たちの健康を保ち、心を満たす。家族や仲間の笑顔につながっていきます。

食べることは生きること。食べることは楽しいこと。“食”を真ん中において、くらしの中の実感を伝え合うことで「食の大切さ」を守りましょう。

Road to vision of 2030

やくだつ

○商品大交流会やぱくぱく商品知ってね！交流フェスを４年ぶりに現地会場開催し、生産者交流や試食に加え、一部商品は即売にも対応しました。直接会って話をする事の大切さを感じられる場となりました。

○フードロスの啓発活動として、店舗のモニターやＳＮＳでフードロスの現状と課題についての発信をしました。

○大豆プロジェクトを実施しました。全体では３年目の取り組みとなり、今年度は黄大豆に加え、黒大豆の栽培にも取り組みました。

○鳥取でのサマーキャンプを開催しました。酪農業、畜産業の現状を知り・学び、生産者とつながりを深めることができました。

○滋賀県立大学の学生と食育について考えたメニュー提案に取り組みました。

つながる

●「鳥取みんなのつながり和牛」の利用者と「みんなの牧場」を訪問し生産者交流を行います。酪農業や畜産業の未来に向けた取り組みをすすめます。

●ファーマーチャレンジ、田植え稲刈りなど屋外の活動は、熱中症対策として作業の時間短縮など工夫して取り組みます。

●ファーマーチャレンジ【援農】隊は、農作業を手助けすることで、農業を支える目的を伝え、参加・登録を広げます。

●ホームページで「食品ロス削減月間」・「世界食料デー」に合わせコープしがの食品ロスの取り組みやフードドライブの取り組みを発信します。

●エリアから選出された産直・県内商品普及委員や商品開発検討委員と京都橘大学学生が一緒に商品学習をすすめます。

●生協の商品の安全に対する様々な情報発信や学習会を開催し「商品のよさを広げる」取り組みを強化します。

※○ ２０２３年度実施したこと

※● ２０２４年度実施すること

コープのあるくらしで
ひろがる
みんなの想い

◆「ぱくぱく商品知ってね！交流フェス」では、食べたことのない商品を試食でき、おいしくて、いろいろ買いものもできて楽しめました。宅配事業センターを利用して開催してくださり、生協の職員さんの熱意も感じました。

◆商品は安いほうがいいですが、生産する人がお仕事を無理なく続けられるように、品質に見合った価格なら少し高くても購入したいと考えるようになりました。生産者との交流を通して手間ひまかかっていることにも気づき、ありがたくいただこうと意識が変わりました。

◆援農隊に参加しました。いつも作業されている方と同じ作業を、ある程度経験を積んでから入らないと、繁忙期には足を引っ張ってしまい、援農にならないかもしれないと思いました。やる側の自己満足にならないような工夫が必要と思いました。

◆自動お届け商品は、買い忘れ防止には便利だが、休むときの消し忘れが問題なので、アラート通知などあるといいと思います。自動登録できる商品がもっとあるといいですね。日々追われていて、注文をみることが大変なので、自動登録することで商品が毎週届いて安心できるとうれしいです。

※◆ 組合員の声

わたしのできるコトの一歩を踏み出そう

2.『宅配があるくらし』をもっと楽しもう！

いつでもどこからでも注文ができ、どんなところへも笑顔と商品を届けてくれる生協の宅配。「コープしがに入ってよかったわ」、「担当さんのおすすめ毎週楽しみにしているよ。ありがとう」の声がたくさん集まりました。

つながる信頼から安心がうまれる生協の宅配を楽しみましょう。

Road to vision of 2030

やくだつ

○くらし応援ポイントの実施など、組合員のくらしに寄り添った取り組みをすすめました。

○さらに便利に利用できるようにコープしがアプリの機能追加を行いました。

○ｅフレンズで組合員の声の受付ができるようになりました。

○コープでんきは、持続可能なエネルギーを今後も供給できるように取次事業として再スタートしました。

○くらしのサービス事業は宅配利用の組合員だけでなく店舗利用の組合員にもお知らせを強化しました。

○コープしがの返品・返金の考え方について、組合員へ理解いただけるように案内をすすめました。

つながる

●宅配の利用を通じて、環境への取り組みに参画できるように定期的な案内を行います。

●宅配で行っているサービス、利用形態（グループ購入・個配・ステーションなど）、手数料のあり方などについて、再検討をすすめます。

●ドライアイスや紙の削減に取り組みます。

●配達コースの改善、組合員の信頼を高める仕事を実践します。組合員が職員に対して思ったことや質問、くらしの困り事など何でも気兼ねなく言え、毎週気持ちよく利用ができるような対応をします。

※○ ２０２３年度実施したこと

※● ２０２４年度実施すること

コープのあるくらしで
ひろがる
みんなの想い

◆大雨の日に雨のかからない場所に変更して置いてくれていました。濡れながらの配達の中での心配りに感謝しています。

◆生協の様々な便利なサービスが組合員に届いていないのが残念です。こんなサービスありますよという案内がもっとあるといいと思います。商品案内書だけでなく、ＳＮＳなども活用し様々な方へ情報が届く工夫が必要です。

◆システム使用料と利用手数料の違いがわかりにくいです。ステーションがある事などや、どのような利用方法があるのか広くお知らせしてほしいです。

◆現場の担当は毎日大変な中、よく頑張っています。職員の労働環境は大切で、リフレッシュできるように長期の休みなどとれるように働きやすくしてあげてほしいです。

◆コープしがアプリの進化、嬉しいです。一般の組合員にとって、コープしがアプリが総代のタブレットのような役割を果たし、色んな情報を取り込めるようになるといいですね。

◆子どもが１歳になり、無料期間が終わると、「お誕生日おめでとうございます」と「手数料がいくらになる」という連絡だけがありました。手数料がかからない方法の案内があるといいですね。(近くのステーションやグループ、どうするとグループが成立するのか等）そうすることによって、そのまま続ける方も増えると思います。切りかえ時などは、職員から案内をしてもらえると嬉しいです。

◆個配手数料が安くなれば良いな、という声はききますが、私は経営側の仕事をしているので生協のことも考えてしまいます。配達のガソリンなども上がっていて大変だと思う一方で、下げてほしい気持ちもわかります。例えばグループを組んで利用するとか、そういうこともみんなで考えてみてはどうでしょう。

※◆ 組合員の声

わたしのできるコトの一歩を踏み出そう

3.『お店があるくらし』をもっと楽しもう！

私もあなたも誰にでも「おいしさ、楽しさ、あったかさ」を実感できるコープのお店。
「これおいしかったわ」、「これ便利」、「ここでしか買えないものがあるわ」という声がゆきかう私たちのお店。「お買い物サポートカーやお届け便（買い物代行、お買い上げ配達）があって助かるわ」の声もいっぱい届いています。
楽しい、また来たいと思えるお店にみんなでしていきましょう。

Road to vision of 2030

やくだつ

○コープしがアプリにこぴたカードを内蔵し、スマートフォンで電子マネー決済やお買物商品の確認ができるようになりました。
○ＬＩＮＥでのお得情報、お知らせなど情報発信を積極的に実施しました。
○毎日の食をまかなう料理メニューとおすすめレシピ提案を実施しました。
○組合員活動の状況や店舗イベント情報をデジタルサイネージ（電子型の情報掲示版）で発信しました。
○料理レシピ動画は※買い場と連動した提案を随時更新しました。
○組合員がいつお店に来ても気持ちよく買い物ができるよう、いつもお役に立てる情報を発信しました。

つながる

●いつも気持ちよくお買い物しやすいように、声をかけやすい環境をつくります。
●もっと利用しやすいように、サポートカーや移動店舗を広げていきます。
●曜日奉仕や大感謝祭、夏祭りイベントなど、計画的にすすめます。
●「ストアレベル（店舗の基準）」を基本に、更に見やすく買いやすいバラツキのない状態へと※買い場をレベルアップします。
●食品ロスにつながらない商品づくりをすすめていきます。

※２０２４年度の役職員の基本方針にそって表現を「売り場」→「買い場」へ変更しています。生協は、くらしをよくするために組合員が「買う」ための組織であるとの考えに立ちかえり、職員は売り手都合の「売り場」ではなく、買い手の立場に立った「買い場」の視点で仕事をすすめています。

※○ ２０２３年度実施したこと
※● ２０２４年度実施すること

コープのあるくらしで
ひろがる
みんなの想い

◆お買い物サポートカーを、私の知り合いも使ってみたいと言っていました。でもその方の奥さんが、「認知症で夫婦一緒に行きたい」と言っていたので、一世帯一人の乗車ではなく、二人で行けるのを楽しみにされている方もおられるということをお伝えしたいです。

◆お店の新聞折り込み広告が、最近入るようになりました。私は嬉しいですが、ネット広告にシフトしている中、経費負担が大きいのではないかと心配しています。

◆お店の組合員の声のボードに書かれる内容を、もっと多くの方が見られるようにして欲しいです。

◆レジでの袋詰めは有難い人もいるが、環境を考えるとビニール袋の使用は減らしてほしいし、生協だからこそプラスチック削減に向けて先頭に立ってすすめてほしいです。取り組み強化月間など設けることで、組合員に周知して取り組みに賛同いただけるのではないかと思います。

◆なぜ、その商品がその値段（高い）なのかがわかったら、人は納得して購入すると思います。そんな情報が選ぶその時その場に表示されていることが重要です。（おすすめとその理由をポップで表示する、または包装に印字する）ぜひお願いします。

※◆ 組合員の声

わたしのできるコトの一歩を踏み出そう

4. くらしの備えと『おたがいさま』を考えよう！

予測できない自然災害や病気・ケガ。新型コロナウイルスの流行で“あたりまえ”があたりまえでなくなる経験もしました。ふだんのくらしの保障の備えやローリングストックなどの重要性が改めて見直されています。困った時こそお互いを想う気持ちも大切です。くらしの困りごとを気軽に話せて解決できるつながりづくりとして、ささえあいサポートが地域ですすんでいます。

「うばい合えば足らぬ、わけ合えばあまる（相田みつを）」協同の精神“分かち合い”を胸に、よりよいくらしづくりを考えていきましょう。

Road to vision of 2030

やくだつ

○安心して暮らせるくらしと地域をめざして介護事業では、ヘルパーステーションぽこ守山が新たにスタートしました。

○ヘルパーステーションぽこ野洲・ケアプランセンターぽこ野洲は湖南市まで業務エリアを拡大し、我が家で生き生きと暮らしたいという組合員の願いの実現に一歩すすむことができました。

○コープもりやま店や宅配事業センターで介護相談会を開催しました。

○くらしと家計の見直し講演会を長浜市と大津市で開催しました。

つながる

●ささえあい活動では、多くのサポーター、コーディネーターが関わる意見交換・交流の場を検討します。

●コープ共済では、保障の見直し、給付申請忘れや満期保障切れのお知らせを丁寧にすすめます。

●ささえあいサポート活動の内容を広報誌スパイラルやＳＮＳで情報発信します。

●キッチンカーは、各市町の社会福祉協議会、自治会などの協力を得ながら、食の視点に立った地域の健康づくりをすすめます。

●高齢化がすすむ組合員のくらしを見守るため、多くの人が認知症の正しい知識を持ち、認知症の本人・家族の気持ちを理解できるように認知症学習会（認知症サポーター養成講座）を実施します。

※○ ２０２３年度実施したこと

※● ２０２４年度実施すること

コープのあるくらしで
ひろがる
みんなの想い

◆介護の問題を家族が抱え込まないように、本人が安心して住み慣れた地域で暮らせるように､介護に関しての知識を広めたいです。親が高齢になり、介護の事に関心がありますが、介護を一人で悩まず相談できるところがほしいです。

◆ささえあいサポートに参加する人が増えて、もっと「おたがいさま」が増えるといいなと思います。ちょっと助けてほしい時に利用したくても、サポートできる人がいないと困ることも多いと思います。ささえあいサポートのことを総代さんには少なくとも知っておいてもらいたいし、役職員も含めて知ってほしいし、参加してもらいたいです。

◆自分が介護を受ける時代に、年金がたくさんあるとはいえない世の中になっていると思います。自分で、自分の老後を考える機会を作りたいし、他の人にも知ってほしいと思います。介護保険について今一度考えたいと思います。

◆今後高齢者人口が増える中､介護事業を広げていってほしいです。介護、介助が必要な人が、ほしい時に助けの手をとれるようになるといいなと思います。

◆介護のことなどを、お店に買い物に行ったついでに気軽に聞くことができるといい。ふくしの関係を充実させてほしい。介護事業についても、これからは、ニーズがあるので、安定した事業を期待しています。利用分量割戻が大きいので、その分をもっと事業にまわしてほしいぐらいです。高齢者にもですが、子育て層に向けても充実させてほしいです。保育園も守山のみなので、もっと各地域で広がるといいですね。

※◆ 組合員の声

わたしのできるコトの一歩を踏み出そう

5.くらしをよくし、誰かの『笑顔につながるコト』をはじめよう!

人は一人で生きられません。くらしを豊かにするために、住みよい地域を築くために、ともにささえあいながら生きています。人とのかかわりを制限されたことにより、あらためて気づかされた人とのつながりの温かさや大切さ。一人でできるコト、だれかと一緒にできるコト…。

私がワクワクできて誰かの笑顔につながるコトの一歩を踏み出しましょう。

Road to vision of 2030

やくだつ

○いのちのたいせつさを考える企画として、滋賀県動物保護管理センターの施設見学、ペットに対する義務や共生するための適正飼養についての学習会を実施しました。

○ピースアクション in ナガサキでは、長崎の現地を自分の目で見て、被爆体験をされた方の生の声を聴くことで、いのちの大切さを考える機会となりました。

○４年ぶりにびわ湖岸でびわ湖清掃ウォークを行い、びわこを大切にする想いを育みました。

○環境や生物多様性を考える体験活動として「魚のゆりかご水田」生きもの観察会を実施しました。

○自然とあそぼう＆木こり体験を実施し、体験学習を通じて山や森の役割や森を守ることの大切さを学びました。

○県内戦争遺跡めぐりを実施して、滋賀の空襲について話を聞き、それぞれの遺跡の成り立ちや滋賀県での被害について理解を深めました。

※○ ２０２３年度実施したこと

つながる

●消費者問題、防災学習会の開催、健康教室など地域諸団体と連携して実施します。震災を風化させない取り組みをすすめます。

●しが子どもの笑顔はぐくみサポート基金を通して子ども食堂や生活困窮者の支援をすすめます。

●びわこたいせつの取り組みとして、琵琶湖を取り巻く環境とそこで暮らす多様な生物を身近に感じる取り組みを行います。

●滋賀県の森の現状を知り、森の役割について学ぶ機会をつくります。自然に親しむ活動や、森林活動体験を協力団体と一緒にコープの森やその周辺で行います。

●私たちの事業や組合員のくらしのエネルギーについて考え、持続可能な社会づくりに貢献できる取り組みを行います。

●できるコトづくりの助成団体と組合員活動を通じた連携を強めていきます。

●子どもの貧困問題「子どもの未来アクション」についての学習活動に取り組みます。

※● ２０２４年度実施すること

コープのあるくらしで
ひろがる
みんなの想い

◆県内戦争遺跡めぐりに参加するまで、掩体壕（えんたいごう）という言葉も八日市に飛行場があったことも知りませんでした。土地の所有者の方の、「掩体が残っている限り、自分の中で戦争は終わらない」という言葉が印象的でした。戦争に終わりをむかえることの困難さ、重要さを考えさせられました。

◆何年か前から動物保護施設を見に来たいと思っていたので、学習会を企画していただいてとてもありがたく思います。他県では殺処分ゼロの所もあると聞きます。しかしまだまだ大多数の地域で殺処分が行われています。譲渡などの引き取り手がなければ処分される現状を、何となくではなくしっかりと周知されるような世の中になれば､無責任に手放す人が減るのではないかと考えます。施設の方々は少人数で毎日命と向き合っておられて、頭が下がる思いです。

◆体力の限界や後継者不足で農業をやめてしまう農家さんが多いと聞きます。作る野菜によって忙しい時期が決まっているので、そこを支援するだけでも農業を続けてくださるのではないかと思います。安全で安心な野菜を供給してくださる農家さんを応援したいです。

◆生きもの観察会やサマーキャンプ等、子どもたちが実際に体験しながら学べる企画が、コープにはたくさんあるのがすごくいいなと思います。子どもの時の実体験は、大人になってからも生きてくると思います。

◆小学生の時は、平和学習は当たり前で、子どもながらに原爆が落ちた日などを重く考えていました。今は小学校でも平和学習をしないところがあるので、生協のオンライン子ども会議で学んでいけたらと思っています。

※◆ 組合員の声

わたしのできるコトの一歩を踏み出そう

6.『ありがとう!』でつながる私たち!

私たちの日々のくらしには生協とかかわる中でうまれる“ありがとう”がたくさんあります。組合員や職員も、自分やくらしを守ることへの感謝の気持ちがあふれます。

お店でも週に一度の宅配でも、生協でつながっていることの喜びを実感し広げていきましょう。

そして、私たちの子どもや孫やもっと先の世代にも、安全と安心をつないでいける笑顔あふれるコープしがにしていきましょう。

Road to vision of 2030

やくだつ

○コープしが３０周年記念事業企画を実施しました。（８９ページ参照）※３０周年を機に策定した「みんなごと」を合言葉に笑顔あふれる未来を共につくるため、県内の全市町を理事長が訪問しました。

○長浜市、長浜市社会福祉協議会、地域づくり協議会、コープしがの４者による「住民の買い物支援に関する協定」を締結し、移動店舗「あったか便」をスタートしました。２月からは、地域を広げ、「あったか便」２号車の運行が始まりました。

○広報誌スパイラルの見やすさを改善するため、大きなタブロイド版サイズへ変更しました。

○多賀町とコープしがで「まちづくりに関する包括連携協定」を締結しました。

つながる

●ＪＡレーク滋賀と協同組合間協同の取り組みとして、夕食サポートや葬祭事業の連携を検討していきます。

●広報誌スパイラル、ＳＮＳ（ＬＩＮＥ、インスタグラム、フェイスブック）を活用し生協の事業や活動についての情報発信を強化します。

●理事長訪問で自治体と共有した課題を達成するために自治体・他団体との連携を強め必要に応じて、協定などの見直しを行います。

※○ ２０２３年度実施したこと

※● ２０２４年度実施すること

コープのあるくらしで
ひろがる
みんなの想い

◆移動店舗「あったか便」や送迎サポートは良い取り組みだと思います。今後、高齢化が進み、運転免許証を返納される方や地域の過疎化によりお買い物が困難な方々が増えると思います。その様な方々に向けて、是非、移動店舗や送迎サービスが広がっていくことを希望します。

◆私の原点は、コープしがの組合員活動です。「一人ひとりをみんなが大切にして、話し合う、聴いてみんなで考える、そしてみんなで決めてやってみる」この経験が、今の私をつくっている根っこになっているし、大いに役立っています。

◆市町との連携が広がっていますが、私の地域はまだないようなので、滋賀県全体に広がればいいなと思います。

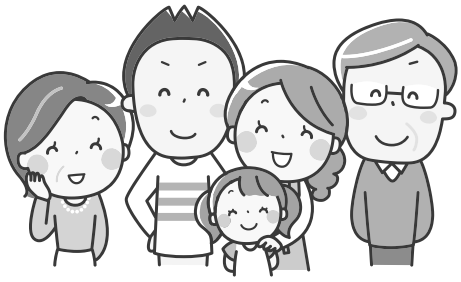
◆コープシステムサービスの新規事業について、これからのご時世、大事な事業になるのではないかと思います。高齢化社会で、お弁当を求める方も今後増えると思います。事業として成り立つようにしていってほしいです。

※◆ 組合員の声

みんなでめざす目標！

「利用する」（コープのあるくらし！　みんなで利用しよう！）

くらしにあった商品を買う…
くらしに役立つサービスを使う…
こまったときに相談できるサポートがある…
想いをカタチにしたい時には活動がある…
生協は、くらしを良くする道具…



「参加する」（わたしたちのコープ！　みんなで参加しよう！）

利用して、感じたことを声にしてみる…
知るコト、学ぶコト、体験するコト…
誰かと想いを伝え合うおしゃべり…
くらしのために…誰かのために、わたしのできるコト！
生協をみんなの声や行動でもっと元気に！

「広める」（わたしのコープをあなたにも！　みんなで広げるコープの輪！）

「あれ、よかったよ！」っておいしいモノ、便利なコトは誰かに伝えたくなる…
知ったコト、学んだコトを仲間で分かち合いたい…
生協の良さを、ご近所さんや、地域にも知ってほしい…
生協の輪を広めると、仲間が増えて、くらしはもっと楽しく、もっと笑顔になる！
組合員と役職員みんなでコープを広めよう！

利用して…、参加して…、広めあって…
さあ！2024年度も、みんなで生協を楽しもう！
滋賀に生協があってよかったって思えるコープしがを創ろう！
そして、みんなで理念の実現に向けて！　ともにつくる笑顔あふれる未来！

みんなでめざす目標！

□供給高	399億7400万円（前年比100．5%）
・宅配事業	309億2500万円（前年比101．4%）
・店舗事業	85億1000万円（前年比100．8%）
・夕食サポート	5億　600万円（前年比102．0%）
□加入者数	１０，８６９人
□出資金純増額	3億2060万円
□経常剰余金	11億8100万円（前年比　81．2%）

２０２４年度収支予算書案について

※現段階で 2023 年度着地見込みと 2024 年度収支予算案及び投資計画案は確定ではなく、変更があることをお含みおきください。

Ⅰ．2024 年度収支予算概要

１．基調

食料品をはじめとする物価上昇の家計への影響等により組合員のくらしは益々厳しさが増しています。他にも、地域によっては、いつもお買い物をしていたお店が閉店となったり、高齢の方の独居が増加しているなどの様々な困りごとやくらしを取り巻く不安な状況がたくさんあります。このような情勢のなか２０２４年度は、コープしが理念や２０３０年ビジョンの実現に向けた第Ⅱ期（２０２４～２０２６年度）「やくだつ・つながる・ひろがる」計画（第１０次中期計画）を具現化し、組合員の想いを形にするための予算編成とします。職員一人ひとりが主体となって組合員とのつながりを大切に、お役立ちを高めることで、組合員の願いを叶えることを掲げ、また組合員がいつまでも生協を利用できる、安心して頼りにできる存在としてしっかりとした経営を続けるための損益計画とします。

基本数値としては、組合員への役立ちをさらに広げることや、事業の効率・能率が向上する仕事を追求することをもって、供給高は増収予算、事業剰余金は増益予算とします。

２．基本数値

１）損益

供給高	３９９億７４００万円（前年比１００．５％）
供給剰余金	１０２億８１９０万円（前年比１０２．９％）
事業総剰余金	１１４億６７００万円（前年比１０３．０％）
事業経費	１０４億１１００万円（前年比１０２．９％）
人件費	４２億９８００万円（前年比１００．６％）
物件費	６１億１３００万円（前年比１０４．７％）
事業剰余金	１０億５６００万円（前年比１０３．０％）
事業外損益	１億２５００万円（前年比　２９．０％）
経常剰余金	１１億８１００万円（前年比　８１．２％）

２）経営指標

供給剰余率	２５．７２％（前年比＋０．５９％）
事業総剰余率	２８．６８％（前年比＋０．６７％）
人件費率	１０．７５％（前年比＋０．０１％）
物件費率	１５．２９％（前年比＋０．６１％）
経常剰余率	２．９５％（前年比△０．７０％）

３）組織数値

出資金純増額	３億２０６０万円
加入組合員数	１０，８６９人

Ⅱ．損益計画

１．収益

１）宅配事業

①供給高

「組合員が安心・信頼でき、毎週安心して利用できる状態」を目指し、生協の取り組みや商品、サービスを積極的にお伝えすることを大切にしていきます。昨年同様にどの食卓にも必要な「米」「牛乳」「たまご」をすべての組合員へ丁寧にお知らせしていくことを継続したうえで、そのご家庭が必要とされる商品を毎週確実にお届けできるように毎週自動お届け商品の取り組みを強化します。商品を中心においた対話を軸に組合員の食卓をいつまでも支えられるようにつながりを強め利用の輪を広げます。

商品案内書エコーやコープしがマルシェ、よりすぐり、くらしのパートナー、にこにこほっぺ、健康食品特集、少量・大容量特集など、世代別やライフスタイルに合わせた商品企画を行い、紙の案内書とインターネット注文案内との連携を強めながら、組合員のくらしへの役立ちをすすめます。また、ＣＯ・ＯＰ商品や産直商品など、生協ならではの商品の品ぞろえを広げながら、お試し企画を行い、商品の魅力や価値を紙面とＷＥＢ、配送を通して伝え、一人当たりの利用点数伸長につなげます。供給高予算は、一点あたり単価の上昇もふまえ、増収予算とします。

夕食サポート事業では人生１００年時代の健康的な食事のためのサポートとして組合員に合った提案をすすめ食数の増加を図ります。また、広報企画を通じて夕食サポートをご存じでない方への認知度を高める取り組みや、利用を休まれている組合員への利用再開の案内も丁寧に行うことで、増収予算とします。

共同購入・個配合計	３０９億２５００万円（前年比１０１．４％）
夕食サポート	５億　６００万円（前年比１０２．０％）

②供給剰余金

コープきんき事業連合との連帯による仕入の強化を継続し、ＣＯ・ＯＰ商品への結集を図り、効率の良い商品の配置を行うことで供給剰余率を高め、供給剰余金の確保に努めます。また、商品の価値に見合った価格設定、ＥＤＬＰ（いつもおトクな価格）商品の価値、良さを組合員に広げることで、商品の利用を高めます。以上のことから、供給剰余金予算は増益予算とします。夕食サポートは、原料価格の値上がりを見込みながらも、組合員の利用の広がりを丁寧にすすめることによる増益予算とします。

共同購入・個配合計	７９億７９００万円（前年比１０２．２％）
夕食サポート	２億　２００万円（前年比１００．９％）

２）店舗事業

①供給高

くらしや地域の特性を想像し個店ごとに商品や品ぞろえを工夫しながら組合員が求める商品やサービスを最大限提供し、末永くコープのお店が地域において頼りにされ、必要とされるお店と感じられる運営を行います。

供給高予算は、必要な時に必要な商品が必要な量目で揃っている状態を高めるとともに一人ひとりの特別な日にも対応できる品ぞろえを実現し頼りにしていただける状態を高めることで増収予算とします。

店舗事業合計	８５億１０００万円（前年比１００．８％）
（内訳）コープぜぜ店	２０億８７００万円（前年比１００．０％）
コープもりやま店	２３億７３１０万円（前年比１００．３％）
コープかたた店	２１億９３５０万円（前年比１００．４％）
コープながはま店	１９億３０００万円（前年比１０２．９％）
供給割戻高	△７３６０万円（前年見込比－）

②供給剰余金

在庫管理の強化やロス改善を進めることで供給剰余金を確保します。また、商品の見栄えや鮮度などコープにしかない品質をさらに高めることで、価格と価値を一致させ商品一品あたりの収益性の向上を図り供給剰余率の伸長につなげます。人件費は作業計画表の運用精度を高め、業務の整理と改善を進めます。昨今の人手不足、採用難に向けては、必要な部分を精査した上でシステムや仕組みを導入し、店舗が持続可能に運営できるよう効率化、作業改善をすすめます。今後も役立ち続けることができる経営指標として、全店舗での直接剰余金の黒字化を目指します。

店舗事業合計	２０億９１００万円（前年比１０１．８％）
（内訳）コープぜぜ店	５億　６００万円（前年比１００．３％）
コープもりやま店	５億８７４０万円（前年比１０１．０％）

コープかたた店　　５億３２００万円（前年比１０１．１％）
コープながはま店　　４億６５６０万円（前年比１０５．１％）

３）介護事業

介護保険事業は、住み慣れた地域、自宅で過ごしたいとの想いを持たれる高齢者の在宅介護サービスを提供しており、高齢化がすすむにつれ需要と期待が高まっています。訪問介護、居宅介護支援では、介護職員体制を整え、地域包括支援センターや他の介護事業所との連携を強め、「ご利用者視点のケア」を実践することでご利用者を増やし増収とします。また適正な人員配置で運営することで福祉剰余金は前年度より改善させます。

福祉事業収入合計　　６５８０万円（前年比１１７．８％）
福祉事業費用　　７５００万円（前年比１１４．４％）
福祉剰余金　　△９２０万円（前年比－）

４）くらしのサポート事業

高齢者を中心とした日常のお買い物が不自由な方々をサポートする目的で移動店舗を２台体制で運行し地域のニーズに寄り添いながら、移動店舗を通じて生協商品の利用機会を拡げるとともに、高齢者の見守りや地域のコミュニティづくりにつなげます。

事業計画に沿って４年目に直接剰余金の黒字化を目指すために仕事の効率化や曜日間の平準化をすすめ、直接剰余金を２０２３年度よりも向上させる増収予算とします。

くらしのサポート事業供給高　　３３００万円（前年比２０４．４％）
くらしのサポート事業供給剰余金　　９９０万円（前年比１８９．４％）

５）その他事業収入

その他事業収入全体として増収予算とします。

①配達手数料収入は、個人配達の利用拡大を見込み、増収予算とします。

②共済事業は、必要な保障を組合員の立場に立って提案することで新規契約者を増やします。給付の呼びかけを継続的に行うことで「請求忘れゼロ運動」に取り組み、加入者を大切にしながら解約の削減・保有件数の伸長に繋げることで、増収予算とします。

③リサイクル事業収入は、商品案内書の選択丁合の普及に伴う回収量の減少を見込みながらも、組合員へ回収の働きかけを強め、買取価格の見直しをすることで増収予算とします。

④サービス事業収入は、ハウスクリーニングや宅配買取などの普段のくらしに役立つサービスを継続して案内していきます。また、コロナ禍以降開催の少なくなっていた各種相談会を開催し、紙面だけでなく店舗ご利用の組合員などにも広くお知らせ活動を行っていきます。一方で、組合員にとって大きな出費となるハウジング関連での物価高騰による各家庭の出費抑制なども考慮し、サービス事業収入全体では前年維持の予算とします。

⑤チケット手数料は、高額となる公演系チケットの一般市場の受注過多による割り当て減少など、受注増に対し実績が伴わない状況が継続しており、コロナ禍以前のレベルまでの回復は厳しい状況であることから若干の伸長予算とします。

⑥エネルギー取次収入は、２０２３年１１月からのコープでんきの取次事業への変更に伴う手数料収入を２０２４年より年間を通して予算化します。

その他手数料収入合計　　１１億９４３０万円（前年比１０３．８％）
（内訳）配達手数料収入　　５億５０００万円（前年比１０２．９％）
共済受託収入　　３億５０００万円（前年比１００．５％）
リサイクル事業収入　　５１００万円（前年比１０５．０％）
サービス事業収入　　３９００万円（前年比１０１．５％）
チケット手数料収入　　７３０万円（前年比１０４．５％）
エネルギー取次収入　　４９００万円（前年比１７７．３％）
その他　　１億４８００万円（前年比１００．９％）

６）事業総剰余金
事業総剰余金は前年実績を上回る１１４億６７００万円、事業総剰余率は２８．６８％とし増益予算とします。

２．事業経費
人件費は、業務の見直しや効率化を図りながらも、事業継続に必要な人員の確保や物価上昇に伴うベースアップ等を見込むことで、前年実績を上回る４２億９８００万円とします。物件費は、２０２４年５月に稼働するコープきんき宅配共同システムにかかる費用や、物価高によるコスト増加分を加味し、前年実績を上回る６１億１３００万円とします。主な内訳としては、共同システムにかかる費用として委託料、分担金の増額を予算化します。宅配事業での営業日数増加に伴う必要コストとして委託料、物流消耗品費、車両運搬費の増額を予算化します。人件費と物件費を合わせた事業経費全体としては、前年実績を上回る１０４億１１００万円とします。

３．事業剰余金
事業剰余金は前年実績を上回る１０億５６００万円、事業剰余率は２．６４％とし増益予算とします。

４．事業外損益
事業外収益は、太陽光発電装置の売電収入や事業所内保育所の事業収入、東近江市・甲良町・甲賀市・近江八幡市各自治体の子育て支援事業の受託収入を予算化します。

５．経常剰余金
経常剰余金は前年実績を下回る１１億８１００万円、経常剰余率は２．９５％とし減益予算とします。

６．特別損益、税引前当期剰余金
１）特別利益は、出資配当金及び利用分量割戻金の確定差額分を予算化します。
２）特別損失は、固定資産の除却等を見込み予算化します。
３）税引前当期剰余金は、１１億８１００万円で前年を下回る減益予算とします。

Ⅲ．投資計画
投資計画は、今後の事業拡大やさらなる組合員サービス、事業効率の向上につながる設備や仕組みの導入などを見込んだ計画とします。執行時期については、場合により２０２５年度にまたがることがあります。執行にあたっては、理事会で経営状況や財務の状態等を十分に考慮し慎重に審議をすすめていきます。

１．投資

投資合計	２５億円
（内訳）１）店舗関連（ＳＭ５号店土地取得など）	２０億円
２）各種システム導入や機器入替等	３億円
３）システム内部開発関連	１億円
４）その他（既存施設の改修工事など）	１億円

２．資金調達
資金調達は、外部調達ではなく自己資金調達とします。

以上

２０２４年度収支予算案

自：２０２４年３月２１日　至：２０２５年３月２０日

（単位：千円）

勘定科目	2024年度予算	2023年度実績	前年比(%)	摘　　要
1. 供給高	39,974,000	39,744,777	100.5	組合員に提供した商品・サービスの総額
2. 供給原価	29,692,100	29,753,007	99.7	組合員に供給した商品の原価
供給剰余金	10,281,900	9,991,770	102.9	供給高から供給原価を差し引いた金額（粗利益）
3. 福祉事業				
（1）福祉事業収入	65,800	55,845	117.8	介護報酬や利用者負担収入等
（2）福祉事業費用	75,000	65,534	114.4	介護保険事業に直接かかわる人件費や物件費
福祉剰余金	△ 9,200	△ 9,688	-	福祉事業収入から福祉事業費用を差し引いた金額
4. その他事業収入	1,194,300	1,150,544	103.8	配達手数料や共済受託手数料等の各種手数料収入、エネルギー取次収入等
事業総剰余金	11,467,000	11,132,626	103.0	供給剰余金、福祉剰余金、その他事業収入の合計額
5. 事業経費	10,411,000	10,108,279	102.9	人件費、物件費の合計額
（1）人件費	4,298,000	4,272,038	100.6	
役員報酬　理事報酬	76,000	75,438	100.7	理事に対する報酬
役員報酬　監事報酬	15,000	14,434	103.9	監事に対する報酬
職員給与	2,228,000	2,228,897	99.9	総合・エリア・シニア・嘱託各スタッフの給与・賞与
定時職員給与	1,032,000	1,013,072	101.8	専属・定時・アルバイト各スタッフの給与・賞与
退職給付費用	191,000	190,926	100.0	各スタッフ（アルバイト除く）の退職一時金等退職給付債務の当期費用
法定福利費	466,000	462,893	100.6	社会保険料の生協（事業主）負担分
厚生費	43,000	40,485	106.2	職員等の保健、慰安、慶弔等に要する費用
派遣人件費	58,000	55,905	103.7	派遣労働契約に基づいて支払う派遣の委託費用
賞与引当金繰入額	189,000	189,983	99.4	翌期に支給する賞与のうち、当期負担分として引き当てる額
（2）物件費	6,113,000	5,836,241	104.7	
教育文化費	81,000	79,185	102.2	地域委員会・エリア活動等組合員の教育・文化活動及び組合員組織の運営、諸活動に要する費用等
広報費	120,000	119,382	100.5	県民や未加入者に加入促進や生協を広く知らせるための費用
事業広報費	548,000	552,523	99.1	商品案内書、OCR注文書、利用促進チラシ、新聞折込チラシや商品の試食等に要する費用
消耗品費	144,000	135,555	106.2	事務所用備品、店舗のレジ袋、コピー用紙、事務机、文具等の費用
物流消耗品費	284,000	263,841	107.6	ドライアイス、シッパー内掛け袋等の物流関連の費用
電算消耗品費	2,000	2,396	83.4	コンピューター関連の帳票、消耗品の費用
車輌運搬費	68,000	68,110	99.8	燃料費、車両の維持管理費用、車検、自動車保険料等の費用
委託運搬費	48,000	45,758	104.8	各店舗への商品運搬、注文書やリサイクル品等の転送等に要する費用
修繕費	24,000	19,754	121.4	有形固定資産の維持、修理に要する費用
施設管理費	120,000	110,198	108.8	施設の保安警備、衛生、清掃等の費用
保守料	71,000	68,061	104.3	機械装置、コンピューター等の保守費用
減価償却費	330,000	384,969	85.7	建物、器具備品等の固定資産の償却費
地代家賃	164,000	158,540	103.4	土地や建物の賃借料
リース料	233,000	218,210	106.7	機械装置、車両等のリース料
水道光熱費	156,000	142,618	109.3	電気、ガス、水道の費用
保険料	7,000	7,650	91.5	建物、商品の火災保険料　盗難、傷害保険料
委託料	3,274,000	3,055,053	107.1	物流仕分委託、配送委託等や商品案内書等作成の業務委託、公認会計士等に支払う顧問料等
分担金	119,000	101,362	117.4	連帯事業等の分担費用等
研修費	30,000	22,201	135.1	役職員の研修、教育に要する費用
採用費	28,000	20,730	135.0	総合・エリア・シニア・嘱託・専属・定時各スタッフの募集、セミナー等の採用に要する費用
調査研究費	4,000	3,095	129.2	市場調査、商品検査、研究開発等の費用、新聞、書籍等の購入費用
会議費	24,000	24,442	98.1	機関会議（総代会、理事会等）、経営内部会議等に要する費用
諸会費	32,000	32,950	97.1	日本生協連、県連、その他会費
渉外費	5,000	5,057	98.8	業務上必要な渉外のために要する費用、他生協・取引先慶弔費用
租税公課	76,000	75,470	100.7	固定資産税や消費税、印紙税等（法人税、住民税、事業税は除く）大津市事業所税
通信費	82,000	80,769	101.5	電話料金、郵送料等の費用
旅費交通費	22,000	21,663	101.5	役職員の出張、業務外出費用
雑費	12,000	11,686	102.6	登記関係の行政手数料、その他の費用
貸倒引当金繰入額	5,000	5,000	100.0	供給未収金等の金銭債権の回収不能に備える引当金の繰入額
6. 事業剰余金	1,056,000	1,024,346	103.0	事業総剰余金から管理費及び諸経費を差し引いた額
7. 事業外収益	212,000	488,202	43.4	太陽光発電売電収入、受託事業収入、受取配当、受取利息等
8. 事業外費用	87,000	58,474	148.7	受託事業費用、商品返品処理、太陽光発電の償却費等
9. 経常剰余金	1,181,000	1,454,074	81.2	事業剰余金＋事業外収益－事業外費用
10. 特別利益	1,000	16,933	5.9	出資配当や利用割戻金の差額精算、会計処理の変更時の特別差額の収入等
11. 特別損失	1,000	496	201.6	固定資産の除売却損や固定資産の処分費用、会計処理の変更時の損失費用等
12. 税引前当期剰余金	1,181,000	1,470,512	80.3	経常剰余金＋特別利益－特別損失

※記載金額は、全て千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

第4号議案

組合員除名の件

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

定款第１２条に基づき、商品代金などの支払いを怠り、催告を受けてもその義務を履行しなかった組合員６９名の除名を行います。対象組合員には、第４４回通常総代会の会日の５日前までにその旨を通知しています。除名対象者の名簿は、別途配布します。

組合員除名の件は、定款第６１条の特別議決方法の事項として、可決には出席総代の３分の２以上の賛成が必要です。

除名対象の組合員に事前通知を行っています。この通知の結果に基づき、総代会当日までに商品代金の支払いがあった場合は、除名対象者から除外し、総代会当日、議場で第４号議案「組合員除名の件」の人数変更を提案させていただきます。なお、除名名簿の修正及び再配布は行いません。

（除名）

第１２条　この組合は、組合員が次の各号のいずれかに該当するときは、総代会の議決によって、除名することができる。

（１）１年間この組合の事業（施設）を利用しないとき。

（２）供給物資の代金又は利用料の支払を怠り、催告を受けてもその義務を履行しないとき。

（３）この組合の事業を妨げ、又は信用を失わせる行為をしたとき。

２　前項の場合において、この組合は、総代会の会日の５日前までに、除名しようとする組合員にその旨を通知し、かつ、総代会において弁明する機会を与えなければならない。

３　この組合は、除名の議決があったときは、除名された組合員に除名の理由を明らかにして、その旨を通知するものとする。

〈除名対象者名簿の取扱いについてのお願い〉

コープしがでは定款に則り、特別議案として総代が名簿を確認できるように書面で配布します。この名簿の取扱いについて以下の方法で回収します。

○第４４回通常総代会議案書と一緒に配布します。

○回収は出席方法に応じて提出してください。

・第４４回通常総代会に本人出席する総代は、閉会後に受付場所へ提出してください。

・第４４回通常総代会に委任出席する総代は、委任した総代へ提出してください。

・第４４回通常総代会に書面決議する総代は、書面決議書を入れる封筒に入れて提出してください。

特別決議

第４４回通常総代会アピール

※本議案について、本旨に反しない範囲での字句の修正は理事会に一任をお願いします。

やさしさでつながりを！“みんなごと”をひろげて私たちの未来を創造していこう！

自分ごと、人ごとと切り分けずあなたも私もみんなごととして
一人ひとりが小さなアクションをおこすことで
助けてあげたり、助けてもらったり。
そんな“みんなごと”実践してみましたか？
声をかけようかかけまいか迷ったり、かけずに通り過ぎたときの後ろめたさ
思い通りにいったことも、いかなかったこともあったでしょう。

ベビーカーを持って電車に乗ったとき
体調不良に見舞われたとき
見知らぬ人の何気ないやさしさに
不安だった気持ちが感動するほどうれしい気持ちになって
涙が出るほど「ありがとう」で心が満たされたことはありませんか。

少しの勇気を持って声をかけ、役に立ったときはうれしくて笑顔になりました。
「手伝ってください」と言われ喜んでお手伝いしたとき
「ありがとう」って言われたら心があたたかくなりました。

たすけてくれた人に直接お返しをできないかもしれないけれど
私のできることを次の誰かにやさしさでつなげることで
もっとみんなが生きやすい社会に変わります。
私たちは私たちの未来を創造できます。

コープしが理念“ともにつくる　笑顔あふれる未来”

あなたも私も『みんな』です。
困っている時に声を出せること
躊躇せずに手を差しのべること
一人ひとりの行動が大きな力となります。
勇気を持って次の一歩を踏み出しましょう。

※説明
この特別決議は、第４４回通常総代会当日に総代の総意により拍手で承認する議案です。

＜参考資料①＞

「ともにつくる笑顔あふれる未来」の実現に向けて「みんなごと」を合言葉にすすめました！

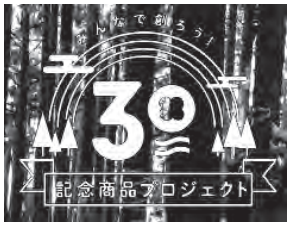
30周年記念プロジェクト

あなたとコープしがの思い出募集

30 これまでも、これからも

コープしがが誕生して３０年、たくさんの組合員、生産者、職員が出会い・つながり・想いを重ね合ってきました。美味しかった思い出、楽しかった思い出、がんばった思い出などなど…みなさんのくらしの中にあったコープしがの思い出のエピソード・懐かしい写真をホームページで紹介しました。

みんなで創ろう！３０周年記念商品プロジェクト



コープしが３０周年を記念して、組合員のみなさん、役職員みんなでコープの森あぶらひの間伐材を使った記念商品を創りました。

「コープしが３０周年を記念して、組合員・役職員みんなでコープの森あぶらひの間伐材を使った商品づくりにチャレンジしよう！」と始まったこのプロジェクト。

何を創るか？から、デザインや価格、商品名まで、すべてホームページやＳＮＳを活用したアンケートで決定する形で、のべ６００人を超える参加者とともにすすめました。

その商品が２０２３年１１月、ようやく完成！その名も「コープの森からうまれた鍋敷き」です。コープの森あぶらひの木のぬくもりが感じられる素敵な鍋敷きができました。

フロンティアジャパン(株)
コープの森からうまれた鍋敷き

コープしがアンバサダープロジェクト

コープしがが大好きだというアンバサダーのみなさんに、商品やサービス・活動の体験を通じてくらしを豊かにするコープしがの魅力を発信していただく「アンバサダープロジェクト」。コープしが野洲本部にて、任命式を行い、アンバサダーとして１年間活動いただきました。

①アンバサダー座談会

アンバサダーのみなさんが、コープしがの魅力についてや、コープしががより良いものになるための提案もしてくださいました。

②アンバサダーがびわ湖清掃ウォークに参加！

コープしがでは、“びわ湖を大切にするこころ”を育む「びわこ＊たいせつ」活動の一環として、毎年９月に「びわ湖清掃ウォーク」を実施していて、今回参加いただきました。

③知ってる？コープしがのあんなサービス、こんなサービス、サービス利用体験

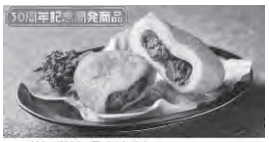
あんなことやこんなこと、意外と知られていないコープしがのサービスを、アンバサダーのみなさんに体験していただきました！

３０周年記念開発商品

「コープしが３０周年」を記念して、長年お取引きいただいている生産者（メーカー）、産直・県内の生産者（メーカー）とともに、「３０周年記念開発商品」として新たに商品開発を行いました。たくさんの記念商品が出来上がりました。

近江三方庵
30周年どら焼き

異製粉 コープしが30周年
めっちゃ香る！ほうじ茶あずきぱん

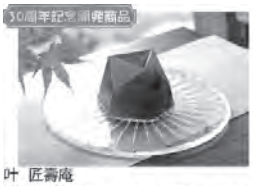


西洋軒（滋賀県大津市）
近江牛カレーパン

シガフードプロダクツ
鳥取みんなのつながり和牛カレー

れもん会社×（株）クルード
福祉アートふきん

シガフードプロダクツ
鳥取みんなのつながり和牛コロッケ



叶 匠壽庵
濃果汁（近江のいちごとブルーベリー）

清原（株）
30周年オリジナルトートバッグ

地域のお困りごとは、コープしがの困りごと！

滋賀県みんなごと化プロジェクト

事業を通じて「地域へのお役立ち」をもっと高めていきたいという考えから、コープしが理事長の白石一夫が、滋賀県と県内の市町をすべて訪問し、地域の困りごとについてインタビュー。地域の困りごとは、みんなの困りごと。コープしがが、みんなの困りごとに対してできることを検討＆実行していくプロジェクト進行中です。

３０周年記念イベント

「３０周年記念講演会」
あの生協の白石さんがやってくる！
白石流コミュニケーション術！を
開催しました。
対談ではW白石の共演が実現しました。

コープしがでは、“びわ湖を大切にするこころ”を育む「びわこ＊たいせつ」活動の一環として、毎年９月に**「清掃ウォーク」**を実施しています。

第１４回目となる今年は、９月２日（土）に４年ぶりにみんなで集まって清掃ウォークを行いました。また今年は、コープしがが設立３０周年を迎えたことから、３０周年記念事業として大津市・なぎさ公園と、彦根市・松原水泳場の２会場で実施しました。

１１月２５日（土）北ビワコホテル グラツィエ（長浜市）、２月１７日（土）大津プリンスホテル（大津市）で、４年ぶりとなる**「商品大交流会」**を開催し多くの組合員が試食交流しました。応募が定員を大きく上回り抽選となりました。生産者・メーカーの皆さん、組合員の皆さんの笑顔があふれていました。

＜参考資料②＞

２０２３年3月２０日　行動指針制定

みんなごと
『ともにつくる笑顔あふれる未来』の実現

『みんなごと』は、コープしが理念『ともにつくる笑顔あふれる未来』の実現に向けて、３０周年を契機に協同の精神を再確認し、新たな活動・行動コンセプト（あいことば）として制定しました。

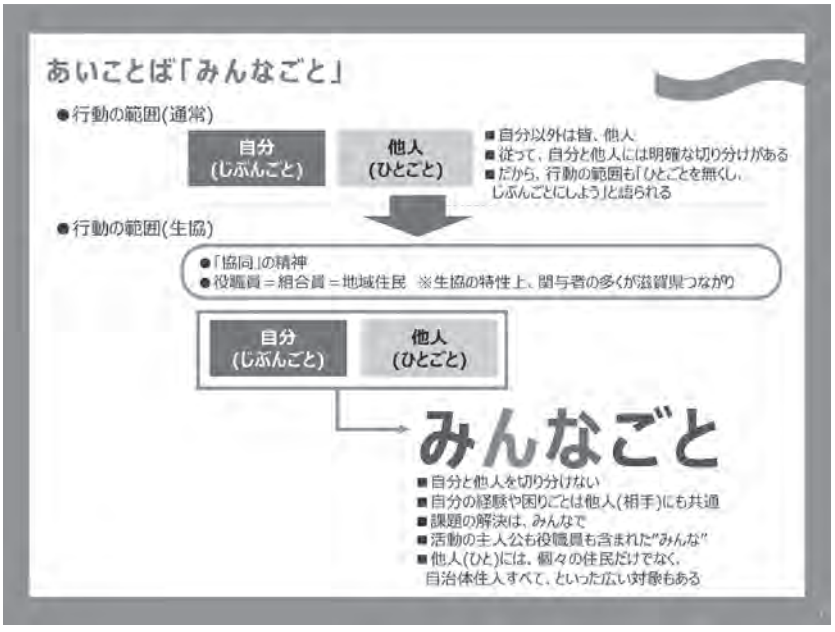
みんなごと

『ともにつくる笑顔あふれる未来』の実現に向けて、わたしたちが大切にする３つのこと。
みんなごとをキーワードにコープしがらしさを創造していきます。

耳を傾け 向きあおう

活動へ 参加しよう

地域で 体験を活かそう



・私たちは物事を、自分（じぶんごと）・他人（ひとごと）と切り分けて考えてしまいがちです。
・私たちは協同の精神を大切にする仲間であり役職員や組合員、地域住民や生産者など、滋賀県民をはじめ多くの人たちとつながっています。
・こうしたことから、自分ごと・他人ごとと切り分けず、自分の経験や困りごとは相手にも共通しているものだと考えて、課題はみんなで解決しよう！という思いを込めて「みんなごと」を作りました。
・「みんなごと」をあいことばに、笑顔あふれる未来をめざして４０周年、５０周年と重ねていけるよう、みんなですすんでいきましょう！

＜参考資料③＞

２０２４年度組織活動一覧

更新日：2024/ 3/ 27

	たべるたいせつ	びわこたいせつ	いのちたいせつ	ちいきたいせつ	くらしたいせつ	その他
4月			（組Ｓ）ハンガーフリーワールド （組Ｂ）いのちの大切さを考える学習会			【表示①】主催 西地区（西） 南地区（南） 東地区（東） 北地区（北） 組織広報部（組） 他（他団体・他部署） 【表示②】募集予定 Ｓ　１００名以上 Ａ　５０～９９名 Ｂ　２０～４９名 Ｃ　１９名以下 【その他】 アンダーライン：現地開催 **太字**：２０２４年度新規取り組み
5月	（西南北Ａ）ファーマーチャレンジ隊 （全地区Ａ）田植え・稲刈り （組Ａ）知ってね交流フェス （全エリア）大豆プロジェクト（６月～１２月実施）					
6月	（全地区Ｃ）たべるたいせつ親子倶楽部（6/1,6/8） （全地区・組Ｂ）大豆プロジェクト （東Ａ）知ってね！交流フェス （北Ａ）知ってね！交流フェス	（西Ａ）知内ふるさと支え合い生きもの観察会 （他南東Ｃ）ゆりかご水田生き物観察会 （組Ｓ）ライトダウン		（組Ｃ）認知症学習会		
7月	（西南北Ａ）ファーマーチャレンジ隊 （組Ｃ）ファーマーチャレンジ【援農】隊 （全Ｂ）たべるたいせつ親子クラブ		（組Ｂ）県内戦跡遺跡めぐり			
8月	（組Ｂ）サマーキャンプｉｎ鳥取 （西Ａ）知ってね！交流フェス （北Ａ）知ってね！交流フェス		**（組Ｓ）大友剛マジックと音楽と絵本のコンサート** **（組Ｃ）ピースアクションｉｎナガサキ**			
9月	（南Ａ）知ってね！交流フェス （全地区Ａ）田植え・稲刈り	（組Ｓ）９/２８びわこ清掃ウォーク **考えてやってみよう！びわこたいせつ**		（組Ｃ）できるコト講座		
10月	（西Ａ）知ってね！交流フェス （組Ｃ）ファーマーチャレンジ【援農】隊 （組）食品ロス削減啓発		（組Ｓ）平和の折り鶴昇華再生製品	（組Ｃ）できるコト講座	（組Ｂ）震災を忘れないスタディツアー	
	考えてやってみよう！５つのたいせつ活動（仮）※通年企画（たべる、びわこ、いのち、くらし、ちいき、健康）					
11月	（組Ｓ）商品大交流会 （全エリアＢ）産直交流企画 （全地区・組Ｂ）大豆プロジェクト （全エリアＢ）エリア産直交流企画（オンライン併用）	（組Ｃ）自然とあそぼう＆木こり体験 （他Ａ）海とプラスチックの話（？）		（組Ｃ）できるコト講座		
12月	（西Ａ）知ってね！交流フェス （全地区Ｃ）たべるたいせつ親子倶楽部（１１/３０,１２/７） （全Ｂ）たべるたいせつ親子クラブ	（組Ｓ）エコライフキャンペーン				
1月	（南Ａ）知ってね！交流フェス （東Ａ）知ってね！交流フェス				**（全地区Ｃ）親子で防災（仮）** （組Ｓ）お手伝いＢＩＮＧＯ	
2月	（組Ｂ）大人のオンライン企画				**（組Ｂ）「健康寿命」をのばす講演会（仮）**	
3月	（他）滋賀県立大学との連携（食育推進隊　料理レシピづくり）		（組Ｃ）ピースアクションｉｎオキナワ （他Ｓ）被爆ピアノコンサート		（組Ｂ）震災を忘れない交流会＆職員スタディツアー （組Ｂ）アンガーマネジメント講座	

＜参考資料④＞

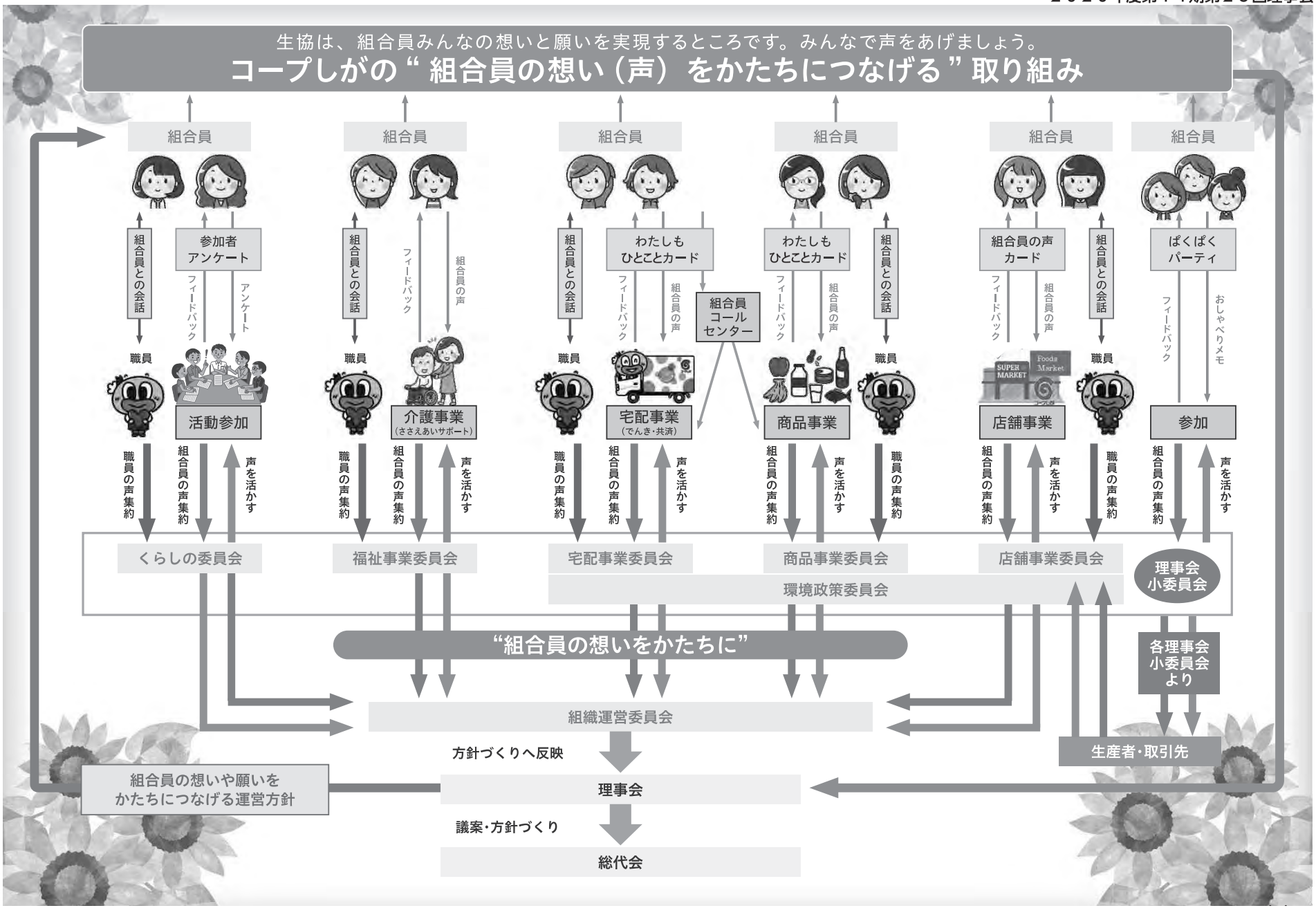
２０２４年度　各種募金スケジュール

更新日：2024/2/28

週 No.	月	2024年 企画回	日程 日	月	火	水	木	金	土	募金 名称	店頭募金
		3月2回	10	11	12	13	14	15	16	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
1	3月	3月3回	17	18	19	20	21	22	23	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
2		3月4回	24	25	26	27	28	29	30	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
3		4月1回	31	1	2	3	4	5	6	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
4	4月	4月2回	7	8	9	10	11	12	13	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
5		4月3回	14	15	16	17	18	19	20	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
6		4月4回	21	22	23	24	25	26	27	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
7		5月1回	28	29	30	1	2	3	4	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
8		5月2回	5	6	7	8	9	10	11	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
9	5月	5月3回	12	13	14	15	16	17	18	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
10		5月4回	19	20	21	22	23	24	25	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
11		5月5回	26	27	28	29	30	31	1	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
12		6月1回	2	3	4	5	6	7	8	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
13	6月	6月2回	9	10	11	12	13	14	15	平和募金	平和募金
14		6月3回	16	17	18	19	20	21	22	平和募金	平和募金
15		6月4回	23	24	25	26	27	28	29	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
16		7月1回	30	1	2	3	4	5	6	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
17		7月2回	7	8	9	10	11	12	13	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
18	7月	7月3回	14	15	16	17	18	19	20	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
19		7月4回	21	22	23	24	25	26	27	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
20		7月5回	28	29	30	31	1	2	3	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
21		8月1回	4	5	6	7	8	9	10	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
22	8月	8月2回	11	12	13	14	15	16	17		ユニセフ一般募金
23		8月3回	18	19	20	21	22	23	24	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
24		8月4回	25	26	27	28	29	30	31	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
25		9月1回	1	2	3	4	5	6	7	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
26	9月	9月2回	8	9	10	11	12	13	14	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
27		9月3回	15	16	17	18	19	20	21	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
28		9月4回	22	23	24	25	26	27	28	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
29		10月1回	29	30	1	2	3	4	5	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
30		10月2回	6	7	8	9	10	11	12	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
31	10月	10月3回	13	14	15	16	17	18	19	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
32		10月4回	20	21	22	23	24	25	26	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
33		10月5回	27	28	29	30	31	1	2	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
34		11月1回	3	4	5	6	7	8	9	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
35	11月	11月2回	10	11	12	13	14	15	16	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
36		11月3回	17	18	19	20	21	22	23	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
37		11月4回	24	25	26	27	28	29	30	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
38		12月1回	1	2	3	4	5	6	7	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
39		12月2回	8	9	10	11	12	13	14	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
40	12月	12月3回	15	16	17	18	19	20	21	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
41		12月4回	22	23	24	25	26	27	28	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
42		12月5回	29	30	31	1	2	3	4		ユニセフお年玉募金
43		1月1回	5	6	7	8	9	10	11	ユニセフお年玉募金	ユニセフお年玉募金
44	1月	1月2回	12	13	14	15	16	17	18	ユニセフお年玉募金	ユニセフお年玉募金
45		1月3回	19	20	21	22	23	24	25	ユニセフお年玉募金	ユニセフお年玉募金
46		1月4回	26	27	28	29	30	31	1	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
47		2月1回	2	3	4	5	6	7	8	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
48	2月	2月2回	9	10	11	12	13	14	15	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
49		2月3回	16	17	18	19	20	21	22	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
50		2月4回	23	24	25	26	27	28	1	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
51		3月1回	2	3	4	5	6	7	8	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
52	3月	3月2回	9	10	11	12	13	14	15	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金
53		3月3回	16	17	18	19	20	21	22	ユニセフ一般募金	ユニセフ一般募金

生協は、組合員みんなの想いと願いを実現するところです。みんなで声をあげましょう。

コープしがの“組合員の想い（声）をかたちにつなげる”取り組み



＜参考資料⑥＞

2021年2月19日　理事会

「組合員の想いをかたちにつなげること」をめざす運営方針

生協を利用して声を上げることが生協運営への参加の第一歩です。

事業のプロセスへの参加が生協事業の発展につながります。

組合員の関心に基づいて、つながりや活動ができる条件をつくります。

民主的に運営され、社会的責任を果たせる組織であるため、機関運営への参加をさらに強めます。

Ⅰ．宅配や店舗など、事業を運営する中ですすめていくこと

Ⅰ−①　加入時には生協の運営原則「出資・利用・運営」を周知します。

Ⅰ−②　組合員の声に対するフィードバックを強めます。

Ⅰ−③　組合員の声をもとにした事例研究や協同組合の基本学習を強めます。

Ⅰ−④　組合員の声をすべての部署で共有できる仕組みづくりをおこないます。

Ⅱ．機関（総代会及び理事会、それら関連する会議など）を運営する中ですすめていくこと

Ⅱ−①　総代の役割や総代会までの議論のプロセスを見直します。

Ⅱ−②　組合員の声やニーズをもとに理事会関連会議で実現に向け話し合います。

Ⅱ−③　より多くの組合員の声を共有し方針づくりをすすめます。

Ⅱ−④　ふだんのくらしの困り事や心配事を広く知る取り組みをすすめます。

Ⅲ．組合員活動の組織や場（エリア協議会、地域委員会、チーム活動、ひろば活動など）を運営する中ですすめていくこと

Ⅲ−①　ふだんのくらしの課題をテーマにした学びを提供します。

Ⅲ−②　組合員の多様な活動がすすむよう適切なサポートをおこないます。

Ⅲ−③　SNSを活用して組合員活動を発信しひろめます。

Ⅲ−④　組合員活動の目的や組合員活動の組織を見直します。

Ⅳ．声として出されない組合員の想いや願いに対して

Ⅳ−①　声をあげることの大切さや意味合いを繰り返し伝えていきます。

Ⅳ−②　組合員がいつでも相談できるよう基本対応を徹底していきます。

Ⅳ−③　定期的なアンケートにより組合員の声を聴くことを検討します。

Ⅳ−④　脱退や利用休止の理由を掘り下げて以後の事業や活動に活かします。

＜参考資料⑦＞

２０２２年2月１５日
組織運営委員会

【組合員活動の目的】と、【組合員活動でたいせつにすること】

＼寄せられた声／

私たちに欠かせないのは安心した生活。くらしをよくするために組合員活動に取り組まれていることは嬉しいことです。

とてもよい目的だと思います。こんなご時世なので力を合わせて取り組み、新しい仲間を広げていきたいです。

“5つのたいせつ”を考え、それぞれに活動することはとても素晴らしいです。

『なんのために』という目的を掲げて、活動することは共感できます。

地域とのつながりを大事にしているのって、とってもよい事だと思います。

組合員活動の運営や情報発信において、「組合員活動の目的」をわかりやすくお知らせできていなかったため、これまでを振り返り「組合員活動の目的や大切にすること」として整理し直しました。その整理した「組合員活動の目的や大切にすること」について、アンケートなどで、みなさんから、ご意見やご感想を寄せていただき、よりわかりやすいものに見直しを行いました。

【組合員活動の目的】と、【組合員活動でたいせつにすること】に寄せられた感想の多くは、ご自身の活動体験を振り返って「共感できる」という内容のものでした。

一方、「なじまない表現やまわりくどい表現がある」など、誰もがわかりやすい表現にした方が良いという意見もいただいており、意味合いは変更せずわかりやすい言葉に修正しました。

また、組合員活動（くみかつ）について「コープしがの楽しい活動を知らない人が多い。もっと周知して欲しい。」「多くの組合員に興味を持ってもらい、気軽に参加してもらうためには、どうすればよいか考えていきたい。」という意見もたくさんいただきました。

今回の整理を契機に、組織的な広報や情報発信だけでなく、組合員発の情報発信（口コミ、SNS等）についても積極的に呼びかけます。

●組合員活動の目的

くらしを良くし、安心してくらすために

●組合員活動でたいせつにすること

①“私たちのくらし”を“5つのたいせつ”の視点で考えてみましょう。

②みんなで話し合うことを大事にしながら組合員活動を楽しみましょう。話し合いから気づき、様々な考え方を知り視野もひろがります。

③みんなの力を合わせ取り組むプロセスを大事にしましょう。わずかでも前進すること、チャレンジしたことを、みんなで認め合いましょう。

④活動を進めていく中で、新しいなかまの参加が広がることを楽しみましょう。つながり、学び、交流する場に積極的に参加しましょう。

⑤活動の目的「何のために」をみんなで話し合い確認しましょう。活動の目的を中心において、想いや、願いをカタチにした企画につなげましょう。

⑥地域とのつながりを大事に取り組みましょう。地域に話し合いの場をひろげると、共感する人も増え、持続できる活動へと成長できます。

２０２４年度　総代会議案検討会議　開催日程と場所

No.	開　催　日	時　間	会　場・オンライン
①	４月１０日(水)	１０:００	コミュニティセンター野洲　２階　研修室１・２
②	４月１１日(木)	１０:００	市民産業交流促進施設ここぴあ　１階研修室
③		１０:００	キラリエ草津　６階大会議室
④		１８:００	オンライン
⑤	４月１２日(金)	１０:００	コープしが　ゆめふうせん
⑥		１０:００	プロシードアリーナ　ＨＩＫＯＮＥ　２階　多目的会議室
⑦		１３:３０	滋賀県婦人会館　１階会議室
⑧	４月１３日(土)	１０:００	オンライン
⑨		１０:００	ウイングプラザ栗東　４階研修室Ｅ
⑩	４月１５日(月)	１０:００	勤労者福祉会館　臨湖　２階　第３会議室
⑪		１０:００	コラボしが２１　３階
⑫		１３:３０	コラボしが２１　３階
⑬	４月１６日(火)	１０:００	甲賀市まちづくり活動センター　まるーむ　２階多目的室
⑭		１０:００	コープしが　高島センター　２階会議室
⑮	４月１７日(水)	１０:００	大津市生涯学習センター　４階
⑯		１０:００	米原学びあいステーション　３階　３Ａ研修室
⑰		１３:３０	守山市民ホール　２階　学習室１
⑱	４月１８日(木)	１０:３０	ショッピングプラザ　アピア　４階研修室
⑲		１０:００	コープしが　ゆめふうせん
⑳		１４:００	オンライン
㉑	４月１９日(金)	１０:００	神照まちづくりセンター　会議室ＡＢ
㉒	４月２０日(土)	１０:００	コープしが　彦根センター　２階　組合員室
㉓	４月２１日(日)	１０:００	オンライン
㉔	４月２２日(月)	１０:００	竜王町公民館　２階研修室

※ご都合のよい会場にご参加ください。

※全会場２時間を基本に開催します。進行状況により閉会時間の短縮や延長をする場合があります。

※リアル会場やオンライン会場ともに開始２０分前から受付をはじめます。余裕をもって来場やオンライン入室してください。

※会場により参加人数に大きな偏りが出た場合は、地区事務局より出席予定の会場変更など調整をお願いすることがあります。予めご了承ください。